

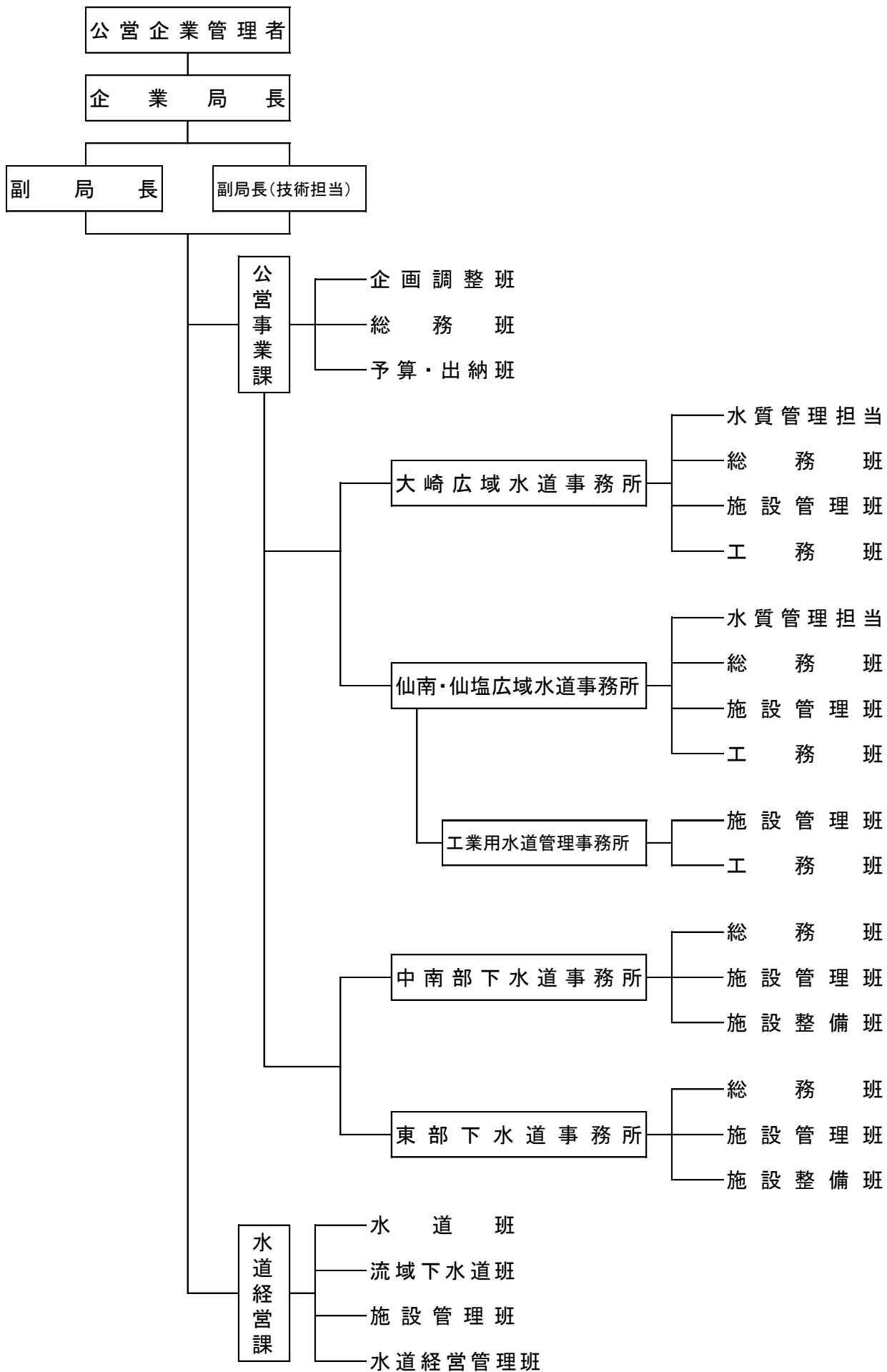
令和 8 年度企業局の概要

目 次

I 企業局の組織	1
1 組織図	1
2 職員数一覧表	2
3 所在地	2
4 分掌事務	3
II 令和8年度予算の概要	4
III 事業の概要	6
1 水道用水供給事業	7
(1) 大崎広域水道事業	7
(2) 仙南・仙塩広域水道事業	12
2 工業用水道事業	21
(1) 仙塩工業用水道事業	21
(2) 仙台圏工業用水道事業	26
(3) 仙台北部工業用水道事業	31
3 地域整備事業	36
4 流域下水道事業	40
(1) 仙塩流域下水道事業	40
(2) 阿武隈川下流流域下水道事業	47
(3) 鳴瀬川流域下水道事業	53
(4) 吉田川流域下水道事業	59
(5) 北上川下流流域下水道事業	65
(6) 北上川下流東部流域下水道事業	72
(7) 迫川流域下水道事業	79

I 企業局の組織

1 組織図(令和8年4月1日現在)



2 職員数一覧

(令和8年4月1日現在)

課所名 \ 区分	事 務	技 術	労 務	併 任	合 計
公営事業課	16(一)	1(一)		[21]	17(一)
水道経営課	15(一)	12(一)			27(一)
本局計	31(一)	13(一)		[21]	44(一)
大崎広域水道事務所	3(1)	13(一)	0(1)		16(2)
仙南・仙塩広域水道事務所	3(2)	20(一)			23(2)
中南部下水道事務所	4(一)	10(1)			14(1)
東部下水道事務所	3(1)	12(一)			15(1)
地方機関計	13(4)	55(1)	0(1)		68(6)
合計	44(4)	68(1)	0(1)	[21]	112(6)

※1 公営企業管理者を除く職員数を計上しています。副局長は公営事業課に含めています。

※2 ()内の数字は暫定再任用職員数で、外書きで計上しています。

3 所在地

課所名	郵便番号	所 在 地	電 話 番 号
(本局)			
公営事業課	〒980-8570	仙台市青葉区本町三丁目8番1号	022 - 211 - 3413
水道経営課	〃	〃	022 - 211 - 3417
(地方機関)			
大崎広域水道事務所	〒981-4354	加美郡加美町字麓山1番地の9	0229 - 67 - 6512
仙南・仙塩広域水道事務所	〒989-0232	白石市福岡長袋字南部山7番地の1号	0224 - 25 - 8890
(工業用水道管理事務所)	〒983-0835	仙台市宮城野区大槻1番6号	022 - 293 - 5101
中南部下水道事務所	〒985-0832	多賀城市大代六丁目4番1号	022 - 367 - 4001
東部下水道事務所	〒986-0861	石巻市蛇田字新ノ切5番地の2	0225 - 23 - 7381

4 分掌事務

(1) 本局

区 分	分 掌 事 務
公 営 事 業 課	1 事業の総合的企画、調整及び管理に関すること。 2 広報及び広聴に関すること。 3 公印の管理に関すること。 4 成案文書の審査並びに文書の收受、発送、編纂及び保存に関すること。 5 管理規程等の制定及び改廃に関すること。 6 局の組織及び職員の定数に関すること。 7 職員の任免、分限、懲戒その他の身分取扱に関すること。 8 給与、勤務時間その他の勤務条件、研修及び福利厚生に関すること。 9 職員の表彰に関すること。 10 予算の原案の作成及び予算の執行計画に関すること。 11 事業の資金計画及び財務計画に関すること。 12 資産の取得、管理及び処分に係る事務の総括並びに議決事件の議案に関すること。 13 決算の調製並びに業務状況及び計理状況の報告に関すること。 14 経理事務その他出納事務に関すること。 15 会計事務の指導に関すること。 16 工事の検査に関すること。 17 有価証券及び担保物の出納、保管に関すること。 18 出納検査に関すること。 19 出納取扱金融機関及び収納取扱金融機関に関すること。 20 地域整備事業に係る経営の基本計画に関すること。 21 地域整備事業に係る施設の整備及び資産の運用に関すること。 22 地域整備事業に係る貸付に関すること。 23 地方機関に関すること。 24 その他課の分掌に属しない事務の調整に関すること。
水 道 経 営 課	1 広域水道用水供給事業の経営の基本計画に関すること。 2 広域水道用水供給事業の用水供給に関すること。 3 工業用水道事業の経営の基本計画に関すること。 4 工業用水道事業の用水供給に関すること。 5 流域下水道事業の経営の基本計画に関すること。 6 流域下水道事業の下水処理に関すること。 7 局内において施行する工事及び技術管理・指導に関すること。 8 水道経営管理に関すること。

(2) 地方機関

区 分	分 掌 事 務
大 崎 広 域 水 道 事 務 所	大崎広域水道及び仙台北部工業用水道の供給並びに施設の維持管理及び工事施行に関すること。
仙 南 ・ 仙 塩 広 域 水 道 事 務 所	仙南・仙塩広域水道の供給並びに施設の維持管理及び工事施行に関すること。
工 業 用 水 道 事 務 所	仙塩工業用水道及び仙台圏工業用水道の供給並びに施設の維持管理及び工事施行に関すること。
中 南 部 下 水 道 事 務 所	仙塩、阿武隈川下流、鳴瀬川及び吉田川流域下水道の下水の処理、施設の維持管理及び工事施行並びに流域関連公共下水道の指導及び監督に関すること。
東 部 下 水 道 事 務 所	北上川下流、北上川下流東部及び迫川流域下水道の下水の処理、施設の維持管理及び工事施行並びに流域関連公共下水道の指導及び監督に関すること。

Ⅱ 令和8年度予算の概要

1 収益的収支予算

企業局所管4事業会計の収益的収支予算のうち、収益的収入は235億7千余万円で前年度より1億8千2百余万円の増(+0.8%)、収益的支出は249億1千7百余万円で前年度より9億8千1百余万円の増(+4.1%)、収支差額は13億4千6百余万円の赤字で前年度より7億9千9百余万円の減となっています。

2 資本的収支予算

資本的収入は106億9千6百余万円で前年度より31億1千6百余万円の減(△22.6%)、資本的支出は161億2千5百余万円で前年度より27億7千3百余万円の減(△14.7%)、収支差額は△54億2千8百余万円で、資本的収入が資本的支出に対して不足する額は前年度より3億4千3百余万円の増となっています。

なお、資本的収入が資本的支出に対して不足する額54億2千8百余万円は、過年度損益勘定留保資金等で補てんすることとしています。

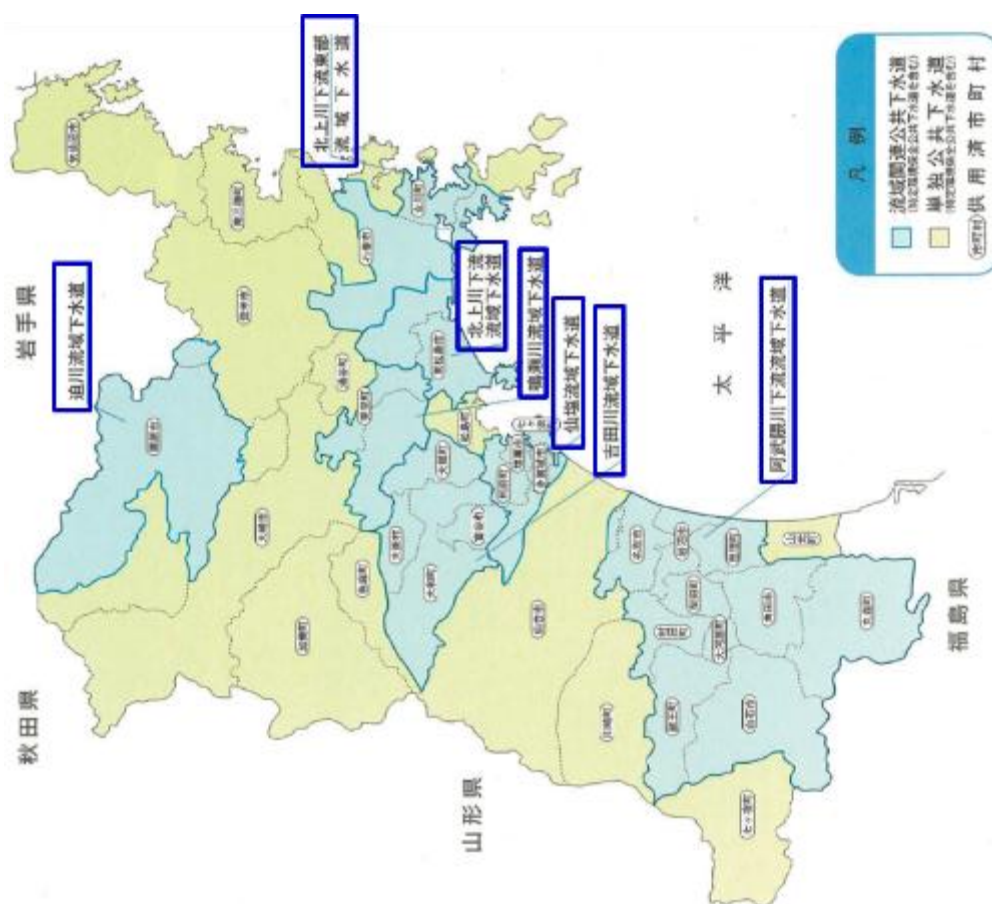
令和8年度 企業会計予算一覧表（当初予算）

水道用水供給事業										工業用水道事業						流域下水道事業						地域整備	合計
大崎	仙南・仙臺	計	仙臺	仙台園	仙台北部	計	仙臺	阿武隈	鳴瀬川	吉田川	北上川	北上川東部	迫川	計									
収 入	営業収益	1,651,885	7,534,706	9,186,591	379,908	409,931	400,763	1,190,602	113,227	137,473	32,761	83,521	689,723	675,850	360,425	2,092,980	544,538	13,014,711					
	料 金 収 入	1,337,510	7,262,746	8,600,256	345,148	390,122	394,263	1,129,533	106,227	129,473	29,761	78,521	689,723	675,850	360,425	2,069,980	494,877	12,294,646					
	そ の 他	314,375	271,960	586,335	34,760	19,809	6,500	61,069	7,000	8,000	3,000	5,000	0	0	0	23,000	49,661	720,065					
	営業外収益	268,471	1,083,489	1,351,960	144,949	51,342	102,719	299,010	1,692,691	3,208,814	326,091	633,584	676,284	969,328	716,184	8,222,976	12,387	9,886,333					
支 出	他会計補助金	208	948	1,156	56	0	26	82	212,836	205,583	49,076	74,197	180,554	258,728	257,931	1,238,905	0	1,240,143					
	そ の 他	268,263	1,082,541	1,350,804	144,893	51,342	102,693	298,928	1,479,855	3,003,231	277,015	559,387	495,730	710,600	458,253	6,984,071	12,387	8,646,190					
	特別利益	0	0	0	0	0	0	0	67,662	160,183	37,847	87,883	162,390	76,375	77,506	669,846	0	669,846					
	計(A)	1,920,356	8,618,195	10,538,551	524,857	461,273	503,482	1,489,612	1,873,580	3,506,470	396,699	804,988	1,528,397	1,721,553	1,154,115	10,985,802	556,925	23,570,890					
支 出	営業費用	2,189,249	7,723,394	9,912,643	603,504	400,865	620,896	1,625,265	1,996,087	3,653,992	344,034	782,138	1,413,128	1,579,616	934,582	10,703,577	311,781	22,553,266					
	営業外費用	115,676	716,593	832,269	26,351	12,923	24,986	64,260	114,445	110,113	26,259	41,679	68,003	118,091	49,122	527,712	8,225	1,432,466					
	特別損失	0	0	0	0	0	0	0	90,062	213,383	50,347	116,984	216,488	90,735	103,271	881,270	0	881,270					
	予 備 費	1,500	6,000	7,500	500	500	300	1,300	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	42,000	0	50,800					
支 出	計(B)	2,306,425	8,445,987	10,752,412	630,355	414,288	646,182	1,690,825	2,206,594	3,983,488	426,640	946,801	1,703,619	1,794,442	1,092,975	12,154,559	320,006	24,917,802					
	差引当年増減(A)-(B)	△ 386,069	172,208	△ 213,861	△ 105,498	46,985	△ 142,700	△ 201,213	△ 333,014	△ 477,018	△ 29,941	△ 141,813	△ 175,222	△ 72,889	61,140	△ 1,168,757	236,919	△ 1,346,912					
資 本 的 収 入	企業債	0	0	0	201,600	0	0	201,600	413,000	596,600	177,000	222,000	246,500	280,900	96,800	2,032,800	1,300	2,235,700					
	国庫補助金	114,856	10,910	125,766	0	0	0	0	1,054,737	1,183,683	411,822	682,488	524,244	662,501	161,642	4,681,117	0	4,806,883					
	出 資 金	126,300	974,540	1,100,840	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,100,840					
	他会計長期借入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	150,000					
支 出	工事負担金	0	0	0	0	0	0	0	355,441	551,592	191,435	199,256	208,126	269,210	84,964	1,860,024	0	1,860,024					
	他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0	41	194	7,040	158	22,227	16,613	16,665	62,938	0	92,938					
	他会計貸付金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	150,000					
	投資有価証券償還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300,000					
支 出	計(C)	241,156	985,450	1,226,606	201,600	0	30,000	30,000	1,823,219	2,332,069	787,297	1,103,902	1,001,097	1,379,224	360,071	8,786,879	451,300	10,696,385					
	建設改良費	544,140	2,156,102	2,700,242	329,196	209,688	33,119	572,003	1,765,619	2,286,869	782,697	1,081,002	965,065	1,219,343	349,527	8,450,122	2,656	11,725,023					
	企業債償還金	308,711	1,596,041	1,904,752	120,644	29,061	0	149,705	270,509	228,438	48,962	102,128	193,643	240,576	244,860	1,329,116	0	3,383,573					
	長期貸付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	150,000					
支 出	長期借入金償還金	0	0	0	54,899	27,213	134,577	216,689	0	0	0	0	0	0	0	0	0	366,689					
	投資有価証券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	500,000					
	計(D)	852,851	3,752,143	4,604,994	504,739	265,962	167,696	938,397	2,036,128	2,515,307	831,659	1,183,130	1,158,708	1,609,919	594,387	9,929,238	652,656	16,125,285					
	差引増減額源(C)-(D)	△ 611,695	△ 2,766,693	△ 3,378,388	△ 303,139	△ 265,962	△ 137,696	△ 706,797	△ 212,909	△ 183,238	△ 44,362	△ 79,228	△ 157,611	△ 230,695	△ 234,316	△ 1,142,359	△ 201,356	△ 5,428,900					

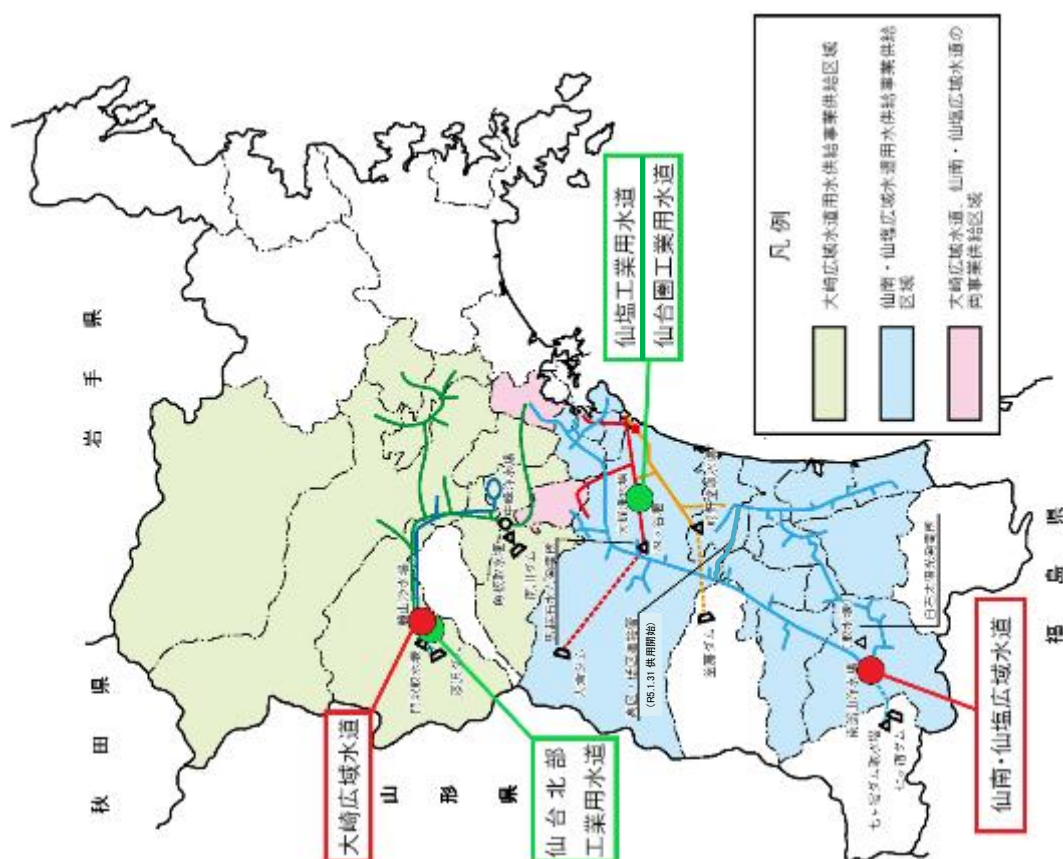
III 事業の概要

企業局事業概要図

流域下水道事業



水道用水供給事業・工業用水道事業



1 水道用水供給事業

本県が実施する水道用水供給事業は、主に大崎地方を中心とする地域の水道用水の需要に対応するため建設された「大崎広域水道」と仙南及び仙塩地域の水道用水の需要に対応するため建設された「仙南・仙塩広域水道」があります。

なお、両水道用水供給事業においては、水道事業を取り巻く厳しい経営状況を改善するため、令和4年4月から公共施設等運営権(コンセッション)方式により、民間事業者が運営を行う「宮城県上工下水一体官民連携運営事業(みやぎ型管理運営方式)」を実施しています。

(1) 大崎広域水道事業

① 事業の概要

本事業は、漆沢ダム及び南川ダムを水源とする2系統の浄水場から、大崎地方を中心とする10市町村に対し、一日最大120,000 m³の水道用水を供給するものです。

昭和48年度から建設工事に着手した漆沢ダム系については、昭和55年度から給水を開始し、現在は、一日最大82,300 m³の給水が可能となっています。

また、昭和58年度から建設工事に着工した南川ダム系については、平成6年度に第一期工事が完成(平成7年度から給水開始)し、現在は、一日最大18,850 m³の給水が可能となっています。

● 令和8年度の業務予定量

給水市町村数	3市6町1村
年間総給水量	21,171,920 m ³
一日平均給水量	58,005 m ³

● 計画取水量と計画給水量(一日最大)

	計画取水量	計画給水量	取水
漆沢ダム水系	88,500 m ³	82,300 m ³	鳴瀬川表流水(漆沢ダム)
南川ダム水系	40,000 m ³	37,700 m ³	吉田川表流水(南川ダム)
計	128,500 m ³	120,000 m ³	

● 受水市町村及び給水量(最終給水量) (単位: m³/日)

市町村名	給水量	市町村名	給水量
大崎市	46,300	大和町	23,500
栗原市	3,400	大郷町	3,000
富谷市	9,900	松島町	4,000
加美町	7,000	大衡村	6,500
涌谷町	8,800	計	120,000
美里町	7,600		

● 給水計画

漆沢系	昭和55年4月(給水開始)	41,150 m ³ /日
	昭和58年4月	82,300 m ³ /日
南川系	平成7年4月(給水開始)	18,850 m ³ /日
	水需要により対応	37,700 m ³ /日

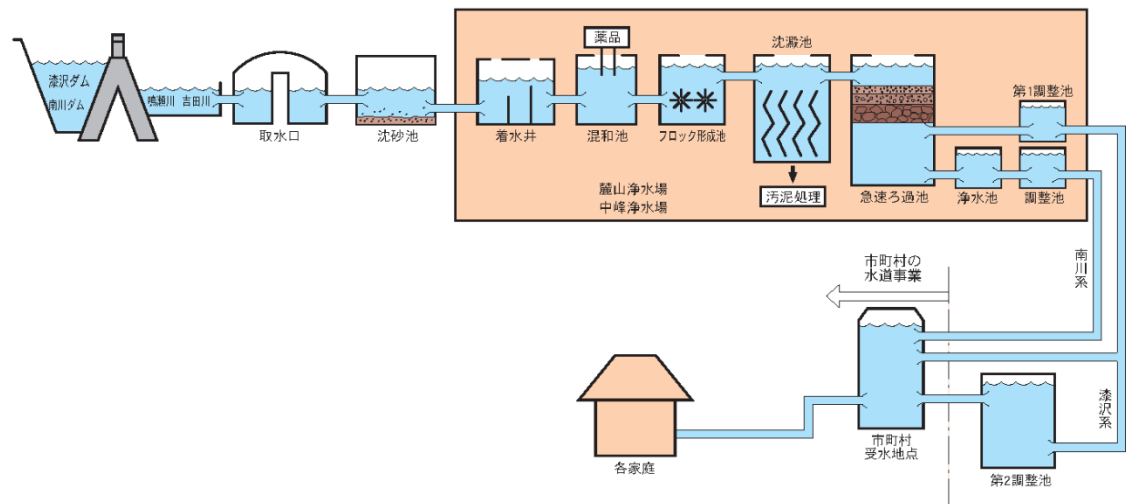
● 計画目標年次 未定

● 計画給水人口 318千人

● 工 期

漆 沢 系	第一期工事	昭 和 48 年 度 ～ 昭 和 54 年 度
	第二期工事	昭 和 55 年 度 ～ 昭 和 57 年 度
南 川 系	第一期工事	昭 和 58 年 度 ～ 平 成 6 年 度
	第二期工事	水需要により対応

■ 大崎広域水道事業のしくみ



② 事業費

(単位:千円)

区 分		全 体 計 画	漆沢系と南川系第一期工事 まで	南川系第二期工事以降
貯 水 施 設 (ダム負担金)	漆沢系	2,413,440	2,413,440	
	南川系	4,344,090	4,344,090	
	計	6,757,530	6,757,530	
広域化施設	漆沢系	20,258,770	19,864,834	393,936
	南川系	12,986,805	11,957,045	1,029,760
	計	33,245,575	31,821,879	1,423,696
建 設 利 息		18,920,581	17,159,395	1,761,186
合 計		58,923,686	55,738,804	3,184,882
財 源 内 訳	国 庫 補 助 金	12,123,336	11,668,895	454,441
	企 業 債	42,580,000	40,349,000	2,231,000
	出 資 金	3,806,000	3,308,000	498,000
	そ の 他	414,350	412,909	1,441
	合 計	58,923,686	55,738,804	3,184,882

● ダム建設費等負担割合

〔 漆沢ダム 工期 昭和 43～55 年度 事業費 166.5 億円
南川ダム 工期 昭和 48～62 年度 事業費 210.0 億円 〕

(単位:%)

区 分	漆 沢 ダ ム		南 川 ダ ム	
	建 設 費	管 理 費	建 設 費	管 理 費
上 水 道	14.5	14.0	20.7	20.7
上 水 道 (松 島 町)	0.2	0.2	-	-
工 業 用 水	11	10.7	-	-
公 共 電	74.1	71.8	79.3	79.3
発 電	0.2	3.3	-	-
計	100.0	100.0	100.0	100.0

③ 施設の概要

系統別 施設区分	漆沢系	南川系
貯水施設	漆沢ダム[宮城県] 目 的 洪水調節、流水の正常な機能維持、発電 型 式 中央コア型ロックフィルダム 湛水面積 0.83 km² 総貯水量 18,000,000 m³ 本事業取水分 上水道 88,500 m³/日 工業用水 60,000 m³/日	南川ダム[宮城県] 目 的 洪水調節、流水の正常な機能維持 型 式 重力式コンクリートダム 湛水面積 0.9 km² 総貯水量 10,000,000 m³ 本事業取水分 上水道 40,000 m³/日
取水施設	取水堰 L=40.0m H=3.3m 固定部 L=30.0m 可動部 L=3.0m×2 門 取水口 2 門 土砂吐ゲート、管理橋 管理室、電気計装設備一式	取水堰[可動堰] L=20.0m H=2.1m 洪水吐ゲート 1 門、水位調節ゲート 2 門 水道用取水ゲート 2 門 管理橋、電気計装設備一式
導水施設	導水トンネル等 2 坑 L=4,313m 沈砂池 2 池 導水管 φ 900mm～φ 1,350mm L=4,345m 水管橋 2 橋 L=151m 管理室、電気計装設備一式	沈砂池 2 池 ポンプ井 1 井 立軸斜流ポンプ 3 台(4 台) 導水管 φ 700mm L=1,758m ポンプ棟、動力・電気計装設備一式 管理棟、活性炭注入設備 水管橋 1 橋
浄水施設	着水井 1 井 活性炭接触池 1 池 混和池 2 池 フロック形成池 4 池 薬品沈殿池 4 池 急速ろ過池 8 池 第一調整池 RC 造 2 池 管理本館 RC 地下 1 階、地上 3 階建 造 延床面積 3,646 m² 外 薬品注入設備一式 外 排水処理施設一式	着水井 1 井 混和池 2 池 フロック形成池 2 池 薬品沈殿池 2 池 急速ろ過池 4 池(6 池) 浄水池 RC 造 2 池 調整池 1 池 管理棟 RC 造 地下 1 階、地上 2 階建 薬品注入設備一式 外 排水処理施設一式 外
送水施設	第二調整池 PC 造 1 池 送水管敷設 φ 100mm～φ 1,350mm L= 99,817m 増圧ポンプ設備 水管橋 17 橋[うち添架 2] 電気設備、遠方監視制御設備 テレメータ室 外	送水管敷設 φ 200mm～φ 600mm L=25,871m 水管橋 8 橋[うち添架 1] 電気設備、遠方監視制御設備 テレメータ室 外

()内は最終事業計画

④ 経営の状況

● 給水量等

年 度		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
A 施 設 能 力	m ³ /日	101,150	101,150	101,150	101,150	101,150
B 契 約 水 量	m ³ /日	74,000	73,850	74,350	72,900	72,900
C 責 任 水 量	m ³ /日	59,200	59,080	59,480	58,320	58,320
D 取 水 量	m ³ /年	24,560,143	23,954,278	24,525,605	—	—
E 給 水 量	m ³ /年	22,692,453	22,619,750	22,727,912	21,293,760	21,293,760
F 1 日 平 均 給 水 量	m ³	62,171	61,805	62,268	58,339	58,339
G 1 日 最 大 給 水 量	m ³	(1/27)67,734	(8/24)67,797	(9/12) 66,385	—	—
H 有 効 水 量	m ³ /年	22,668,761	22,620,505	22,728,569	—	—
I 1 日 平 均 有 効 水 量	m ³	62,106	61,805	62,270	—	—
J 無 効 水 量	m ³ /年	23,692	755	440	—	—
K 有 収 水 量	m ³ /年	22,654,001	22,619,750	22,727,912	21,293,760	21,293,760
L 1 日 平 均 有 収 水 量	m ³	62,066	61,803	62,268	58,339	58,339
M 動 力 費	千 円	8,146	0	0	0	0
N 薬 品 費	千 円	12	44	23	78	78
O 資 本 費	千 円	1,305,992	1,226,682	1,233,543	1,464,068	1,456,163

※R4～R6 は決算額(消費税抜き)、R7 は最終現計予算額(消費税込み)、R8 は当初予算額(消費税込み)で作成。

契約水量、責任水量は受水市町村との覚書ベース。資本費は、減価償却費、企業債等支払利息(一時借入金利息を除く。)及び企業債取扱諸費等の合計額。

■ 給水人口及び給水量(有収水量)の推移(各年度3月末日現在)



※S55～R6 は決算ベース、R7 は最終現計予算ベースで作成。

● 料金等

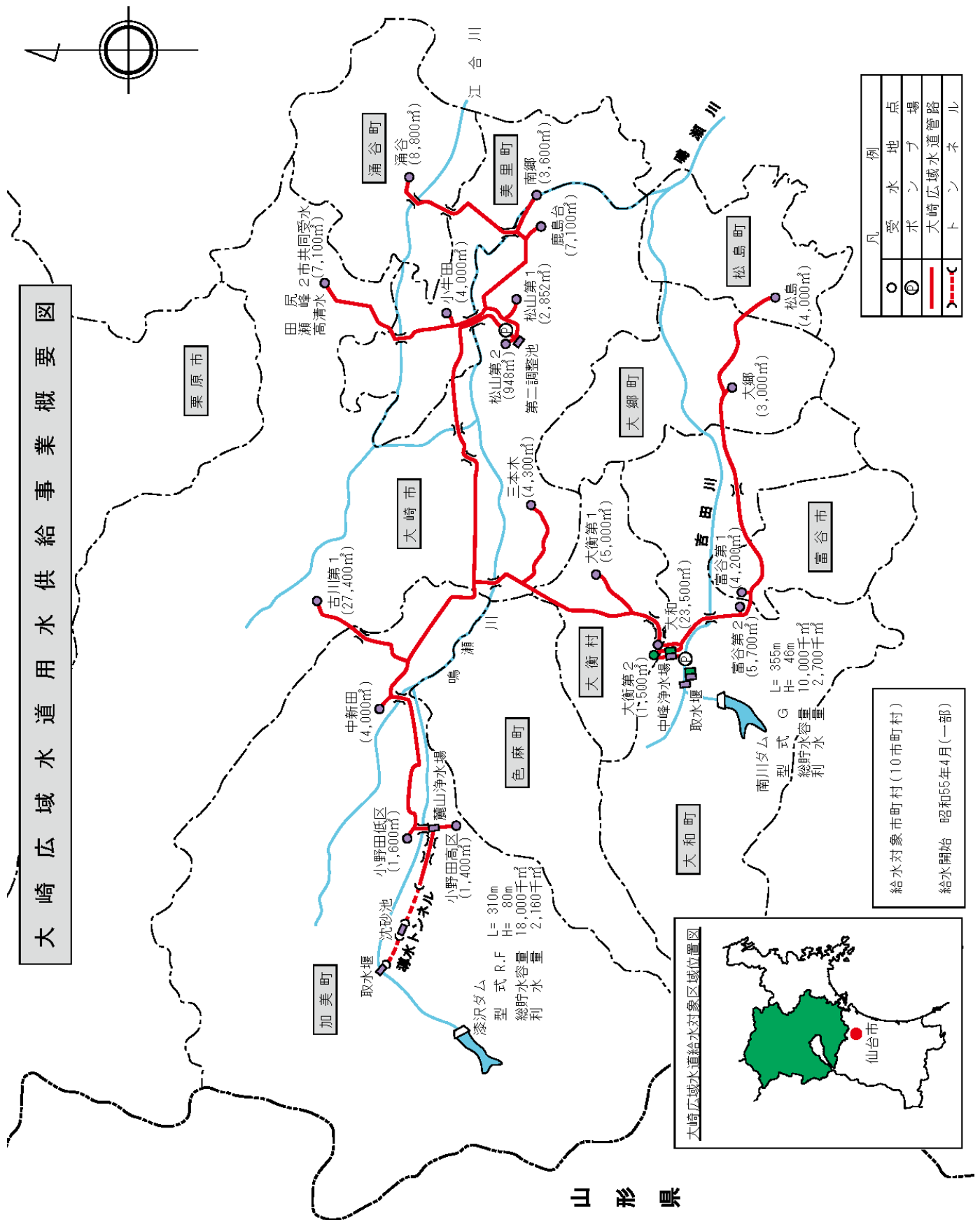
年 度		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
基 本 料 金	円/m ³ /月	496.00		485.00		
使 用 料 金	円/m ³	91.00		89.00		
供 給 単 価 (V/K)	円/m ³	60.33	59.95	55.04	63.37	63.17
給 水 原 価 (W/K)	円/m ³	77.41	84.40	87.04	108.33	108.87
資 本 費 (O/K)	円/m ³	57.65	54.23	54.27	68.76	71.41

※R4～R6 は決算額(消費税抜き)、R7 は最終現計予算額(消費税込み)、R8 は当初予算額(消費税込み)で作成。

● 収支状況

年 度			R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
収 入	営業収益(除受託)	千円	1,375,407	1,366,691	1,293,028	1,625,072	1,651,885
	Vうち料 金 収 入	千円	1,366,641	1,356,106	1,250,894	1,349,438	1,337,510
	営 業 外 収 益	千円	183,351	176,492	345,844	239,396	268,471
	特 別 利 益	千円	82,315	48,757	30,150	0	0
	計(除受託)	千円	1,641,073	1,591,940	1,669,022	1,864,468	1,920,356
支 出	営 業 費 用	千円	1,753,768	1,866,144	1,988,751	2,194,312	2,189,249
	営 業 外 費 用	千円	58,399	43,031	34,370	112,455	115,676
	特 別 損 失	千円	242,405	36,601	0	21,532	0
	W 経常費用(除受託)	千円	1,753,699	1,909,167	1,978,187	2,306,767	2,304,925
	計(除受託)	千円	1,996,104	1,945,768	1,978,187	2,328,299	2,306,425
当年度純利益(除受託)		千円	△355,031	△353,828	△ 309,164	△ 309,164	△ 386,069

※R4～R6 は決算額(消費税抜き)で作成し、受託分は除いている。R7 は最終現計予算額(消費税込み)で作成。R8 は当初予算額(消費税込み)で、「支出」の「計」と「当年度純利益」に予備費を算入して作成。



(2) 仙南・仙塩広域水道事業

① 事業の概要

本事業は、七ヶ宿ダムを水源とし、仙南及び仙塩地域の 17 市町に対して一日最大 553,300 m³の水道用水を供給するものです。

昭和 52 年度から建設工事に着手し、平成元年度までに一日最大 150,000 m³の取水に対応する第一期工事が完了。平成 2 年度からは一部（15 市町）給水を開始し、平成 4 年度からは 17 市町全てに給水しています。

また、平成 2 年度から着手した第二期工事が平成 5 年度に完了し、平成 6 年 4 月からはダム取水系の計画給水量である一日最大 279,000 m³の給水が可能となっています。

● 令和8年度の業務予定量

給水市町村数	8 市 9 町
年間総給水量	672,853,600 m ³
一日平均給水量	184,343 m ³

● 計画取水量と計画給水量(一日最大)

	計画取水量	計画給水量	取水
ダム取水	300,000 m ³	279,000 m ³	七ヶ宿ダム直接
河道取水(白石川)	295,000 m ³	274,300 m ³	白石川表流水
計	595,000 m ³	553,300 m ³	

● 受水市町村及び給水量(最終給水量)

(単位: m³/日)

市 町 名	給 水 量	市 町 名	給 水 量
白 石 市	24,700	仙 台 市	331,900
角 田 市	21,200	塩 竈 市	11,500
岩 沼 市	21,800	名 取 市	20,700
蔵 王 町	4,500	多 賀 城 市	21,000
大 河 原 町	8,200	富 谷 市	11,500
村 田 町	7,400	松 島 町	5,700
柴 田 町	20,300	七 ヶ 浜 町	10,900
亘 理 町	14,300	利 府 町	12,200
山 元 町	5,500		
仙 南 計	127,900	仙 塩 計	425,400
		合 計	553,300

● 給 水 計 画

ダム取水	平成 2 年 4 月(一部給水開始)	139,500 m ³ /日
	平成 6 年 4 月	279,000 m ³ /日
河道取水	水需要により対応(第三期工事)	139,500 m ³ /日
	水需要により対応(第四期工事)	134,800 m ³ /日

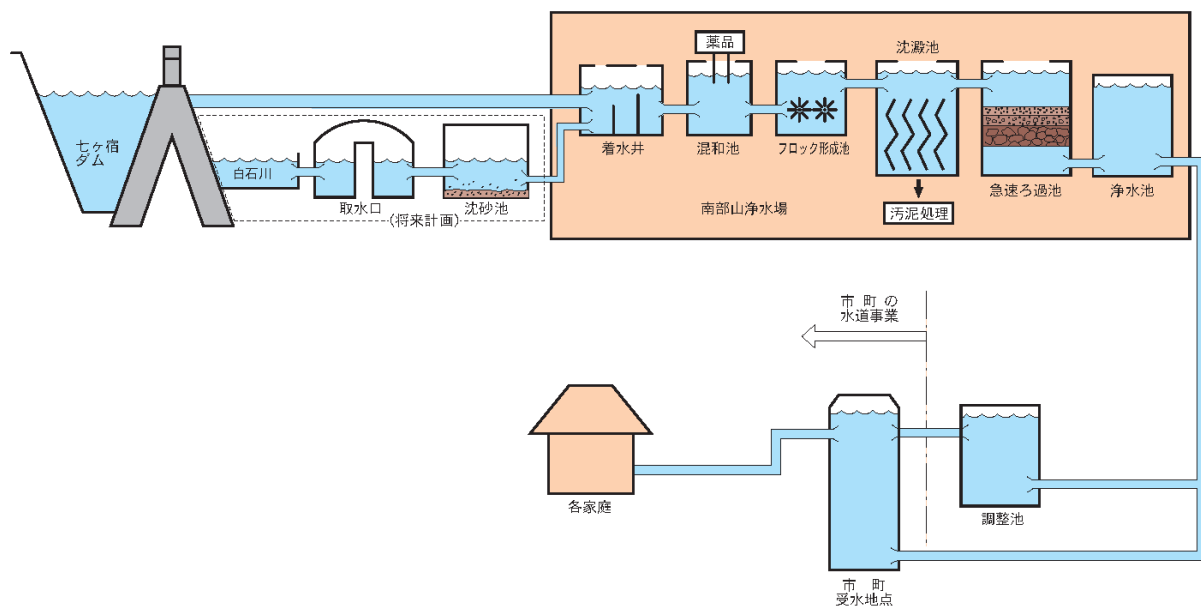
● 計画目標年次 未定

● 計画給水人口 1,931 千人

● 工 期

第一期工事(ダム系)	昭 和 52 年 度 ～ 平 成 元 年
第二期工事(ダム系)	平 成 2 年 度 ～ 平 成 5 年
第三期工事(河道系)	水需要により対応
第四期工事(河道系)	水需要により対応

■ 仙南・仙塩広域水道用水供給事業のしくみ



② 事 業 費

(単位:千円)

区 分	全 体 計 画	第二期工事まで	第三期工事以降
貯 水 施 設(ダム負担金)	60,387,962	60,387,962	
広 域 化 施 設	第 一 期 工 事	113,627,437	
	第 二 期 工 事	4,422,187	
	第 三 期 工 事	16,897,601	14,918,831
	第 四 期 工 事	5,188,743	5,188,743
	計	140,135,968	20,107,574
建 設 利 息 等	110,395,811	108,002,546	2,393,265
合 計	310,919,741	288,418,902	22,500,839
財 源 内 訳	国 庫 補 助 金	66,404,061	6,567,446
	企 業 債	212,865,000	9,225,000
	出 資 金	31,427,000	6,706,000
	そ の 他	223,680	2,393
	合 計	310,919,741	22,500,839

● セッケ宿ダム建設負担割合(工期 昭和 48～平成 3 年度 事業費 1,266.8 億円)

(単位: %)

区 分	建 設 費	管 理 費
上 水 道	47.7	47.7
工 業 用 水	4.5	4.5
公 共	47.8	47.8
計	100.0	100.0

③ 施設の概要

施設区分	概要		
貯水施設	七ヶ宿ダム[国土交通省] 目 的 洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい、水道用水 型 式 中央コア型ロックフィルダム 湛 水 面 積 4.1 km ² 総 貯 水 量 109,000,000 m ³ 本事業取水分 595,000 m ³ ／日		
取水施設	ダム直接取水	河道取水	
	取水塔 多段式シリンダーゲート式 H=48.5m シリンダー直径=1.2～2.2m 取水管 φ=1,200mm 管理橋 W=2.0m L=68.0m 取水管路 φ=1,200mm L=814m	可動堰 堰全長 80.5m 堰 高 3.6m 可動堰 3 スパン 取水管 φ=1,800mm L=825m 取水口 RC 造 沈砂池 RC 造 4 池	
導水施設	導水トンネル R=0.9 ホロ形[φ 1,800mm] L=11,135m 水管橋 3 橋 水路橋 1 橋 総延長 11,703m	導水管 φ 1,500mm L=2,400m ポンプ 横軸両吸込渦巻ポンプ 2,200KW 5 台 ポンプ棟 電気計装設備一式	
浄水施設	着水井 1 池(2 池) 薬品混和池 2 池(4 池) フロック形成池 4 池(8 池) 傾斜板式横流沈殿池 4 池(8 池) 重力式急速ろ過池 20 池(40 池) 管 理 本 館 RC 造 地下 1 階、地上 3 階建 延床面積 5,326 m ² 塩素混和池 2 池 浄水池 2 池		
送水施設	高区系[4 市 5 町]	高区・低区送水連絡管	低区系[4 市 4 町]
	調整池 RC 造 2 池 送水管 φ 2,400mm～φ 150mm L=123,123m 水管橋 24 橋 電気設備、遠方監視制御設備 テレメータ室 外	調整池 RC 造 2 池 送水管 φ 1,000mm～φ 600mm L=14,035m 水管橋 5 橋 電気設備、遠方監視制御設備 テレメータ室 外	調整池 RC 造 2 池 送水管 φ 1,200mm～φ 150mm L=77,057m 水管橋 13 橋 電気設備、遠方監視制御設備 テレメータ室 外

()内は最終事業計画

④ 経営の状況

● 給水量等

年 度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
A 施 設 能 力 $\text{m}^3/\text{日}$	279,000	279,000	279,000	279,000	279,000
B 契 約 水 量 $\text{m}^3/\text{日}$	221,100	220,300	222,900	226,200	230,500
C 責 任 水 量 $\text{m}^3/\text{日}$	176,880	176,240	178,320	180,960	184,400
D 取 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	68,222,270	68,353,770	71,081,330	—	—
E 給 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	66,902,284	67,047,772	68,243,943	70,773,360	67,285,360
F 1 日 平 均 給 水 量 m^3	183,279	183,191	186,970	193,900	184,343
G 1 日 最 大 給 水 量 m^3	(1/28)227,726	(12/5)206,006	(6/20) 211,205	—	—
H 有 効 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	66,896,712	67,037,224	68,250,443	—	—
I 1 日 平 均 有 効 水 量 m^3	183,279	183,162	186,988	—	—
J 無 効 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	5,572	10,548	0	—	—
K 有 収 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	66,663,160	67,115,775	68,243,943	70,773,360	67,285,360
L 1 日 平 均 有 収 水 量 m^3	182,639	183,376	186,970	193,900	184,343
M 動 力 費 千 円	3,710	74	80	16	0
N 薬 品 費 千 円	32	105	58	191	221
O 資 本 費 千 円	6,063,394	6,021,029	6,248,237	6,202,858	6,500,960

※R4～R6 は決算額(消費税抜き)、R7 は最終現計予算額(消費税込み)、R8 は当初予算額(消費税込み)で作成。

契約水量、責任水量は受水市町村との覚書ベース。資本費は、減価償却費、企業債等支払利息(一時借入金利息を除く。)及び企業債取扱諸費等の合計額。

■ 給水人口及び給水量(有収水量)の推移(各年度3月末日現在)



※ H2～R6 は決算ベース、R7 は最終現計予算ベースで作成。

● 料金等

年 度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
基 本 料 金 $\text{円}/\text{m}^3/\text{月}$	817.00		799.00		
使 用 料 金 $\text{円}/\text{m}^3$	42.00		41.00		
供 給 単 価 (V/K) $\text{円}/\text{m}^3$	101.33	100.62	97.12	104.84	107.94
給 水 原 価 (W/K) $\text{円}/\text{m}^3$	109.11	107.89	107.98	116.79	125.44
資 本 費 (O/K) $\text{円}/\text{m}^3$	90.96	89.71	91.56	87.64	96.62

※R4～R6 は決算額(消費税抜き)、R7 は最終現計予算額(消費税込み)、R8 は当初予算額(消費税込み)で作成。

● 収支状況

年 度			R 4	R 5	R6	R7	R8
収 入	営業収益(除受託)	千円	6,770,679	6,770,883	6,662,852	7,467,427	7,534,706
	V うち 料 金 収 入	千円	6,755,179	6,753,291	6,628,034	7,420,056	7,262,746
	営 業 外 収 益	千円	1,067,604	1,067,413	1,064,420	1,093,596	1,083,489
	特 別 利 益	千円	47,395	44,575	781	167,823	0
	計(除受託)	千円	7,885,677	7,882,871	7,728,053	8,728,846	8,618,195
支 出	営 業 費 用	千円	6,969,840	6,984,616	7,166,625	7,526,558	7,723,394
	営 業 外 費 用	千円	326,757	256,570	203,430	739,146	716,593
	特 別 損 失	千円	36,135	40,347	418,981	196,072	0
	W 経常費用(除受託)	千円	7,273,875	7,241,186	7,368,647	8,265,704	8,439,987
	計(除受託)	千円	7,310,010	7,281,533	7,787,628	8,461,776	8,445,987
当年度純利益(除受託)		千円	575,667	601,338	△ 59,574	△ 59,574	267,070

※R4～R6 は決算額(消費税抜き)で作成し、受託分は除いている。R7 は最終現計予算額(消費税込み)で作成。R8 は当初予算額(消費税込み)で、「支出」の「計」と「当年度純利益」に予備費を算入して作成。



⑤ 再生可能エネルギーの導入

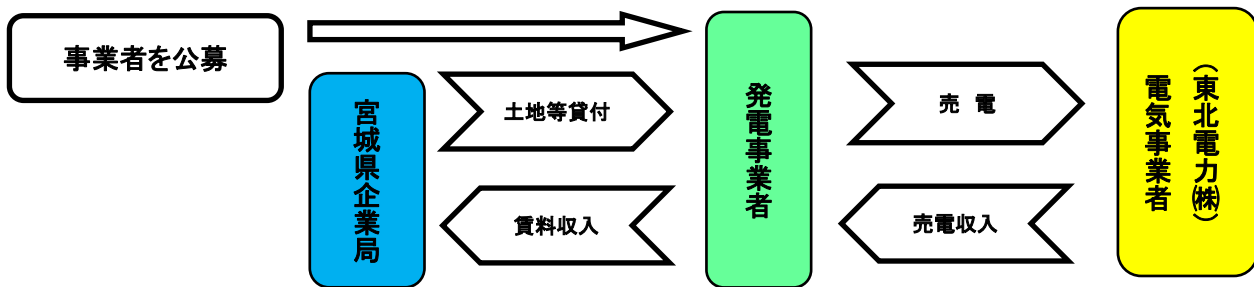
● 事業の概要

本県では、平成 24 年 6 月に「※みやぎ再生可能エネルギー導入推進指針」を策定し、東日本大震災からの復興に向け、再生可能エネルギーを活用した施策を実施し、「環境と経済の両立する宮城の実現」を目指すこととしています。

この推進プロジェクトの一つとして、「再生可能エネルギー大規模導入プロジェクト」を掲げており、企業局では、県有地や水道施設において民間活力を活用した太陽光発電及び小水力発電事業を実施し、再生可能エネルギー導入の推進を図っています。

※平成 26 年 3 月「自然エネルギー等の導入促進及び省エネルギーの促進に関する基本的な計画」に統合

● 事業のスキーム



● 白石太陽光発電所

- ・事業主体 東北電力(株)
- ・土地概要 面積 16,887 m² 河道系沈砂池用地(白石市福岡)
- ・発電出力 1,145kW
- ・発電電力量 123 万 kWh/年(一般家庭約 350 世帯の年間使用電力量に相当)
- ・年間賃借料 4,086,654 円
- ・事業費 約 3 億 5,000 万円
- ・太陽光パネル 6,940 枚
- ・工事着工 平成 25 年 7 月 9 日
- ・運転開始 平成 25 年 12 月 18 日



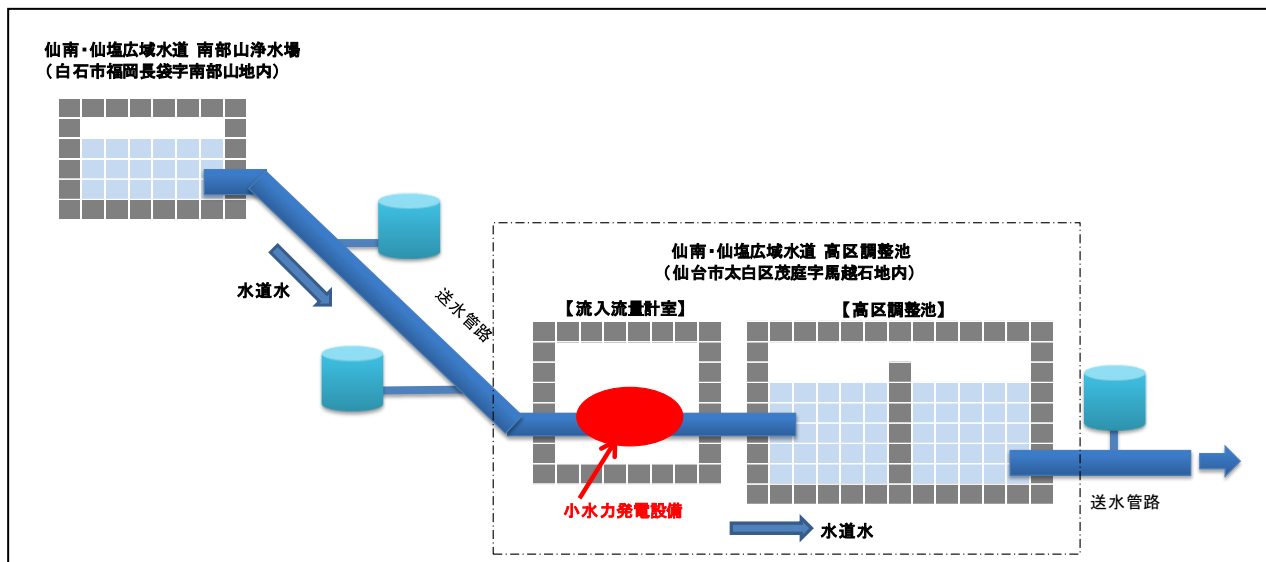
施工前



施工後

● 馬越石水力発電所

- ・事業主体 (株)アクアパワー東北
- ・事業場所 仙南・仙塩広域水道 高区調整池(仙台市太白区茂庭)
- ・発電出力 250kW
- ・発電電力量 186 万 kWh/年(一般家庭約 550 世帯の年間使用電力量に相当)
- ・年間賃借料、施設利用料 約 358 万円(過去 3 か年平均)
- ・事業費 約 2 億 5,000 万円
- ・年間売電 約 5,400 万円(186 万×29円=5,394 万円)
- ・使用水量 平均水量:0.90m³/s(約 78,100m³/日)(年平均)
最大水量:1.25m³/s(約 108,000m³/日)
- ・有効落差 最大 25.80m
- ・総落差 28.10m(南部山浄水場浄水池 200.10m、高区調整池 172.00m)
- ・工事着工 平成 26 年 1 月 24 日
- ・運転開始 平成 26 年 8 月 1 日



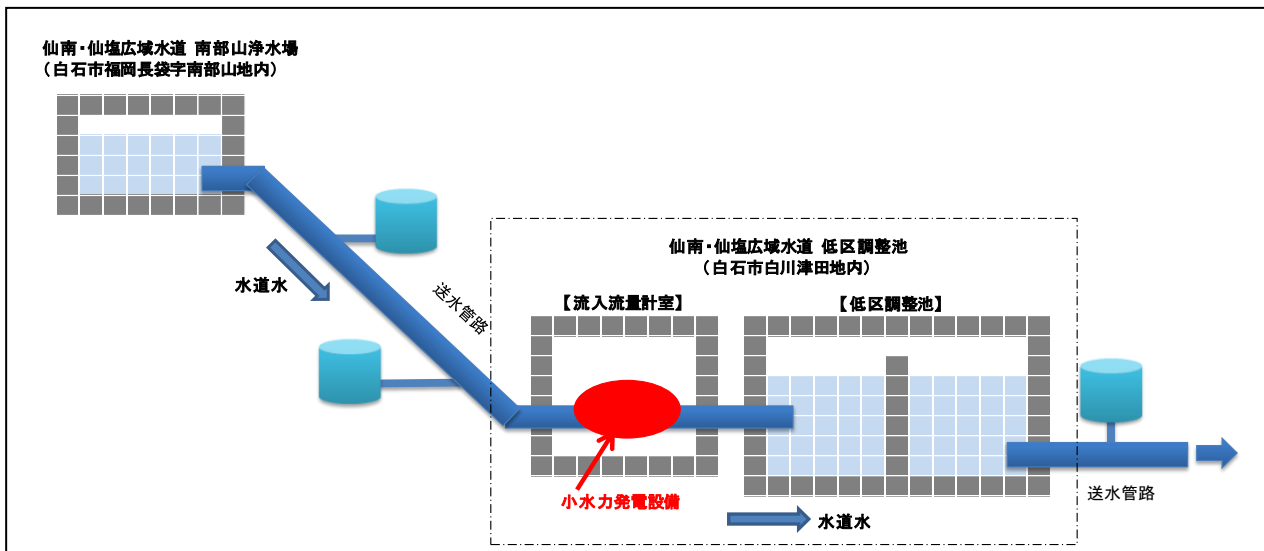
施工前



施工後

● 宮城県白石発電所

- ・事業主体 三峰川電力(株)
- ・事業場所 仙南・仙塩広域水道 低区調整池(白石市白川津田)
- ・発電出力 90kW
- ・発電電力量 66 万 kWh/年(一般家庭約 200 世帯の年間使用電力量に相当)
- ・年間賃借料、施設利用料 約 171 万円(過去 3 か年平均)
- ・事業費 約 1 億 500 万円
- ・年間売電 約 2,200 万円(66 万×34円=2,244 万円)
- ・使用水量 平均水量:0.40m³/s(約 34,600m³/日)(年平均)
最大水量:0.48m³/s(約 41,000m³/日)
- ・有効落差 最大 27.90m
- ・総落差 34.10m(南部山浄水場浄水池 200.10m、低区調整池 166.00m)
- ・工事着工 平成 29 年 11 月 28 日
- ・運転開始 平成 30 年 4 月 9 日



● 仙南・仙塩広域水道用水供給事業 南部山浄水場小水力発電事業

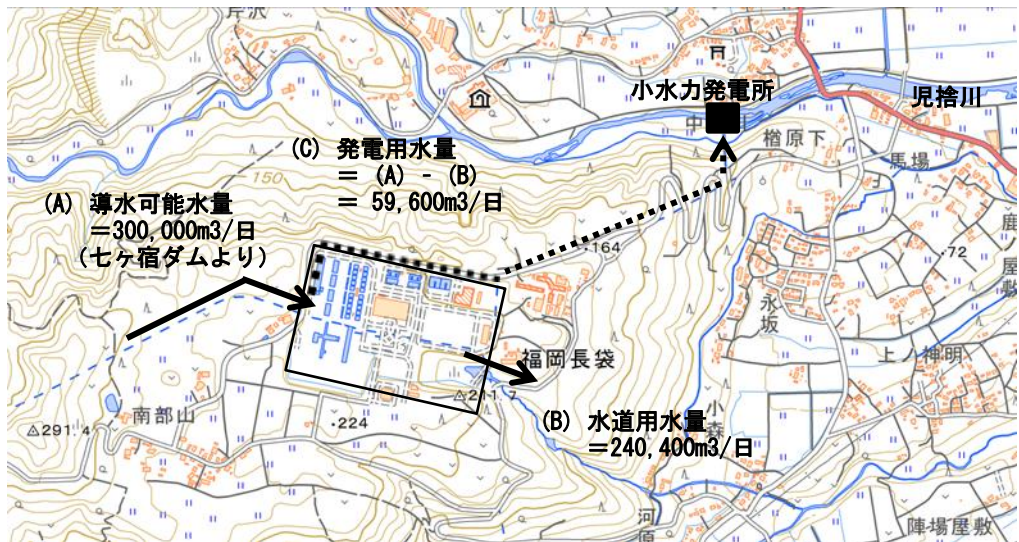
・事業概要

水道用水供給事業においては、高度成長期に策定された計画水量と現在の実供給水量の乖離が懸案となっており、乖離は、人口減少社会や節水型社会の進展により、今後、拡大することが想定されます。

そのため、南部山浄水場において、この計画水量と実供給水量の差である「未利用水」を活用した小水力発電を行います。

- ・事業主体 企業局
- ・全体事業費 約17.5億円(県のカーボンニュートラル施策により一般会計から繰入)
- ・事業期間 設計・工事 令和5年度から令和8年度
- ・事業開始 令和9年度から
- ・年間発電量 637万kWh／年(発電出力 765kW)

・イメージ図



・事業スケジュール（予定）

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
詳細検討	↔						
関係機関協議	←	→	→	→			
用地測量・買収		←	→	→			
公募・選定		↔					
設計・工事		←	→	→	→		
事業開始						●	

2 工業用水道事業

本県が実施する工業用水道は、仙塩地域工業開発の基盤整備の一環として建設した「仙塩工業用水道」、主として新産業都市 仙台湾地区 の拠点となる仙台港背後地の工業開発のために建設した「仙台圏工業用水道」、それに本県の内陸工業開発最大のプロジェクトとして建設された仙台北部中核工業団地等の内陸型工業団地へ供給するための「仙台北部工業用水道」があります。

なお、3工業用水道事業においては、水道事業を取り巻く厳しい経営状況を改善するため、令和4年4月から公共施設等運営権(コンセッション)方式により、民間事業者が運営を行う「宮城県上工下水一体官民連携運営事業(みやぎ型管理運営方式)」を実施しています。

(1) 仙塩工業用水道事業

① 事業の概要

本事業は仙塩特定地域総合開発計画の一環として、昭和 32 年度から昭和 38 年度までの 7 年間で建設されたもので、昭和 36 年 11 月から仙塩地区へ給水を開始しており、給水能力は一日最大 100,000 m³です。

昭和 39 年、仙塩地区を含む仙台湾地区が新産業都市に指定され、昭和 46 年の仙台港の開港等により工業導入も急速に進展し、本工業用水道はそれら地域開発に大きく寄与してきました。

また、地盤沈下現象が顕著である仙台市苦竹地区等においては、地下水に代わる水源としての大きな役割を果たしています。

本工業用水道は建設後相当の期間が経過し、配水管等施設の老朽化が著しくなったことから、昭和 49 年度から昭和 63 年度までの 15 年間で改築工事を実施しています。また、平成元年度から建設を進めてきた仙台市泉地区及び富谷市成田地区への給水区域の拡張工事は平成 5 年度に終了し、平成 6 年 4 月 1 日より給水を開始しています。

● 令和8年度の業務予定量(4月1日現在)

給 水 事 業 所 数	41 社
年 間 総 給 水 量	10,413,450 m ³
一 日 平 均 給 水 量	28,530 m ³

● 水 源

一級河川名取川水系大倉川(大倉ダム)

● 取 水

広瀬川四ツ谷堰(仙台市青葉区折立郷六)大倉ダム放流水 一日最大 100,000 m³

● 給水能力及び水質等

給 水 能 力	一日最大 100,000 m ³	
水 質 等	濁 度	10 度以下
	水 素 イ オン 濃 度	PH6.0～8.0

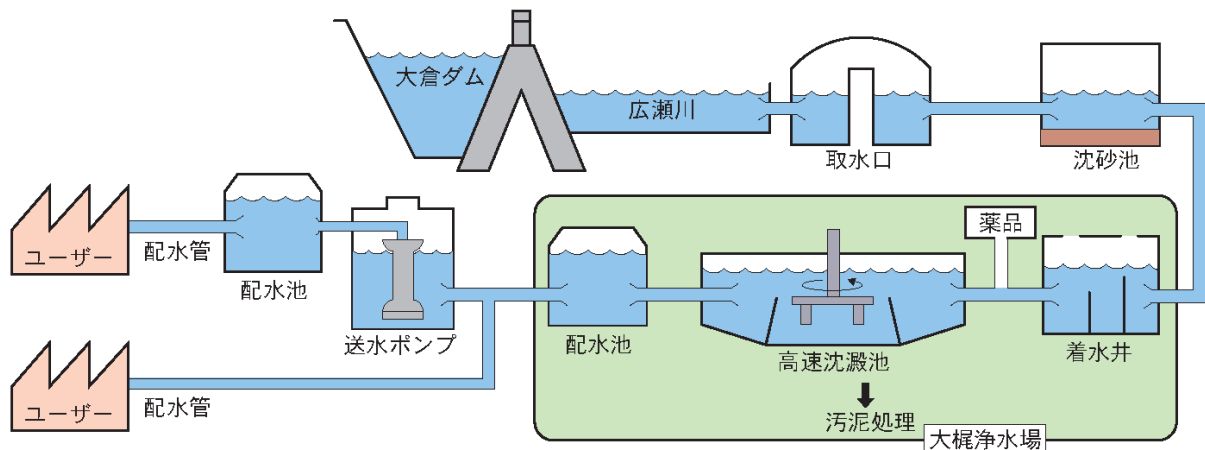
● 給水区域

仙台市、塩竈市、多賀城市、富谷市、七ヶ浜町、利府町、大和町

● 工期及び給水開始

当初建設	着工	昭和 32 年度
	完成	昭和 38 年度
給水開始	一部給水	昭和 36 年 11 月
	全部給水	昭和 39 年 4 月
拡張工事	仙台港背後地	昭和 45 年度
	塩釜市水産加工団地	昭和 45 年度～46 年度
改築工事		昭和 49 年度～63 年度
拡張工事	泉・富谷地区	平成 元 年 度～ 5 年 度

■ 仙塩工業用水道のしくみ



② 事業費

(単位: 千円)

区 分		事 業 費				計
		当 初 建 設	拡 張 工 事	改 築 工 事	拡 張 工 事 (泉・富谷工区)	
				(昭和 49～63 年度)	(平成元～5 年度)	
取水・導水・浄水工事費		421,204	-	2,793,012	66,671	3,280,887
配 水 工 事 費		608,323	390,478	3,907,586	5,608,877	10,515,264
用 地 補 償 費		24,296	480	336,397	200,178	561,351
そ の 他		36,177	23,042	672,494	697,131	1,428,844
計		1,090,000	414,000	7,709,489	6,572,857	15,786,346
財源内訳	国庫補助金	138,000	-	1,250,800	1,917,829	3,306,629
	企 業 債	935,000	414,000	6,299,697	1,618,000	9,266,697
	そ の 他	17,000	-	158,992	3,037,028	3,213,020
	計	1,090,000	414,000	7,709,489	6,572,857	15,786,346

● 大倉ダム建設費負担割合(工期 昭和 32～36 年 事業費 2,762,000 千円)

区 分	建設費負担割合	管理費負担割合
工 業 用 水	5.6 %	5.6 %
公 共	64.2 %	63.1 %
上 水 道	29.4 %	30.5 %
発 電	0.8 %	0.8 %
計	100.0 %	100.0 %

③ 施設の概要

項 目	概 要
貯水施設	大倉ダム[宮城県] 目 的 洪水調整、かんがい、発電 上 水 道[135,000 m ³ /日] 工業用水道[100,000 m ³ /日] 型 式 ダブルアーチ 湛水面積 1.60 km ² 総貯水量 28,000,000 m ³
取水施設	取水口、自動除じん機
導水施設	導水路延長 隧道、暗渠等 8,762m 導水連絡管 (φ700mm～φ1,000mm)5,287m
浄水施設	着 水 井 1 井 接合分水井 1 井 高速沈殿池 4 池 計量室 1 式 中央操作室 1 棟 電気計装施設 1 式
送水施設	配 水 池 大楯配水池 2 池(1 池容量 2,000 m ³) 富谷配水池 2 池(1 池容量 1,000 m ³) 配水管延長 φ100mm～φ1,350mm 71,306m 水管橋 13 橋 配水連絡管 φ500mm 626m 送 水 ポンプ 横軸片吸込多段渦巻ポンプ 132kW 2 台(うち予備 1 台)

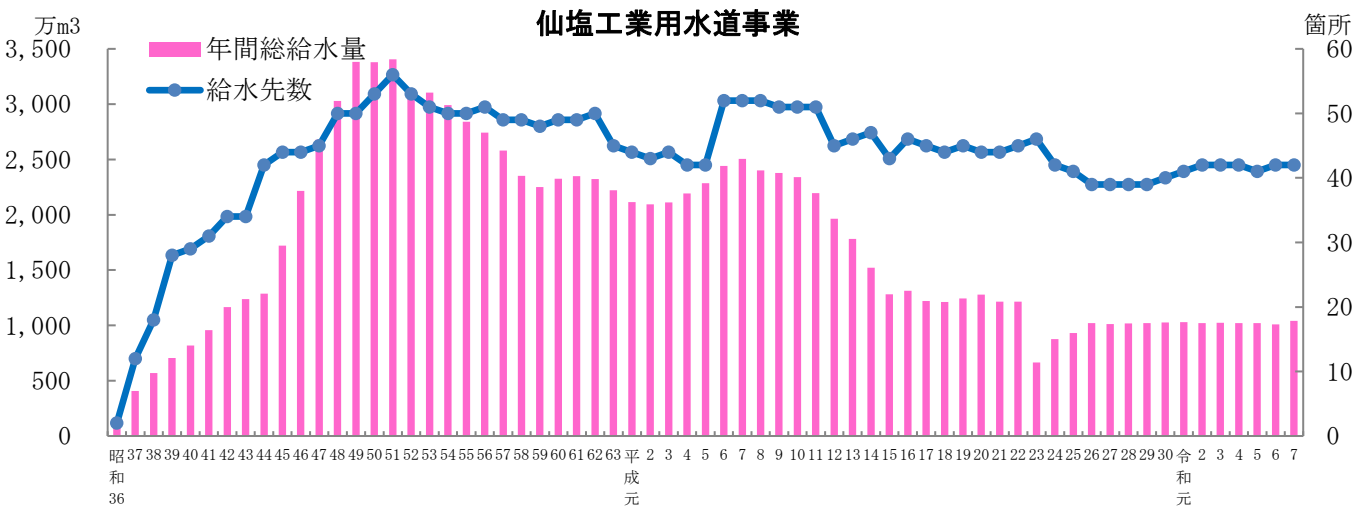
④ 経営の状況

● 給水状況

年度 区分	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
契約水量(m ³ /日)	27,890	27,890	27,990	28,030	27,930	27,830	27,680	27,400	27,400	28,530
契約事業所数(箇所)	39	39	40	41	42	42	42	41	42	41

※各年度末現在

■ 年間総給水量及び給水先数(各年度3月末日現在)



※ S36～R6 は決算ベース、R7 は最終現計予算ベースで作成。

■ 契約水量及び事業所数(令和8年4月1日現在)

業 種	契約水量(m ³ /日)	事業所数
石油製品製造業	9,600	1
電気業	7,000	2
電気機械器具製造業	3,550	5
食料品製造業	1,920	6
非鉄金属製造業	1,560	1
化学工業	630	2
金属製品製造業	300	2
輸送用機械器具製造業	100	1
印刷・同関連業	200	2
窯業・土石製品製造業	200	2
その他	3,470	17
計	28,530	41

● 料金(1立方メートル当たり)

区 分	S36年 11月1日	S45年 4月1日	S48年 4月1日	S50年 4月1日	S52年 8月1日	S56年 8月1日	S60年 4月1日
基本料金	3円50銭	4円50銭	6円	9円	13円	19円	28円
超過料金	7円	9円	12円	18円	26円	38円	56円
特定料金	3円50銭	4円50銭	-	-	-	-	-

区 分	H元年 4月1日	H4年 4月1日	H7年 4月1日	H9年 4月1日	H14年 4月1日	H26年 4月1日	R元年 10月1日
基本料金	28円 28円84銭	33円 33円99銭	36円 37円08銭	36円 37円80銭	54円 56円70銭	54円 58円32銭	54円 59円40銭
超過料金	56円 57円68銭	66円 67円98銭	72円 74円16銭	72円 75円60銭	108円 113円40銭	108円 116円64銭	108円 118円80銭

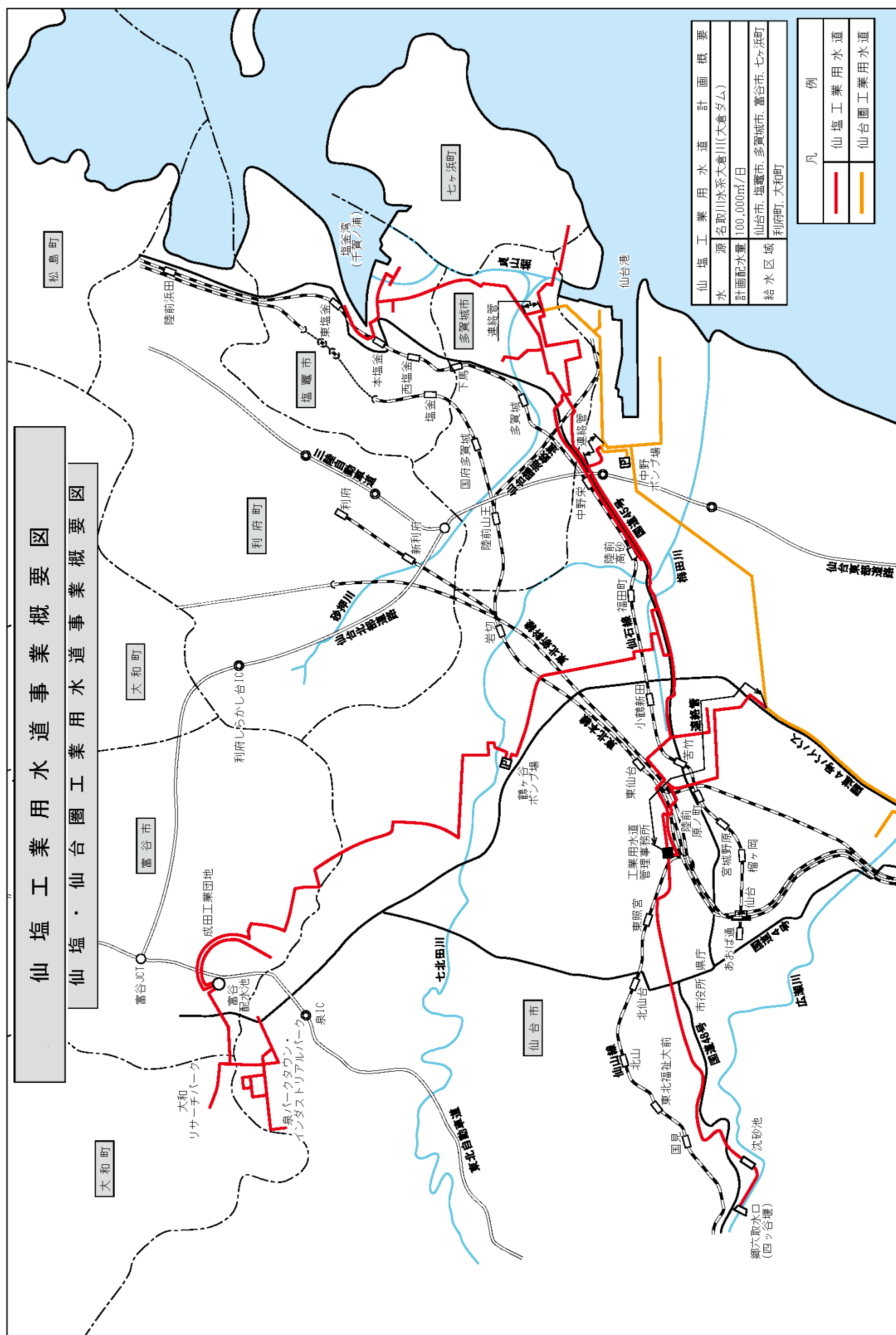
※H元年4月以降は、上段:消費税抜き、下段:消費税込み

● 収支状況

(単位:千円)

年度 区分		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
収 入	営業収益(除受託)	336,835	311,139	305,046	349,219	379,908
	営業外収益	149,700	147,694	139,435	149,560	144,949
	特別利益	15	20	632	0	0
	計(除受託)	486,550	458,852	445,113	498,779	524,857
支 出	営業費用	449,376	453,421	499,804	608,875	603,504
	営業外費用	6,999	7,211	5,831	30,970	26,351
	特別損失等	46,590	0	2,797	0	0
	計(除受託)	502,964	457,345	508,432	639,845	629,855
当年度純利益(除受託)		△16,415	1,507	△63,319	△141,066	△104,998
当年度未処分利益剰余金		122,769	112,907	33,474	0	△145,673
供給単価(円/m ³)		32.83	32.77	30.02	32.54	32.80
給水原価(円/m ³)		44.73	45.07	50.07	61.53	59.86
資本費(円/m ³)		35.48	34.43	33.82	33.44	35.70

※R4～R6は決算額(消費税抜き)で作成し、受託分は除いている。R7は最終現計予算額(消費税込み)で作成。R8は当初予算額(消費税込み)で、「支出」の「計」と「当年度純利益」に予備費を算入して作成。



(2) 仙台圏工業用水道事業

① 事業の概要

本事業は、仙台港背後地の工業開発により既設の仙塩工業用水道のみでは需要に応ずる余力がなくなることが見込まれたことから、新たに昭和 47 年度から昭和 51 年度までの 5 年間で建設したもので、昭和 51 年 10 月 1 日から給水を開始しています。

給水能力は一日最大 100,000 m³で、仙台港背後地に立地する石油精製、都市ガス、鉄鋼関連の企業等のほか、名取市、七ヶ浜町及び利府町の企業にも給水しています。

● 令和8年度の業務予定量(4月1日現在)

給水事業所数	16社
年間総給水量	16,808,250 m ³
一日平均給水量	46,050 m ³

● 水 源

一級河川名取川水系碁石川(釜房ダム)

● 取 水

名取川頭首工(名取市高館熊野堂)釜房ダム放流水 一日最大 100,000 m³

● 給水能力及び水質等

給水能力	一日最大 100,000 m ³
水 質	原水供給

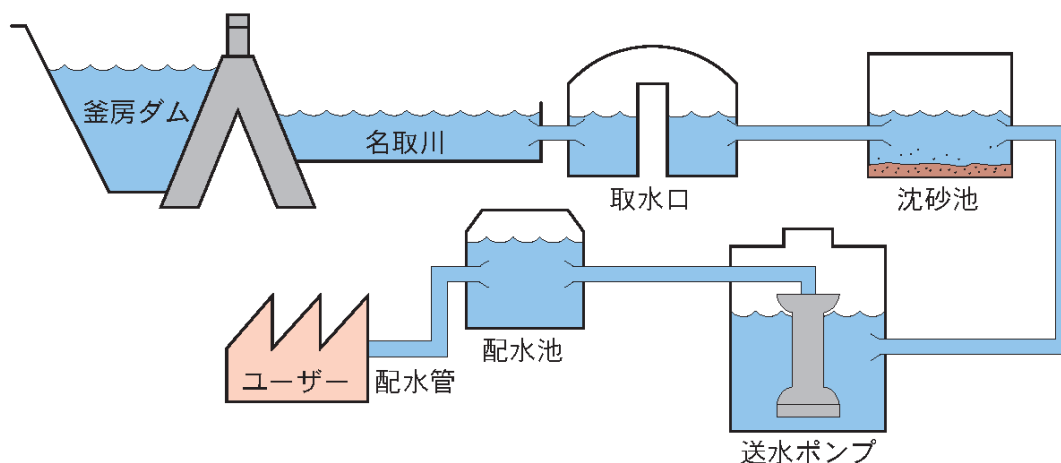
● 給水区域

仙台市、名取市、多賀城市、七ヶ浜町、利府町

● 工期及び給水開始

着 工	昭和 47 年度(ダム負担金は 42 年度から負担)
完 成	昭和 51 年度
給水開始	昭和 51 年 10 月

■ 仙台圏工業用水道のしくみ



② 事業費

(単位:千円)

区 分		全 体 事 業 費	摘 要
貯 水 工 事 費		566,260	S46 年度まで
取 水 ・ 送 水 工 事 費		1,093,773	S47～S51 年度
配 水 工 事 費		4,294,447	"
用 地 補 償 及 び 調 査 費		1,278,412	"
そ の 他		838,289	S42～S51 年度
計		8,071,181	
財 源 内 訳	国 庫 補 助 金	2,531,400	
	企 業 債	5,336,000	
	一 般 会 計 からの出資金等	200,403	
	そ の 他	3,378	
	計	8,071,181	

● 釜房ダム建設費等負担割合(工期 昭和 39～45 年 事業費 8,720,000 千円)

区 分	建設費負担割合	管理費負担割合
工 業 用 水	6.5 %	6.5 %
公 共	74.6 %	74.6 %
上 水 道 (仙 台 市)	18.8 %	18.8 %
発 電	0.1 %	0.1 %
計	100.0 %	100.0 %

③ 施設の概要

項 目	概 要																																										
貯水施設	釜房ダム[国土交通省] 目 的 洪水調整、かんがい、発電 上 水 道[200,000 m ³ ／日]、工業用水道[100,000 m ³ ／日] 型 式 重力式コンクリート 湛水面積 3.9 km ² 総貯水量 45,300,000 m ³																																										
取水施設	取水口[幅 3.00m×長 3.50m×高 2.50m] スクリーン 沈砂池 612 m ³ 2 池[走行式吸砂装置付]																																										
送水施設	送水ポンプ 床式立軸斜流ポンプ 355kW 2 台(うち予備 1 台) 自家発電機(停電予備用) 送 水 管 φ1,000mm 総延長 175m																																										
配水施設	配水池 2 池(1 池あたり 2,000 m ³) <table><tr><td>配水管</td><td>φ 150mm ～ φ 1,000mm</td><td>延長 29,417m</td></tr><tr><td rowspan="13">内 {</td><td>配水池～中 田</td><td>φ 1,100mm</td><td>4,712m</td></tr><tr><td>中 田～名 取</td><td>φ 350mm</td><td>1,826m</td></tr><tr><td>中 田～仙台港</td><td>φ 1,000mm</td><td>14,618m</td></tr><tr><td rowspan="4">名取川水管橋</td><td></td><td>543m</td></tr><tr><td>笹川水管橋</td><td>24m</td></tr><tr><td>広瀬川水管橋</td><td>304m</td></tr><tr><td>七北田川水管橋</td><td>156m</td></tr><tr><td rowspan="5">仙台港</td><td>φ 1,000mm</td><td>30m</td></tr><tr><td>φ 900mm</td><td>728m</td></tr><tr><td>φ 800mm</td><td>985m</td></tr><tr><td>φ 700mm</td><td>4,149m</td></tr><tr><td>φ 600mm</td><td>634m</td></tr><tr><td>若 林</td><td>φ 200mm～φ 350mm</td><td>796m</td></tr><tr><td>南小泉</td><td>φ 150mm</td><td>407m</td></tr><tr><td>仙塩・仙台圏の連絡管</td><td>φ 500mm</td><td>532m</td></tr></table>	配水管	φ 150mm ～ φ 1,000mm	延長 29,417m	内 {	配水池～中 田	φ 1,100mm	4,712m	中 田～名 取	φ 350mm	1,826m	中 田～仙台港	φ 1,000mm	14,618m	名取川水管橋		543m	笹川水管橋	24m	広瀬川水管橋	304m	七北田川水管橋	156m	仙台港	φ 1,000mm	30m	φ 900mm	728m	φ 800mm	985m	φ 700mm	4,149m	φ 600mm	634m	若 林	φ 200mm～φ 350mm	796m	南小泉	φ 150mm	407m	仙塩・仙台圏の連絡管	φ 500mm	532m
配水管	φ 150mm ～ φ 1,000mm	延長 29,417m																																									
内 {	配水池～中 田	φ 1,100mm	4,712m																																								
	中 田～名 取	φ 350mm	1,826m																																								
	中 田～仙台港	φ 1,000mm	14,618m																																								
	名取川水管橋		543m																																								
		笹川水管橋	24m																																								
		広瀬川水管橋	304m																																								
		七北田川水管橋	156m																																								
	仙台港	φ 1,000mm	30m																																								
		φ 900mm	728m																																								
		φ 800mm	985m																																								
		φ 700mm	4,149m																																								
		φ 600mm	634m																																								
	若 林	φ 200mm～φ 350mm	796m																																								
南小泉	φ 150mm	407m																																									
仙塩・仙台圏の連絡管	φ 500mm	532m																																									

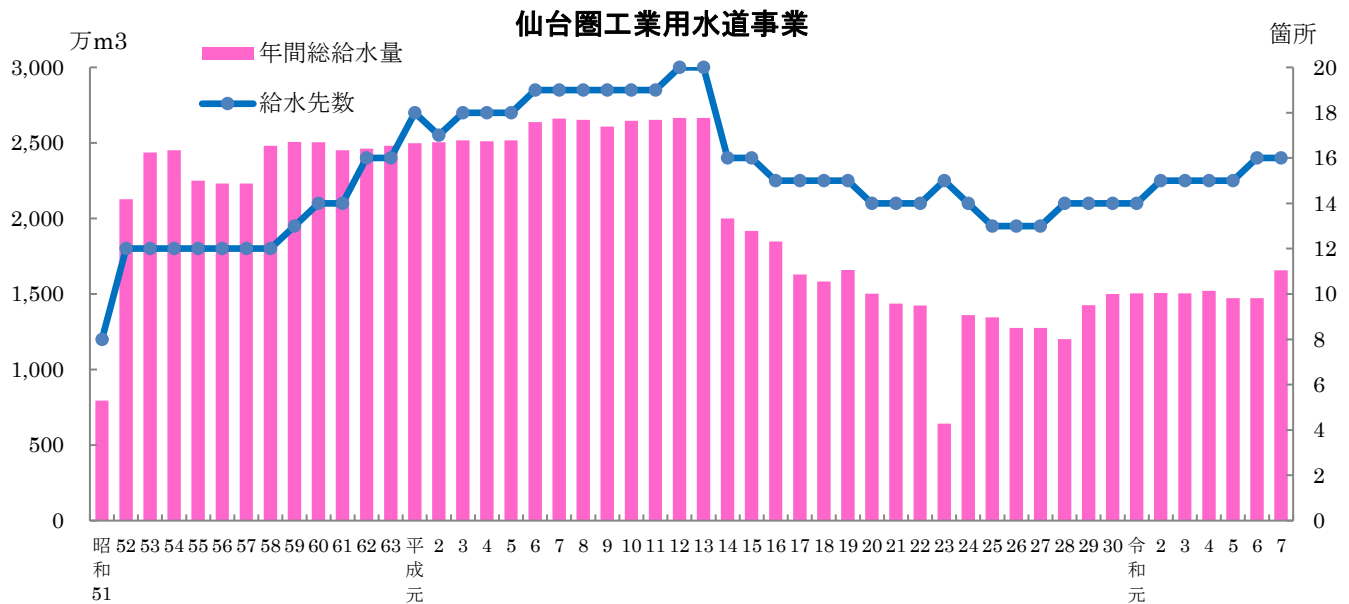
④ 経営の状況

● 給水状況

年度	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
区分										
契約水量(㎥／日)	33,310	40,990	40,990	40,990	41,950	41,050	42,050	39,850	40,550	46,050
契約事業所数(箇所)	14	14	14	14	15	15	15	15	16	16

※各年度末現在

■ 年間総給水量及び給水先数(各年度3月末日現在)



※ S51～R6 は決算ベース、R7 は最終現計予算ベースで作成。

■ 契約水量及び事業所数(令和8年4月1日現在)

業 種	契約水量(㎥／日)	事業所数
石油製品製造業	14,400	1
飲料・たばこ・飼料製造業	7,100	2
鉄鋼業	7,000	1
食料品製造業	900	2
ガス業	500	1
化学工業	290	2
電気業	14,960	3
ゴム製品製造業	300	1
プラスチック製品製造業	100	1
その他	500	2
計	46,050	16

● 料金(1 立方メートル当たり)

区 分	S51 年 10 月 1 日	S58 年 4 月 1 日	H 元年 4 月 1 日	H9 年 4 月 1 日	H26 年 4 月 1 日	H29 年 4 月 1 日	R 元年 10 月 1 日
基本料金	17 円 —	23 円 —	23 円 23 円 69 銭	23 円 24 円 15 銭	23 円 24 円 84 銭	30 円 32 円 40 銭	30 円 33 円
超過料金	34 円 —	46 円 —	46 円 47 円 38 銭	46 円 48 円 30 銭	46 円 49 円 68 銭	60 円 64 円 80 銭	60 円 66 円

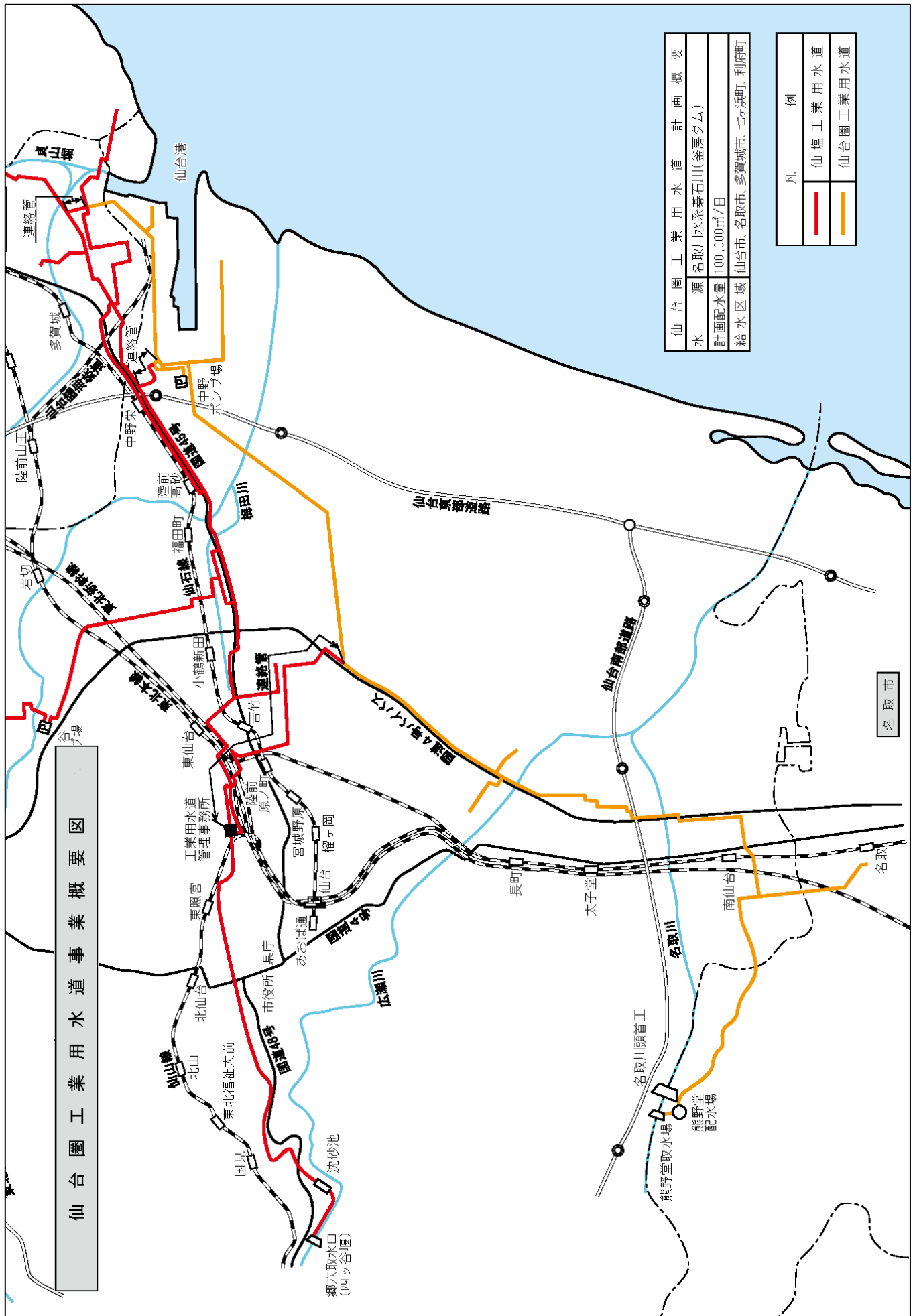
※H 元年 4 月以降は、上段:消費税抜き、下段:消費税込み

● 収支状況

(単位:千円)

年度 区分		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
収 入	営業収益(除受託)	334,567	307,766	305,110	371,036	409,931
	営業外収益	38,699	55,271	48,162	53,453	51,342
	特別利益	6,405	6	0	0	0
	計(除受託)	379,671	363,043	353,272	424,489	461,273
支 出	営業費用	249,441	294,482	329,761	327,782	400,865
	営業外費用	3,945	2,184	1,772	14,190	12,923
	特別損失等	6,266	0	32	0	0
	計(除受託)	259,652	296,666	331,565	341,972	413,788
当年度純利益(除受託)		120,019	66,377	21,708	82,517	47,485
当年度未処分利益剰余金		201,029	143,661	77,045	47,989	117,549
供給単価(円 / m ³)		21.89	20.60	20.52	22.05	23.01
給水原価(円 / m ³)		16.67	20.14	22.50	20.64	24.41
資本費(円 / m ³)		7.50	10.07	9.69	8.87	9.66

※R4～R6は決算額(消費税抜き)で作成し、受託分は除いている。R7は最終現計予算額(消費税込み)で作成。R8は当初予算額(消費税込み)で、「支出」の「計」と「当年度純利益」に予備費を算入して作成。



(3) 仙台北部工業用水道事業

① 事業の概要

本事業は、黒川郡の大和町と大衡村にまたがる本県内陸最大のプロジェクトとして建設された仙台北部中核工業団地のほか、大崎市及び加美郡加美町における立地企業に対し一日最大 58,500 m³の工業用水を供給するものです。

昭和 50 年度に建設工事に着手し、大崎市三本木地区までの整備を昭和 54 年度までに完成、昭和 55 年 4 月から一部給水を開始しており、その後、先端技術産業の立地促進のため、大衡村衡東地区に浄水場（濁度 1 度以下に浄水）を建設、昭和 62 年 4 月から給水しています。

また、昭和 63 年度から一部分譲を開始した仙台北部中核工業団地内の配水管布設工事は平成 3 年度に終了し給水を開始しており、平成 4 年度から平成 14 年度にかけて、第二仙台北部中核工業団地に配水管を布設しています。

さらに、令和 3 年 5 月から麓山浄水場池内にて濁度低減処理施設の稼働を開始しており、高濁度時には施設内で濁度低減処理を行った水をユーザーへ配水しています。

● 令和 8 年度の業務予定量（4 月 1 日現在）

給水事業所数	15 社
年間総給水量	6,909,450 m ³
一日平均給水量	18,930 m ³

● 水 源

一級河川鳴瀬川水系鳴瀬川（漆沢ダム）

● 取 水

門沢取水堰（加美町門沢）漆沢ダム放流水 一日最大 60,000 m³

● 給水能力及び水質等

給水能力	一日最大 58,500 m ³
水 質	原水供給 53,500 m ³ /日

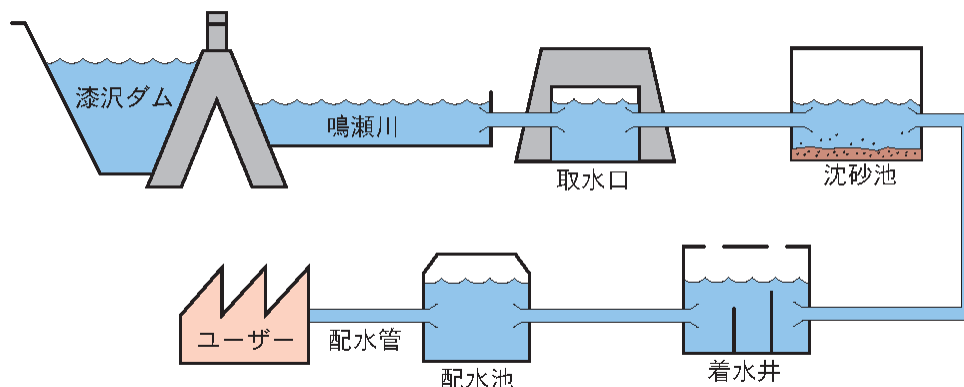
● 給水区域

大崎市、大和町、大衡村、加美町

● 工期及び給水開始

着 工	昭和 50 年度（ダム負担金は昭和 48 年度から負担）
完 成	平成 3 年度
給 水 開 始	一部給水 昭和 55 年 4 月
	全部給水 平成 4 年 4 月

■ 仙台北部工業用水道のしくみ



② 事業費

(単位:千円)

区 分		全 体 事 業 費
取水・導水工事費 配水工事費 用地補償費 その他		2,901,559
		5,235,756
		131,051
		5,936,239
計		14,204,605
財源内訳	国庫補助金	2,631,406
	企業債	10,638,000
	その他	935,199
	計	14,204,605

● 漆沢ダム建設費等負担割合

8ページ参照

③ 施設の概要

項 目	概 要
貯水施設	漆沢ダム(大崎広域水道の水源内容と同じ)
取水施設 〔大崎広域水道との共用〕	取水堰 長 40.0m×高 3.3m(固定部 長 30.0m・可動部 3.0m×2 門) 取水口 2 門 土砂吐ゲート、管理橋 管理室 電気計装設備一式
送水施設 〔大崎広域水道との共用〕	導水トンネル等 2 坑 4,313m 沈砂池 2 池 導水管 $\phi 900\text{mm} \sim \phi 1,350\text{mm}$ 4,345m 水管橋 2 橋 151m 管理室 電気計装設備一式
浄水施設 〔麓山浄水場〕	混和池 1 池 フロック形成池 2 池 薬品沈殿池 2 池
配水施設	配水池 (麓山) 1,215 m ³ 2 池 配水管 $\phi 900\text{mm}$ 29,749m 内 〔掃出水管橋 204m 高田水管橋 274.6m 〕 $\phi 700\text{mm}$ 518m 内 (高倉水管橋 300m) $\phi 900\text{mm}$ 1,499m $\phi 400\text{mm}$ 3,569m $\phi 250\text{mm} \sim \phi 400\text{mm}$ 142m (衡東枝線) $\phi 150\text{mm} \sim \phi 500\text{mm}$ 2,491m (仙台北部中核工業団地内) $\phi 150\text{mm} \sim \phi 250\text{mm}$ 958m (枝線) $\phi 100\text{mm} \sim \phi 300\text{mm}$ 4,327m (第二北部中核工業団地) $\phi 300\text{mm} \sim \phi 600\text{mm}$ 4,147m (大和流通団地幹線) 内 (五輪沢水管橋 18.3m) 桔梗平配水池 920 m ³ 1 池

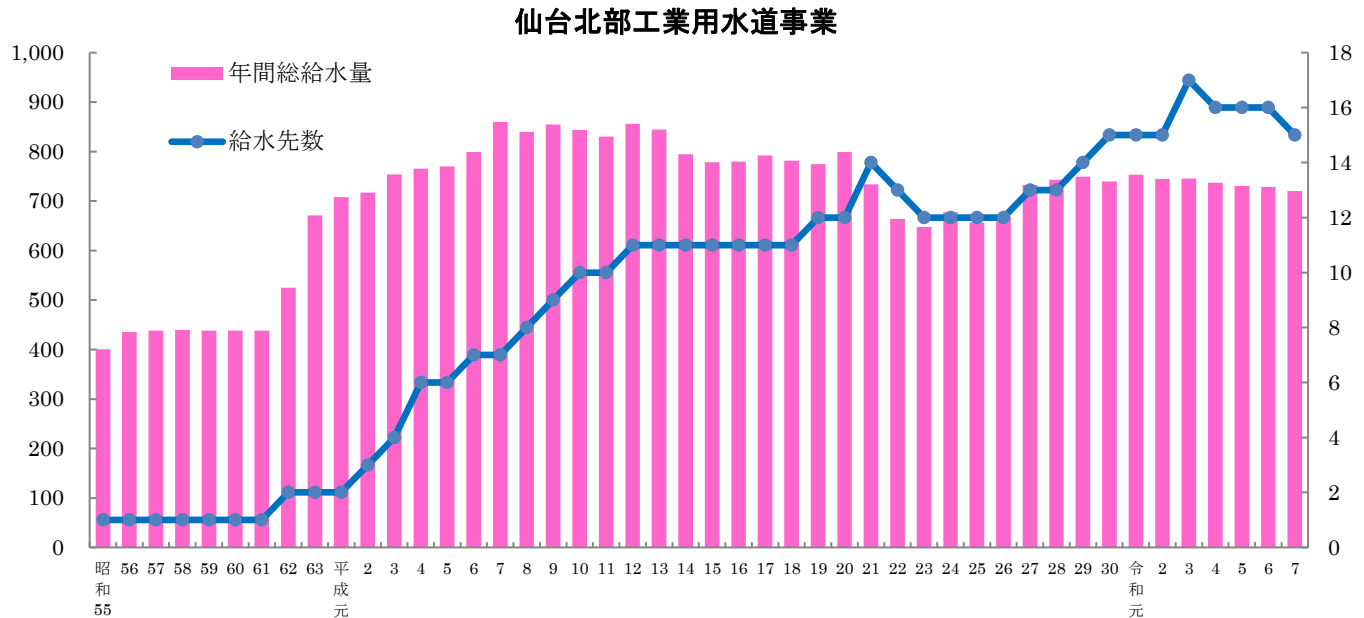
④ 経営の状況

● 給水状況

※各年度末現在

年度 区分	H28	H29	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
契約水量(㎥／日)	20,360	20,360	20,560	20,530	20,280	20,480	19,880	19,880	19,880	18,930
契約事業所数(箇所)	14	14	15	15	15	17	16	16	16	15

■ 年間総給水量及び給水先数(各年度3月末日現在)



※ S55～R6 は決算ベース、R7 は最終現計予算ベースで作成。

■ 契約水量及び事業所数(令和8年4月1日現在)

業 種	契約水量(㎥／日)	事業所数
金属製品製造業	8,840	2
電気機械器具製造業	5,390	5
化学工業	2,950	2
食料品製造業	150	1
輸送用機械器具製造業	1,050	2
非鉄金属製造業	350	1
金属加工業	100	1
ゴム製品製造業	100	1
計	18,930	15

● 料金(1 立方メートル当たり)

区 分	S55 年 4 月 1 日	H 元年 4 月 1 日	H5 年 4 月 1 日	H8 年 4 月 1 日	H9 年 4 月 1 日	H13 年 4 月 1 日	H26 年 4 月 1 日
基本料金	36 円	36 円 37 円 8 銭	43 円 44 円 29 銭	50 円 51 円 50 銭	50 円 52 円 50 銭	59 円 61 円 95 銭	59 円 63 円 72 銭
超過料金	72 円	72 円 74 円 16 銭	86 円 88 円 58 銭	100 円 103 円	100 円 105 円	118 円 123 円 90 銭	118 円 127 円 44 銭

区 分	R 元年 10 月 1 日
基本料金	59 円 64 円 90 銭
超過料金	118 円 129 円 80 銭

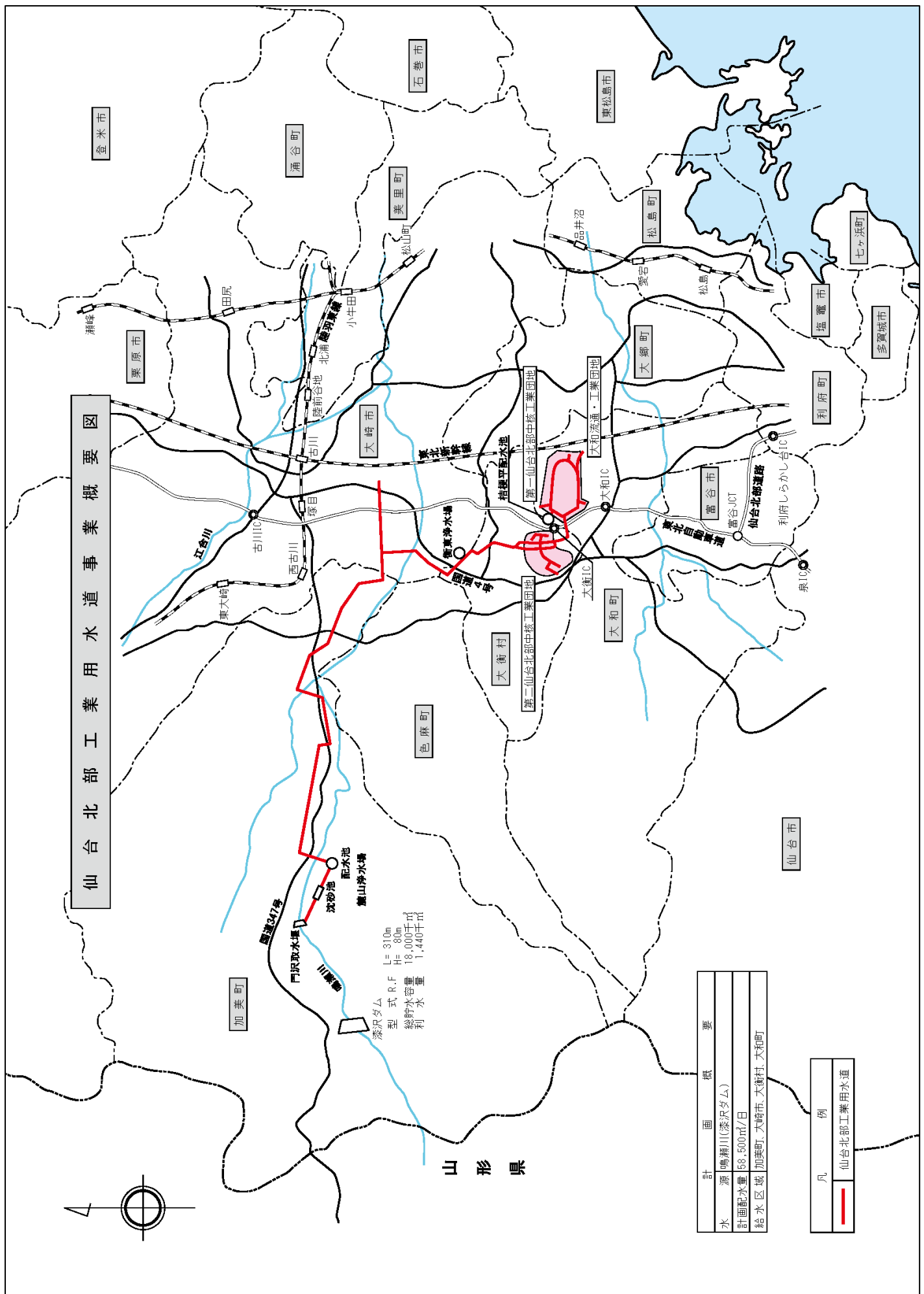
※H 元年4月以降は、上段:消費税抜き、下段:消費税込み

● 収支状況

(単位:千円)

年度 区分		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
収入	営業収益(除受託)	391,197	384,156	382,100	419,560	400,763
	営業外収益	99,140	113,197	114,112	162,113	102,719
	特別利益	105,541	3,556	235	0	0
	計(除受託)	595,878	500,909	496,447	581,673	503,482
支出	営業費用	431,912	424,017	546,176	844,534	620,896
	営業外費用	2,523	4,400	2,257	11,350	24,986
	特別損失等	108,095	3,054	958	0	0
	計(除受託)	542,531	431,472	549,391	855,884	645,882
当年度純利益(除受託)		53,347	69,437	△52,946	△274,211	△142,426
当年度末処分利益剰余金		△58,944	10,493	△52,946	△52,946	△318,140
供給単価(円 / m ³)		52.89	52.38	25.81	57.08	57.07
給水原価(円 / m ³)		58.96	58.64	37.22	118.79	93.48
資本費(円 / m ³)		43.90	44.18	22.00	45.91	47.97

※R4～R6は決算額(消費税抜き)で作成し、受託分は除いている。R7は最終現計予算額(消費税込み)で作成。R8は当初予算額(消費税込み)で、「支出」の「計」と「当年度純利益」に予備費を算入して作成。



3 地域整備事業

(1) 事業の概要

本事業は、仙台港国際ビジネスサポートセンター（以下「アクセル」という。）の建設計画の推進を契機として、平成9年度に新たに創設したもので、地域振興に資する施設の建設や活力ある県土づくりの核となる地域開発、所有資産の有効かつ効率的な運用等により、地域整備の促進と県土の均衡ある発展を図り、もって県民の福祉の増進に寄与することを目的としています。

(2) 事業内容

① 地域整備事業

アクセル等地域振興に資する施設の建設や、所有資産を有効かつ効率的に運用することにより、地域整備の促進を図り、もって地域住民の福祉の向上に寄与しようとするものです。

② 新分野開発調査

新たな県民ニーズに的確に応え、住民福祉の向上に寄与するため、地方公営企業としての事業化の可能性について調査・研究を行うものです。

③ 長期貸付事業

所有資産の有効活用を図るとともに、地域整備に資する事業の金利負担の軽減を図り、事業の円滑な実施と企業経営の安定に寄与するものです。

(3) 令和8年度の主な事業

① アクセル施設管理運営事業

アクセルは、仙台港の国際貿易における港湾業務機能の支援と賑わいの創出による交流機能の集積を図ることを目的に、FAZ（輸入促進）事業を担う株式会社仙台港貿易促進センターとの共同施工により建築し、平成12年3月18日に開業しました。

東日本大震災での地震・津波により施設は甚大な被害を受け、震災以降1階及び2階部分のホール及びラボ等の営業を廃止し、平成26年7月、みやぎ産業交流センター（夢メッセみやぎ）西館（経済商工観光部所管）として再開しました。

企業局が管理運営する3階から5階のオフィス部分については、16者（令和8年4月1日現在）が入居しており、引き続き港湾業務機能を支援する施設として入居率の向上に努めるとともに、適切な維持管理を行いながら更なる経営改善を図っていきます。

なお、アクセルは、仙台市の津波避難施設（平成28年度指定）として、本地域の防災拠点の機能も担っています。

建物概要



所在地	仙台市宮城野区港三丁目1番3号
敷地面積	26,076 m ² （約7,887坪）
延床面積	10,750 m ² （約3,252坪）
構造	地上5階、鉄骨鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）
建設年度	平成9年度～平成11年度
駐車場台数	513台（うち賃貸オフィス入居者用月極237台）
施設	1階 展示場、ホール、会議室 2階 研修室、会議室 【1・2階は、みやぎ産業交流センター（夢メッセみやぎ西館）として経済商工観光部所管部分】
	3階～5階 賃貸オフィス、会議室 【企業局所管部分】

② 仙台港周辺地域賑わい創出推進事業

仙台港の開港以来常に当地域の発展に関わってきた企業局として、仙台港周辺地域の立地企業や関係機関と連携して積極的に賑わいの創出に向けた事業を推進しています。

平成29年4月12日に官民連携組織である仙台港周辺地域賑わい創出コンソーシアムが設立され、主催イベントの実施や、仙台港周辺地域のまちづくりに関する検討などの活動支援を行っています。

【みなとオアシス仙台港ウォーク】



ウォーキングを通じ、仙台港周辺地域の自然や、商業、工業地域などの景色をゆっくりと楽しみながら歩いてもらい、地域の魅力を発見してもらうことを目的に開催。

【みなとオアシス仙台港 PR 看板の多言語化】



令和3年度にJR中野栄駅自由通路内に設置した仙台港周辺地域のPR看板の情報を令和7年2月に更新するとともに、増加するインバウンド対応のため英語、繁体字に多言語化。

③ 仙台港周辺地域土地活用事業

仙台港周辺地域の土地を商業施設や流通業務施設等を用途とする事業者に対して貸付を行っています。

令和8年4月1日時点

貸付用途別	貸付面積	備考
商業施設	122,169.02㎡	三井アウトレットパーク仙台港及びカインズ仙台港店に貸付
流通業務施設等	14,151.28㎡	流通事業者等6者に貸付
計	136,320.30㎡	



④ 他会計に対する長期貸付事業

令和8年3月31日現在

貸付先別会計	貸付額	償還済額	償還残額
水道用水供給事業会計	3,007,000,000円	3,007,000,000円	0円
大崎広域水道事業	907,000,000円	907,000,000円	0円
仙南・仙塩広域水道事業	2,100,000,000円	2,100,000,000円	0円
工業用水道事業会計	5,395,200,000円	5,395,200,000円	0円
仙塩工業用水道事業	2,005,700,000円	2,005,700,000円	0円
仙台圏工業用水道事業	231,000,000円	231,000,000円	0円
仙台北部工業用水道事業	2,266,500,000円	2,266,500,000円	0円
仙南工業用水道事業	892,000,000円	892,000,000円	0円
流域下水道事業会計	1,210,000,000円	1,210,000,000円	0円
仙塩流域下水道事業	172,344,000円	172,344,000円	0円
阿武隈川下流流域下水道事業	172,943,000円	172,943,000円	0円
鳴瀬川流域下水道事業	172,942,000円	172,942,000円	0円
吉田川流域下水道事業	172,943,000円	172,943,000円	0円
北上川下流流域下水道事業	172,943,000円	172,943,000円	0円
北上川下流東部流域下水道事業	172,942,000円	172,942,000円	0円
迫川流域下水道事業	172,943,000円	172,943,000円	0円
計	9,612,200,000円	9,612,200,000円	0円

4 流域下水道事業

下水道は、良好な都市環境の形成と公衆衛生の向上に寄与するとともに、河川等の公共用水域の水質保全に重要な役割を有する住民生活に不可欠なライフラインです。

そのうち、流域下水道事業は、2以上の市町村の公共下水道からの汚水を受け、広域的かつ効果的に汚水进行处理するため、都道府県が主体となって管理運営するものです。

本県が実施する流域下水道事業は、「仙塩流域下水道」、「阿武隈川下流流域下水道」、「鳴瀬川流域下水道」、「吉田川流域下水道」、「北上川下流流域下水道」、「北上川下流東部流域下水道」、「迫川流域下水道」の7流域になります。

なお、「仙塩流域下水道」、「阿武隈川下流流域下水道」、「鳴瀬川流域下水道」、「吉田川流域下水道」の4流域下水道事業においては、水道事業を取り巻く厳しい経営状況を改善するため、令和4年4月から公共施設等運営権(コンセッション)方式により民間事業者が運営を行う「宮城県上工下水一体官民連携運営事業(みやぎ型管理運営方式)」を実施しています。

(1) 仙塩流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、松島湾、七北田川の公共用水域の水質保全を目的として、仙塩中央地区 3市2町(仙台市・塩竈市・多賀城市・七ヶ浜町・利府町)から流入する汚水进行处理するものです。

昭和45年の下水道法の改正による流域下水道の法制化後、昭和47年に東北地方初の流域下水道として事業着手し、昭和53年に一部供用を開始しました。現在の管渠は26.2kmが整備され、令和6年度末の処理区域人口は309.4千人、下水道処理人口普及率は99.4%に達しています。

● 令和8年の業務予定量

関連市町村数	3市2町
年間処理汚水量	40,679,000 m ³
日平均処理汚水量	111,449 m ³

● 仙塩流域計画一覧表(令和7年3月31日現在)

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	13,983ha		
処理面積	8,956.20ha	8,418.0ha	7,491.7ha
処理人口	308,337人	321,076人	309,379人
処理能力	222,000 m ³ /日	222,000 m ³ /日	222,000 m ³ /日
系列数	4	4	4
管渠延長	26,246m	26,240m	26,240m
ポンプ場	1箇所	1箇所	1箇所
計画目標年度	令和17年度	令和7年度	-

● 関連市町日平均汚水流入量(令和6年実績)

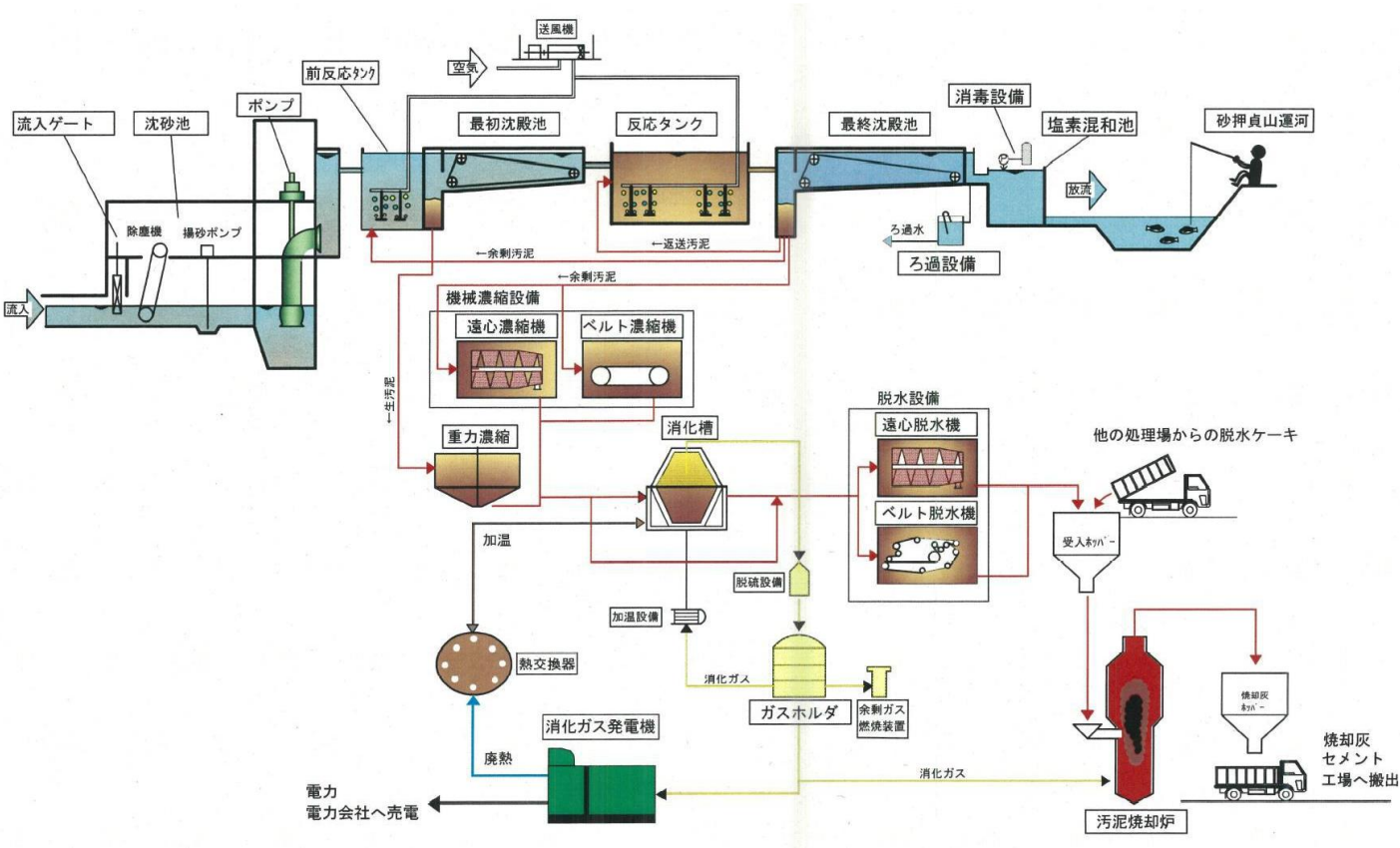
(単位: m³/日)

市町村名	汚水量	市町村名	汚水量
仙台市	52,066	七ヶ浜町	4,952
塩竈市	20,616	利府町	10,075
多賀城市	19,471	合計	107,180

● 沿革及び認可関係(令和7年3月31日現在)

事業着手年度	昭和47年度
供用開始年月日	昭和53年6月1日
当初認可取得年月日	昭和48年3月28日
最終変更認可年月日	令和2年12月21日
認可完了予定年月日	令和8年3月31日

■ 仙塩浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位:千円)

区 分		令和6年度まで
建設改良費	国庫補助金	47,096,211
	起 債	12,070,600
	他会計繰入金	1,800,963
	市町分担金	13,528,686
	そ の 他	0
	合 計	74,496,460

③ 施設の概要

施設名	仙塩流域下水道事業	
	仙塩浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	送風機棟	1 棟
	旧塩素滅菌棟	1 棟
	電気センター	1 棟
	自家発電機装置	2 基
	沈砂池	264.1 m ³ (2 池)
	前反応タンク	2,268 m ³ × 2 系
		900 m ³ × 2 系
	最初沈殿池	13,963 m ³
	反応タンク	64,127 m ³
	最終沈殿池	29,183 m ³
	消毒棟	1 棟
	塩素混和池	3,480 m ³
汚泥処理施設	汚泥濃縮タンク	3 槽
	汚泥濃縮機棟	1 棟
	汚泥消化タンク	5 槽
	ガスタンク	2 台
	汚泥脱水機	3 台
	汚泥焼却施設	1 棟
ポンプ場	塩釜中継ポンプ場	

④ 経営の状況

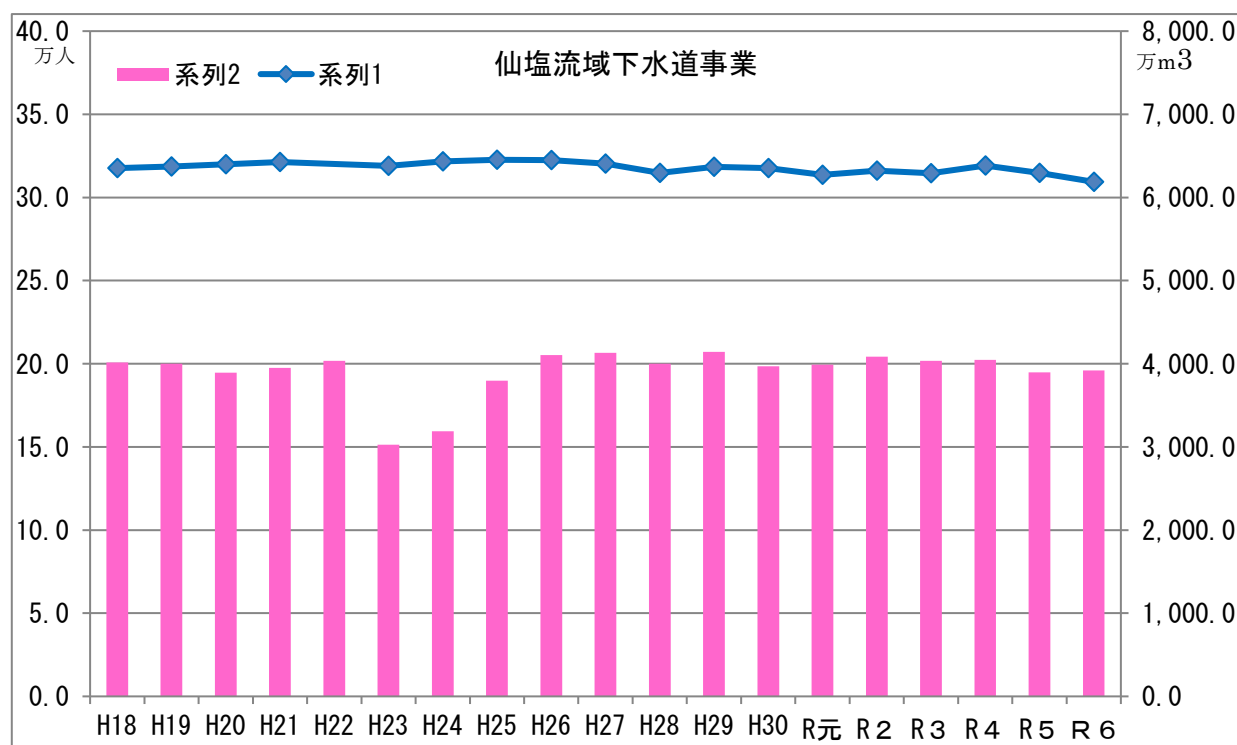
Ⅲ 事業の概要 4 流域下水道事業 (1) 仙塩流域下水道事業

● 処理量等

年 度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
A 施 設 能 力 $\text{m}^3/\text{日}$	222,000	222,000	222,000	222,000	222,000
B 処 理 人 口 人	313,199	314,734	309,379	集計中	—
C 処 理 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	40,471,713	38,965,922	39,183,721	40,726,000	40,679,000
D 有 収 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	40,471,713	38,965,922	39,183,721	40,726,000	40,679,000
E 1 日平均処理量 m^3	110,881	106,756	107,059	111,273	111,449
F 1 日最大処理量 m^3	222,000	222,000	222,000	222,000	220,000
G 管 渠 費 千 円	46,348	27,007	26,367	35,079	37,314
H ポ ン プ 場 費 千 円	0	0	0	0	0
I 処 理 場 費 千 円	787	253	251	2,432	2,215

※ 消費税を含む。R4～R6は決算ベース、R7は最終現計予算ベース、R8は当初予算ベースで作成。

■ 処理人口(各年度3月末日現在)及び処理水量(有効水量)(1月から12月までの1年間)の推移



※ H22 は東日本大震災による数値のため欠測。

● 料金等

年 度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
負 担 金 千円	474,099	16,875	246,693	114,582	113,227
負 担 金 単 価 $\text{円}/\text{m}^3$	39.8	39.8	44.8	44.8	44.8

※ 消費税を含む。R4～R6は決算ベース、R7は最終現計予算ベース、R8は当初予算ベースで作成。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、負担金には利用料金を含まず、単価には利用料金分を含んでいる。

※ R7からは、負担金単価は税抜表示になる。

● 収支状況

年 度		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
収入	営 業 収 益 千円	481,099	23,875	253,692	121,582	113,227
	うち料 金 収 入 千円	474,099	16,875	246,693	114,582	106,227
	営 業 外 収 益 千円	2,006,558	2,027,550	1,696,610	1,805,760	1,692,691
	特 別 収 益 千円	276,171	498	11,398	61,121	67,662
	計 千円	2,763,828	2,051,923	1,961,700	1,988,463	1,873,580
支出	営 業 費 用 千円	1,988,065	1,851,296	1,715,296	1,897,645	1,996,087
	営 業 外 費 用 千円	45,698	42,748	27,005	104,307	114,445
	特 別 損 失 千円	429,556	43,202	13,285	81,433	90,062
	計 千円	2,463,319	1,937,246	1,755,586	2,089,385	2,206,594
当 年 度 純 利 益 千円		300,509	114,677	206,113	▲100,922	▲330,014

※ 消費税を含む。R4～R6は決算ベース、R7は最終現計予算ベース、R8は当初予算額(消費税込み)で、「支出」の「計」と「当年度純利益」に予備費を算入して作成。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、営業収益及び料金収入には利用料金は含んでいない。

● 汚泥焼却炉

・事業概要

仙塩流域下水道の下水処理(約12万 m^3 /日(令和5年度平均))において発生する脱水ケーキの量は、約60t/日であり、昭和53年の供用開始当初は、そのほとんどを埋立処分していましたが、事業の進展に伴い汚泥発生量の増加が見込まれたことから、仙塩浄化センターと大和浄化センターを対象とし、平成8年度から仙塩浄化センター汚泥焼却施設の運転を開始しました。

平成21年度からは、県南、鹿島台、石巻及び石巻東部の各浄化センターの汚泥の受入れも開始しました。

平成23年3月の東日本大震災では、当該施設も大きく被災しましたが、迅速な復旧に取り組み、平成24年12月に復旧工事が完了し現在に至ります。

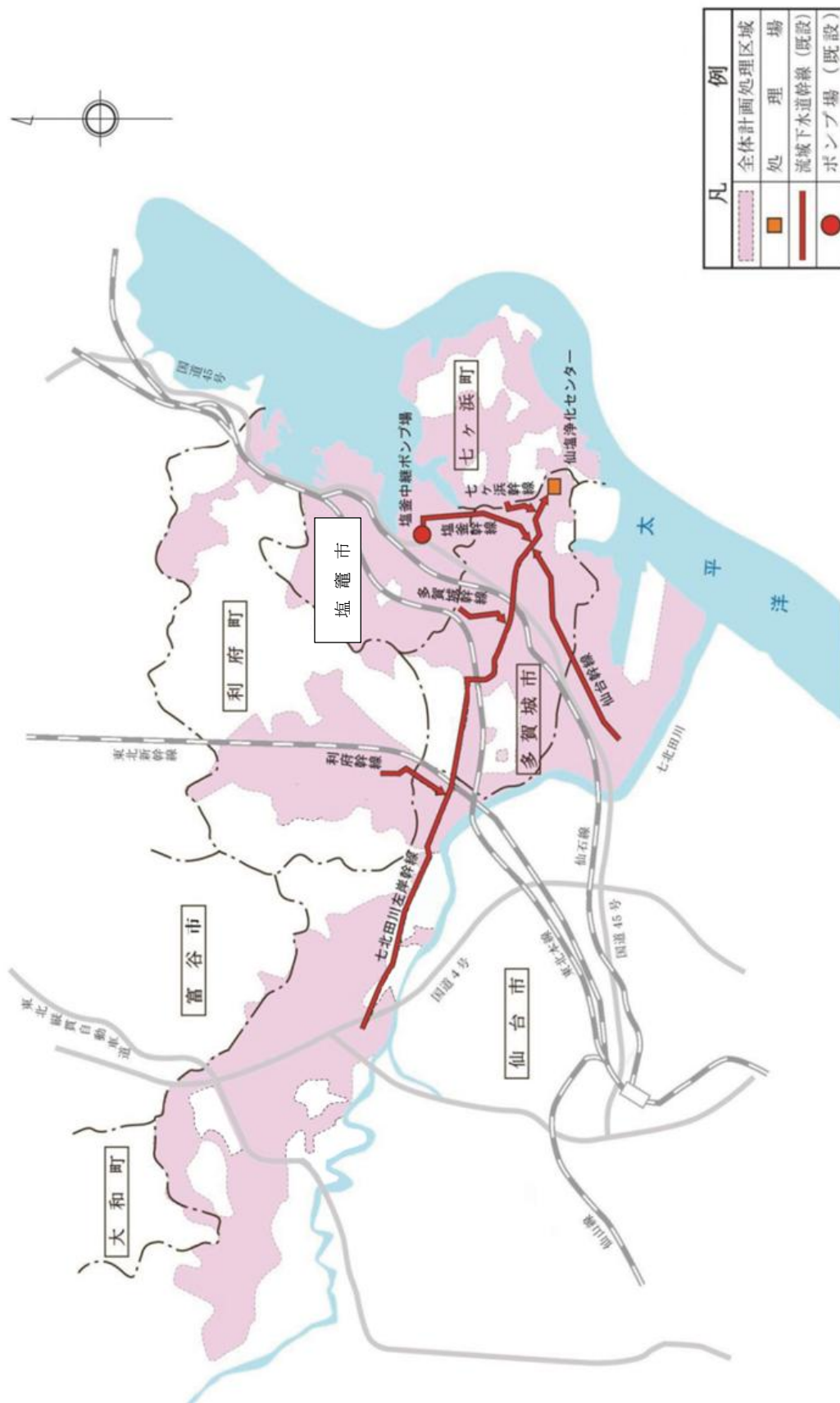
・事業費 約80億円

・工事期間 平成5年12月～平成8年3月

・処理能力 110t/日(脱水汚泥量)



仙鹽流域下水道一般図



⑤ 再生可能エネルギーの導入

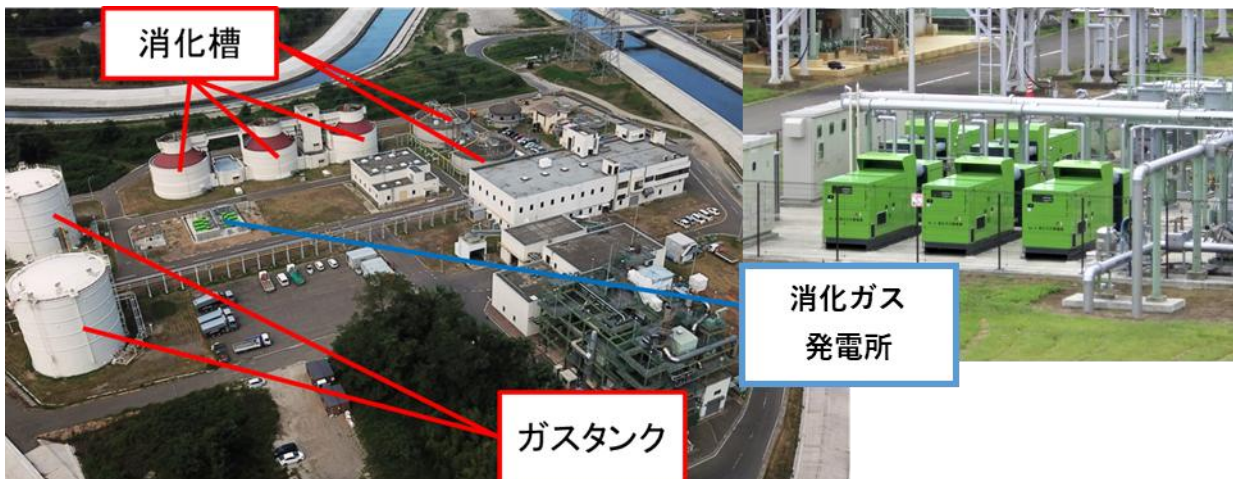
● 仙塩浄化センター消化ガス発電所

仙塩浄化センターの下水汚泥処理工程から発生する消化ガス(メタンガスと二酸化炭素を主成分とする可燃性ガス)のうち、約 70%は焼却炉や消化槽加温用ボイラーの燃料として活用していましたが、残る 30%については未利用のまま焼却処分していました。

この未利用資源を有効活用するため余剰の消化ガスを発電事業者へ売却し、事業者が発電した電気は固定価格買取制度(FIT)を活用して売電しています。

また、発電に伴い発生する熱を温水として回収し、汚泥処理に活用しています。

- ・事業主体 (株)大原鉄工所(民設民営 FIT)
- ・事業場所 仙塩浄化センター内(多賀城市大代)
- ・発電出力 350 kW(70 kW×5 台)
- ・発電電力量 約 200 万 kWh/年(一般家庭約 440 世帯分に相当)
- ・年間土地賃借料 574,120 円
- ・消化ガス売却収入 約 4 億円(20 年間)
- ・工事着工 平成 29 年 6 月 1 日
- ・稼働開始 平成 30 年 4 月 1 日
- ・事業期間 発電開始から 20 年間



(2) 阿武隈川下流流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、住宅団地開発による人口の増加や工場立地等に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、5市6町(仙台市・白石市・名取市・角田市・岩沼市・蔵王町・大河原町・村田町・柴田町・丸森町・亶理町)から流入する汚水を処理するものです。

昭和49年度に流域下水道として事業着手し、昭和60年1月に一部供用を開始しました。現在の管渠は90.7kmが整備され、令和6年度末の処理区域人口は304.6千人、下水道処理人口普及率は84.4%に達しています。

● 令和8年の業務予定量

関連市町村数	5市6町
年間処理汚水量	34,338,000 m ³
日平均処理汚水量	94,077 m ³

● 阿武隈川下流流域計画一覧表(令和7年3月31日現在)

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	126,169ha		
処理面積	11,213.5ha	10,585.0ha	8,787.5ha
処理人口	292,613人	300,738人	304,595人
処理能力	125,000 m ³ /日	125,000 m ³ /日	125,000 m ³ /日
系列数	5	5	4.5
管渠延長	102,600m	90,710m	90,710m
ポンプ場	7箇所	6箇所	6箇所
計画目標年度	令和17年度	令和7年度	-

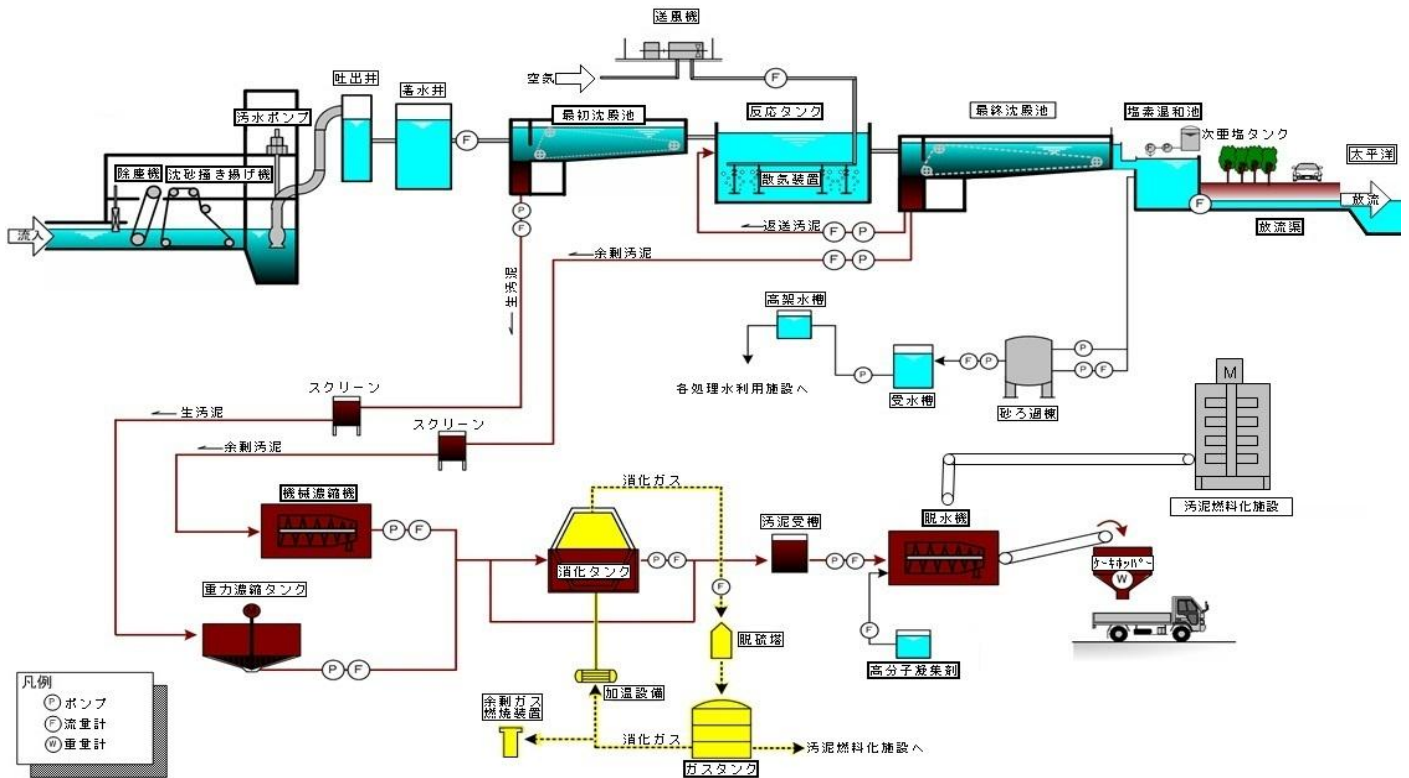
● 関連市町日平均汚水流入量(令和6年実績) (単位:m³/日)

市町村名	汚水量	市町村名	汚水量
仙台市	16,476	大河原町	5,323
白石市	7,265	村田町	1,744
名取市	21,878	柴田町	9,515
角田市	3,946	丸森町	1,114
岩沼市	12,938	亶理町	6,647
蔵王町	1,393	合計	88,239

● 沿革及び認可関係(令和7年3月31日現在)

事業着手年度	昭和49年度
供用開始年月日	昭和60年1月1日
当初認可取得年月日	昭和50年3月31日
最終変更認可年月日	平成30年1月26日
認可完了予定年月日	令和8年3月31日

■ 県南浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位:千円)

区 分		令和6年度まで
建設改良費	国 庫 補 助 金	61,773,659
	起 債	17,451,902
	他 会 計 繰 入 金	3,269,005
	市 町 分 担 金	20,823,304
	そ の 他	0
	合 計	103,317,870

③ 施設の概要

施設名	阿武隈川下流流域下水道事業	
	県南浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	送風機棟	1 棟
	塩素滅菌棟	1 棟
	第 2 水処理電気室	1 棟
	自家発電機棟	1 棟
	沈砂池	2 池
	最初沈殿池	11,549 m ³
	反応タンク	44,158 m ³
	最終沈殿池	21,179 m ³
	塩素混和池	1,362 m ³
汚泥処理施設	汚泥濃縮タンク	3 槽
	機械濃縮棟	1 棟
	汚泥消化タンク	3 槽
	消化汚泥加温棟	1 棟
	脱水機棟	2 棟
	汚泥燃料化施設	1 棟
ポンプ場	亘理ポンプ場	
	角田ポンプ場	
	名取ポンプ場	
	大河原ポンプ場	
	仙台ポンプ場	
	丸森ポンプ場	

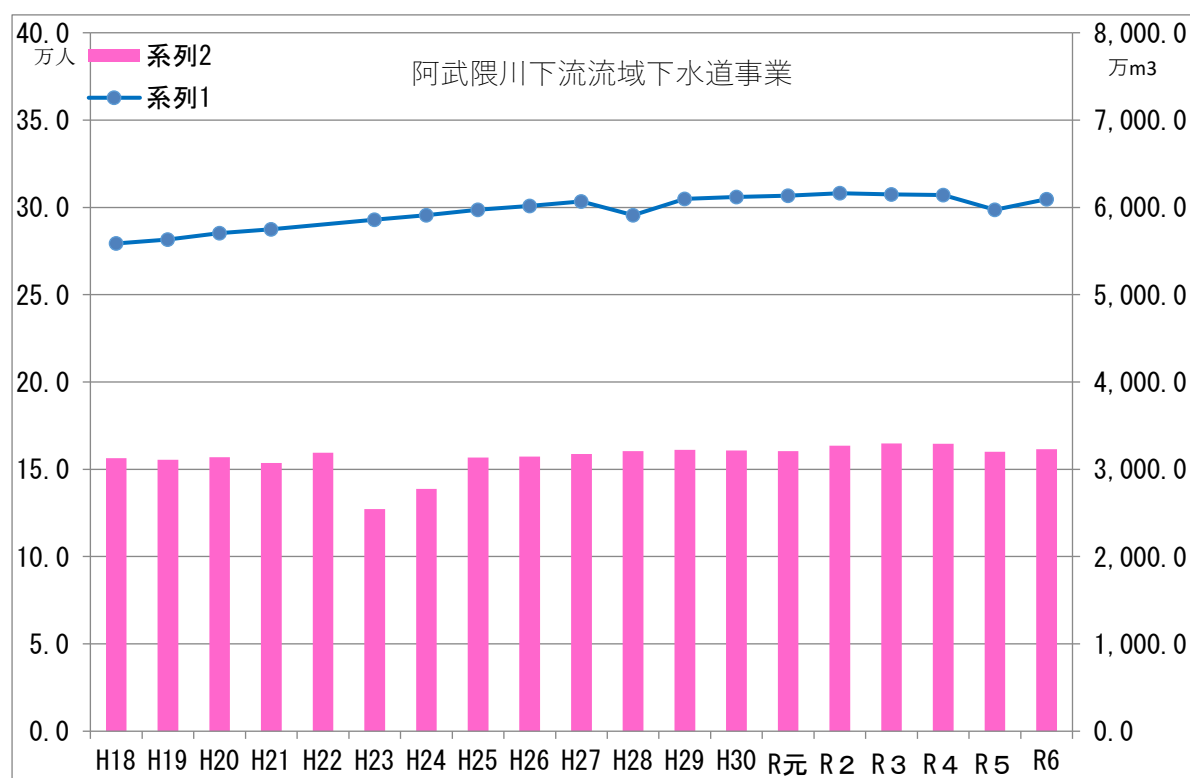
④ 経営の状況

● 処理量等

年 度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
A 施 設 能 力 $\text{m}^3/\text{日}$	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000
B 処 理 人 口 人	306,988	298,641	304,595	集計中	—
C 処 理 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	32,510,923	32,085,361	32,295,360	34,346,000	34,338,000
D 有 収 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	32,510,923	32,085,361	32,295,360	34,346,000	34,338,000
E 1 日 平 均 処 理 量 m^3	89,071	87,905	88,239	94,099	94,077
F 1 日 最 大 処 理 量 m^3	125,000	125,000	125,000	125,000	125,000
G 管 渠 費 千 円	76,157	33,551	38,932	64,669	64,747
H ポ ン プ 場 費 千 円	0	0	0	0	0
I 処 理 場 費 千 円	478	187	178	1,989	1,992

※ 消費税を含む。R4～R6は決算ベース、R7は最終現計予算ベース、R8は当初予算ベースで作成。

■ 処理人口(各年度3月末日現在)及び処理水量(有効水量)(1月から12月までの1年間)の推移



※ H22は東日本大震災による数値のため欠測。

● 料金等

年 度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
負 担 金 千 円	415,133	32,656	354,779	161,239	129,473
負 担 金 単 価 $\text{円}/\text{m}^3$	48.5	48.5	57.3	44.8	44.8

※ 消費税を含む。R4～R6は決算ベース、R7は最終現計予算ベース、R8は当初予算ベースで作成。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、負担金には利用料金を含まず、単価には利用料金分を含んでいる。

※ R7からは、負担金単価は税抜表示になる。

● 収支状況

年 度			R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
収 入	営 業 収 益	千円	423, 133	40, 656	362, 799	143, 756	137, 473
	うち 料 金 収 入	千円	415, 133	32, 656	354, 799	135, 756	129, 473
	営 業 外 収 益	千円	2, 807, 426	2, 856, 494	2, 719, 380	2, 527, 487	3, 208, 814
	特 別 収 益	千円	93, 983	51, 468	12, 772	62, 982	160, 183
	計	千円	3, 324, 542	2, 948, 618	3, 094, 952	2, 734, 225	3, 506, 470
支 出	営 業 費 用	千円	2, 866, 266	2, 727, 442	2, 900, 460	2, 789, 582	3, 653, 992
	営 業 外 費 用	千円	60, 391	55, 373	46, 363	95, 152	110, 113
	特 別 損 失	千円	133, 084	120, 033	21, 464	83, 900	213, 383
	計	千円	3, 059, 741	2, 902, 848	2, 968, 287	2, 974, 634	3, 983, 488
当 年 度 純 利 益			264, 801	45, 770	126, 664	▲240, 409	▲477, 018

※ 消費税を含む。R4～R6は決算ベース、R7は最終現計予算ベース、R8は当初予算額(消費税込み)で、「支出」の「計」と「当年度純利益」に予備費を算入して作成。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、営業収益及び料金収入には利用料金は含んでいない。

● 阿武隈川下流域下水道県南浄化センター下水污泥燃料化施設

・事業概要

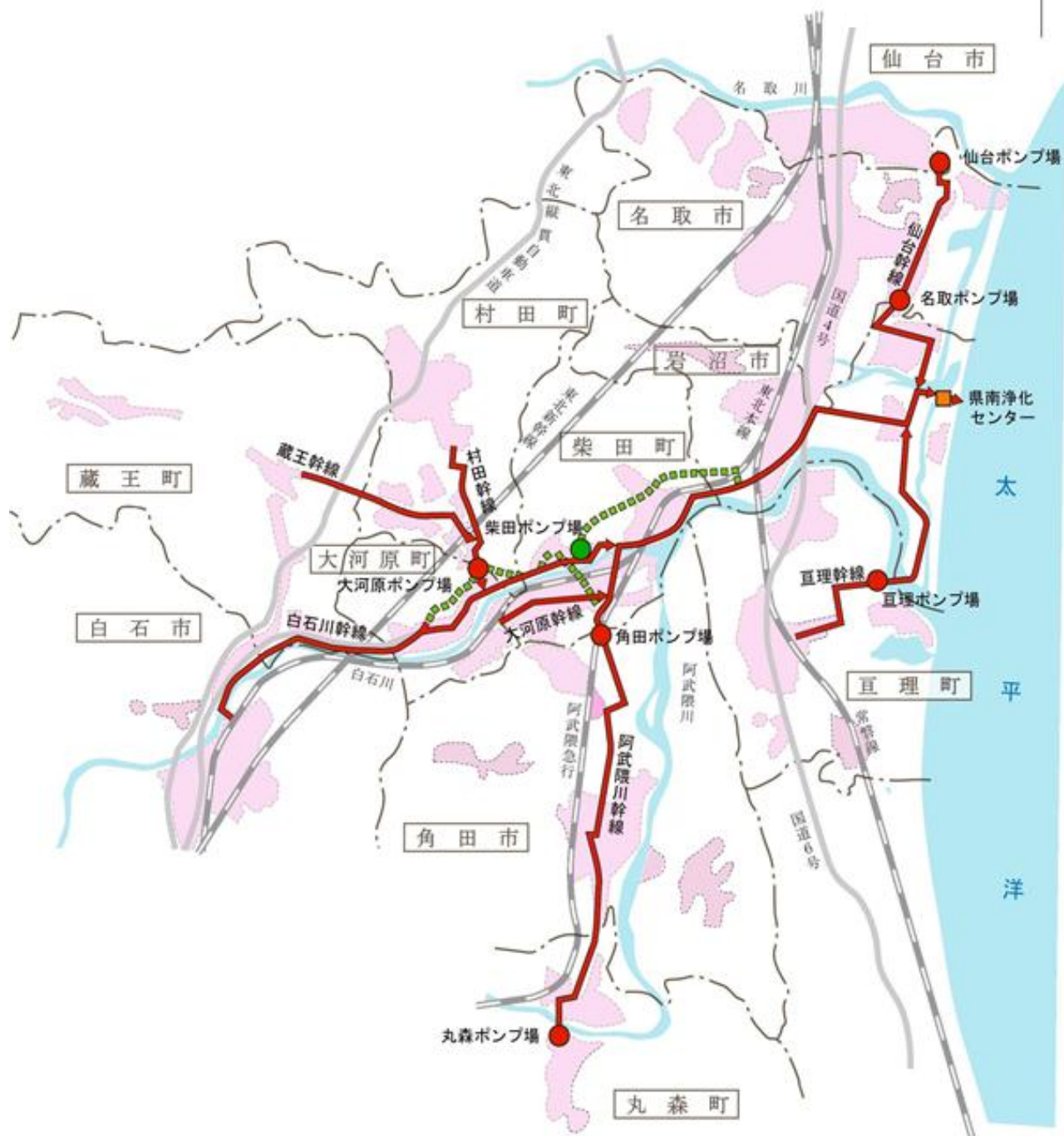
流域下水道から発生する污泥については、焼却による減量化や、セメント・コンポストにする資源化により対応していました。近年、下水道污泥からバイオマスエネルギーとして回収する技術が進んでいることから、これまで産業廃棄物として処理してきた下水道污泥の一部を燃料化し、有効利用を図ることを目的として事業化を行いました。なお、下水道污泥の乾燥造粒方式による燃料化は、自治体の事業としては全国初であり、平成21年度国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」を受賞しています。

平成23年3月に発生した東日本大震災では、当該施設も津波により燃料化物を製造するための機能が全て失われましたが、国庫負担法の公共土木施設災害復旧事業において機能回復を行うにあたり、同様に被害を受けていた污泥高速発酵施設（コンポスト化施設：処理量（16t／日））との処理機能の一元化を行い、処理能力（66t／日）として施設復旧を行いました。なお、平成25年3月末までに災害復旧事業を終え被災前の機能を回復しています。

- ・工 事 費 13.5億円
- ・工 期 平成19年10月～平成21年3月
- ・処 理 能 力 50t／日(脱水污泥量)



阿武隈川下流流域下水道一般図



凡 例	
	全体計画処理区域
	処 理 場
	流域下水道幹線 (既設)
	流域下水道幹線 (計画)
	ポンプ場 (既設)
	ポンプ場 (計画)

(3) 鳴瀬川流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加や工場立地に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、1 市 1 町（大崎市・美里町）から流入する汚水を処理するものです。

昭和 56 年度に流域下水道として事業着手し、平成 4 年 4 月に一部供用を開始しました。現在の管渠は 21.1km が整備され、令和6年度末の処理区域人口は 26.4 千人、下水道処理人口普及率は 57.6%に達しています。

● 令和8年の業務予定量

関連市町村数	1 市 1 町
年間処理汚水量	2,601,000 m ³
日平均処理汚水量	7,126 m ³

● 鳴瀬川流域計画一覧表(令和7年 3 月 31 日現在)

	全 体 計 画	事 業 計 画	現 況
行 政 面 積	16,432ha		
処 理 面 積	1,569.93ha	1,398.79ha	998.7ha
処 理 人 口	29,650 人	29,740 人	26,368 人
処 理 能 力	11,100 m ³ /日	11,100 m ³ /日	8,800 m ³ /日
系 列 数	6	6	5
管 渠 延 長	21,130m	21,130m	21,130m
ポ ン プ 場	5 箇所	5 箇所	5 箇所
計 画 目 標 年 度	令和 17 年度	令和 7 年度	-

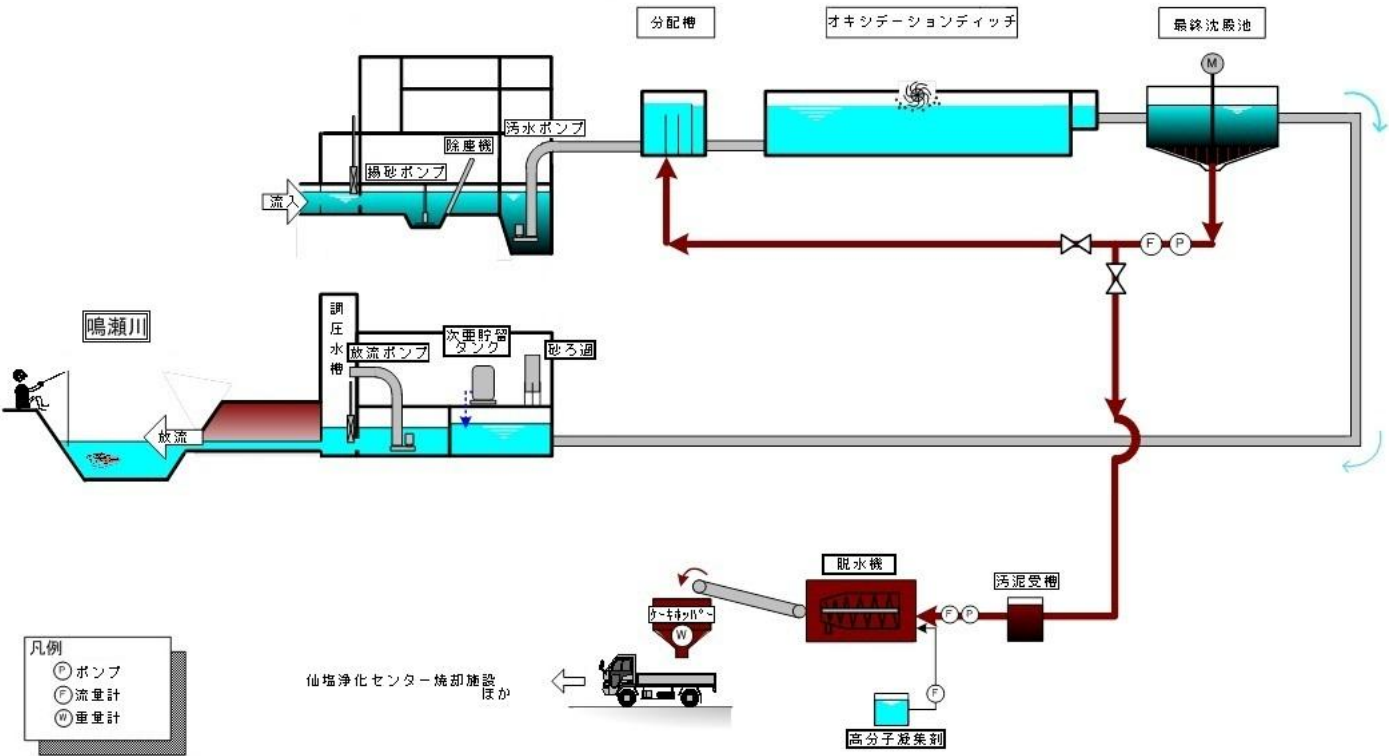
● 関連市町日平均汚水流入量(令和6年実績)(単位:m³/日)

市 町 村 名	汚 水 量
大 崎 市	4,317
美 里 町	2,171
合 計	6,488

● 沿革及び認可関係(令和7年3月31日現在)

事 業 着 手 年 度	昭和 56 年度
供 用 開 始 年 月 日	平成 4 年 4 月 1 日
当初認可取得年月日	昭和 57 年 3 月 2 日
最終変更認可年月日	平成 30 年 1 月 26 日
認可完了予定年月日	令和 8 年 3 月 31 日

■ 鹿島台浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位: 千円)

区 分		令和6年度まで
建設改良費	国庫補助金	10,995,978
	起 債	2,806,500
	他会計繰入金	573,970
	市町分担金	6,019,071
	そ の 他	0
	合 計	20,395,519

③ 施設の概要

施設名	鳴瀬川流域下水道事業	
	鹿島台浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	電気室	1 棟
	自家発電装置	1 基
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	オキシデーションディッチ	8,788 m ³
	最終沈殿池	
	塩素注入施設	8,800 m ³ 1 基
汚泥処理施設	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	松山第 1 中継ポンプ場 松山第 2 中継ポンプ場 鹿島台中継ポンプ場 小牛田ポンプ場 三本木ポンプ場	

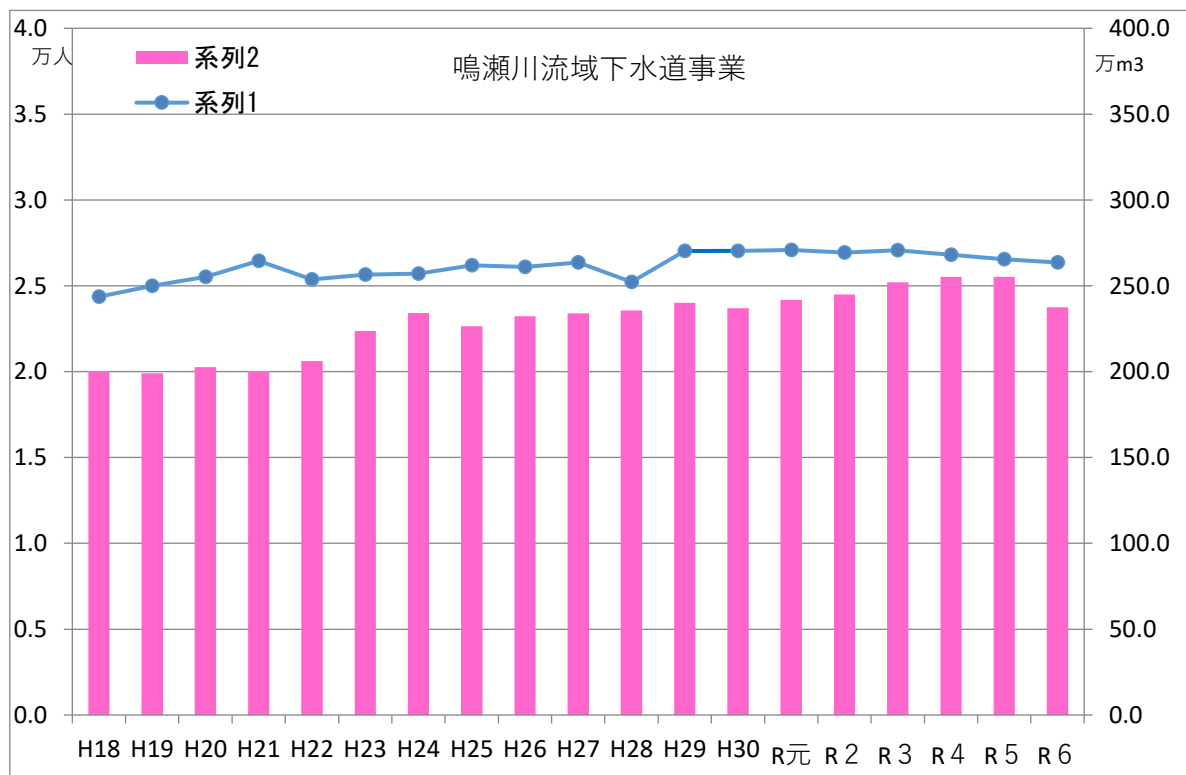
④ 経営の状況

● 処理量等

年 度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
A 施 設 能 力 $\text{m}^3/\text{日}$	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800
B 処 理 人 口 人	26,798	26,539	26,368	集計中	—
C 処 理 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	2,526,382	2,410,892	2,374,554	2,583,000	2,601,000
D 有 収 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	2,526,382	2,410,892	2,374,554	2,583,000	2,601,000
E 1 日平均処理量 m^3	6,922	6,605	6,488	7,077	7,126
F 1 日最大処理量 m^3	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800
G 管 渠 費 千 円	37,440	8,613	18,146	18,057	19,340
H ポ ン プ 場 費 千 円	0	0	0	0	0
I 処 理 場 費 千 円	227	187	290	1,958	1,968

※ 消費税を含む。R4～R6は決算ベース、R7は最終現計予算ベース、R8は当初予算ベースで作成。

■ 処理人口(各年度3月末日現在)及び処理水量(有効水量)(1月から12月までの1年間)の推移



● 料金等

年 度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
負 担 金 千円	63,903	3,117	35,986	30,489	29,761
負 担 金 単 価 $\text{円}/\text{m}^3$	81.1	81.1	92.3	81.3	81.3

※ 消費税を含む。R4～R6は決算ベース、R7は最終現計予算ベース、R8は当初予算ベースで作成。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、負担金には利用料金を含まず、単価には利用料金分を含んでいる。

※ R7からは、負担金単価は税抜表示になる。

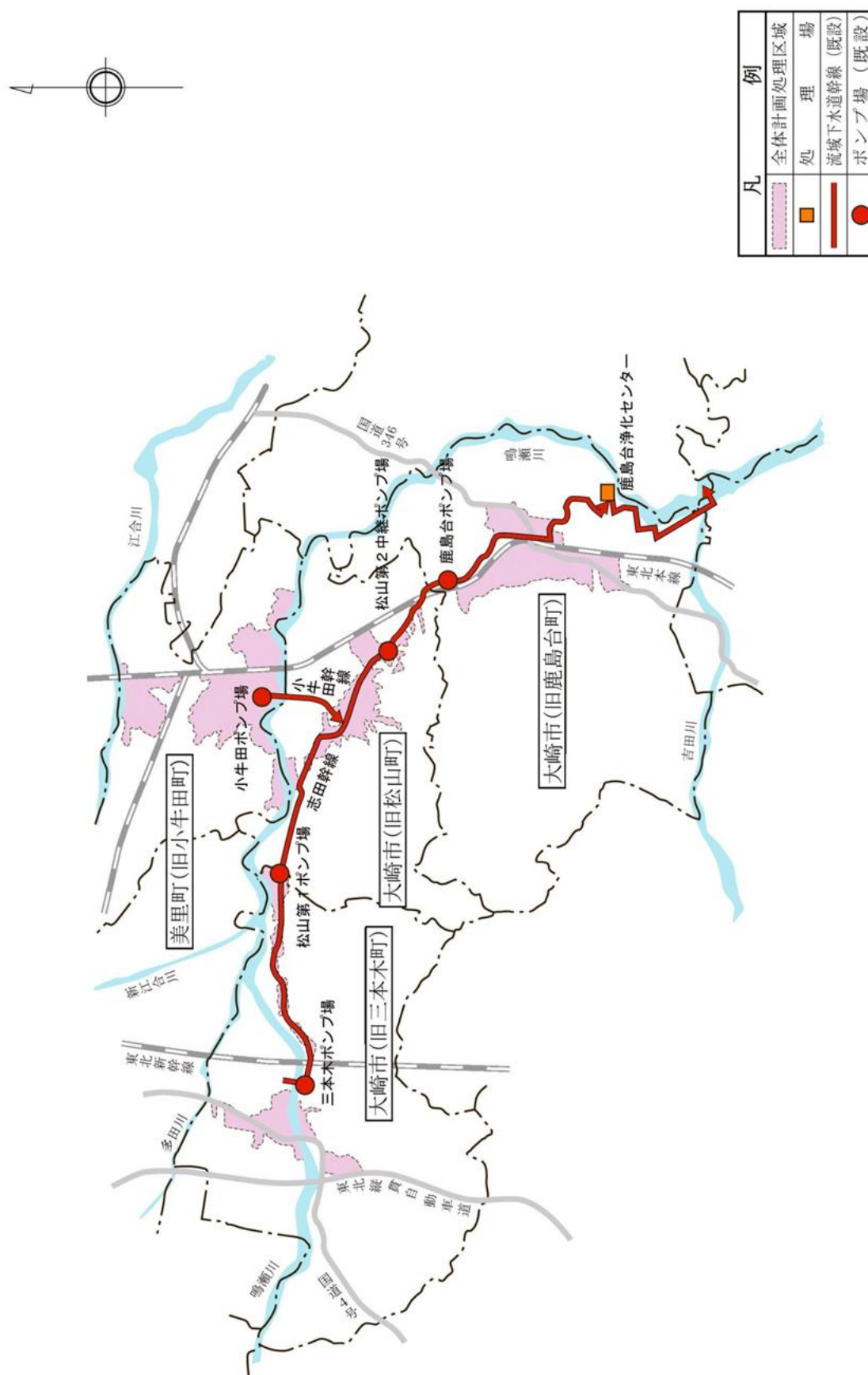
● 収支状況

年 度		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
収 入	営 業 収 益 千円	66,903	6,117	38,986	30,949	32,761
	うち料 金 収 入 千円	63,903	3,117	35,986	27,949	29,761
	営 業 外 収 益 千円	411,477	390,355	323,576	319,026	326,091
	特 別 収 益 千円	48,072	3,158	15,549	5,366	37,847
	計 千円	526,452	399,630	378,111	355,341	396,699
支 出	営 業 費 用 千円	394,134	314,142	320,474	350,978	344,034
	営 業 外 費 用 千円	9,679	8,550	30,796	16,397	26,259
	特 別 損 失 千円	61,306	4,630	20,744	7,126	50,347
	計 千円	465,119	337,322	378,014	350,978	426,640
当 年 度 純 利 益 千円		61,333	62,308	97	4,363	▲29,941

※ 消費税を含む。R4～R6は決算ベース、R7は最終現計予算ベース、R8は当初予算額(消費税込み)で、「支出」の「計」と「当年度純利益」に予備費を算入して作成。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、営業収益及び料金収入には利用料金は含んでいない。

鳴瀬川流域下水道一般図



(4) 吉田川流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、仙台北部中核都市建設が進む富谷市、黒川郡を対象に、人口増加や工場立地に伴う水質悪化防止等を目的とし、1市2町1村(富谷市・大和町・大郷町・大衡村)から流入する汚水を処理するものです。

昭和63年度に流域下水道として事業着手し、平成4年4月に一部供用を開始しました。現在の管渠は28.3kmが整備され、令和6年度末の処理区域人口は79.5千人、下水道処理人口普及率は88.3%に達しています。

● 吉田川流域下水道事業の令和8年の業務予定量

関連市町村数	1市2町1村
年間処理汚水量	11,359,000 m ³
日平均処理汚水量	31,120 m ³

● 吉田川流域計画一覧表(令和7年3月31日現在)

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	41,693ha		
処理面積	4,365.4ha	3,581.0ha	3,128.0ha
処理人口	85,635人	85,420人	79,553人
処理能力	55,380 m ³ /日	54,800 m ³ /日	41,825 m ³ /日
系列数	5	5	3.5
管渠延長	28,340m	28,340m	28,340m
ポンプ場	4箇所	4箇所	4箇所
計画目標年度	令和17年度	令和7年度	-

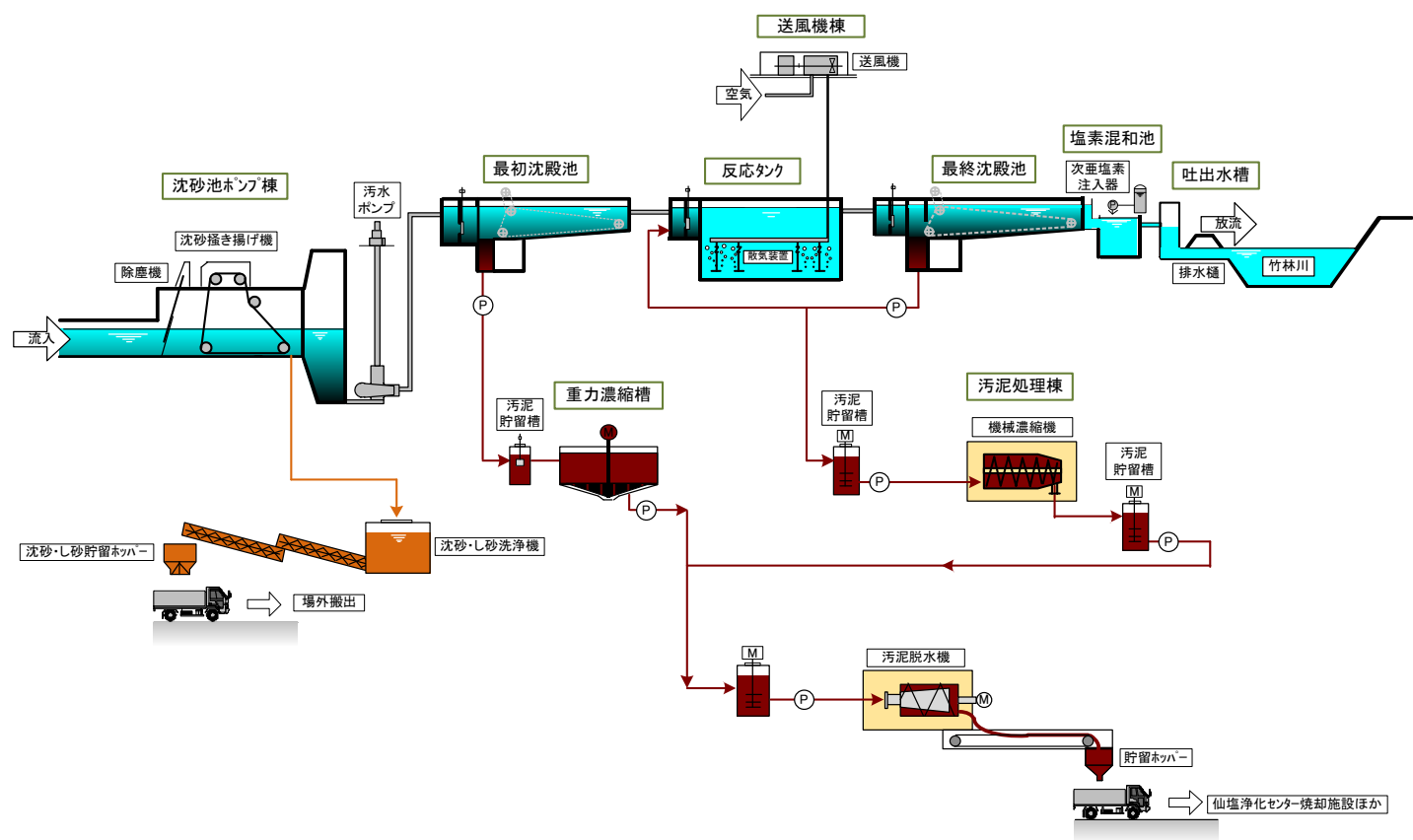
● 関連市町日平均汚水流入量(令和6年実績) (単位: m³/日)

市町村名	汚水量	市町村名	汚水量
富谷市	15,042	大衡村	2,493
大和町	11,545		
大郷町	1,411	合計	30,491

● 沿革及び認可関係(令和7年3月31日現在)

事業着手年度	昭和63年度
供用開始年月日	平成4年4月1日
当初認可取得年月日	平成1年2月21日
最終変更認可年月日	令和2年12月21日
認可完了予定年月日	令和8年3月31日

■ 大和浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位: 千円)

区 分		令和6年度まで
建設改良費	国庫補助金	20,170,799
	起 債	4,062,112
	他会計繰入金	2,541,397
	市町分担金	6,321,896
	そ の 他	0
	合 計	33,096,204

③ 施設の概要

施設名	吉田川流域下水道事業	
	大和浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	沈砂池ポンプ棟	1 棟
	送風機棟	1 棟
	電気棟	1 棟
	自家発電装置	1 基
	沈砂池	26.68 m ³ (2 池)
	最初沈殿池	3,510 m ³
	反応タンク	14,154 m ³
	最終沈殿池	4,914 m ³
	塩素混和池	574 m ³
汚泥処理施設	重力濃縮施設	3 槽
	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	海老沢ポンプ場	
	大和・富谷ポンプ場	
	大郷ポンプ場	
	大和・大衡ポンプ場	

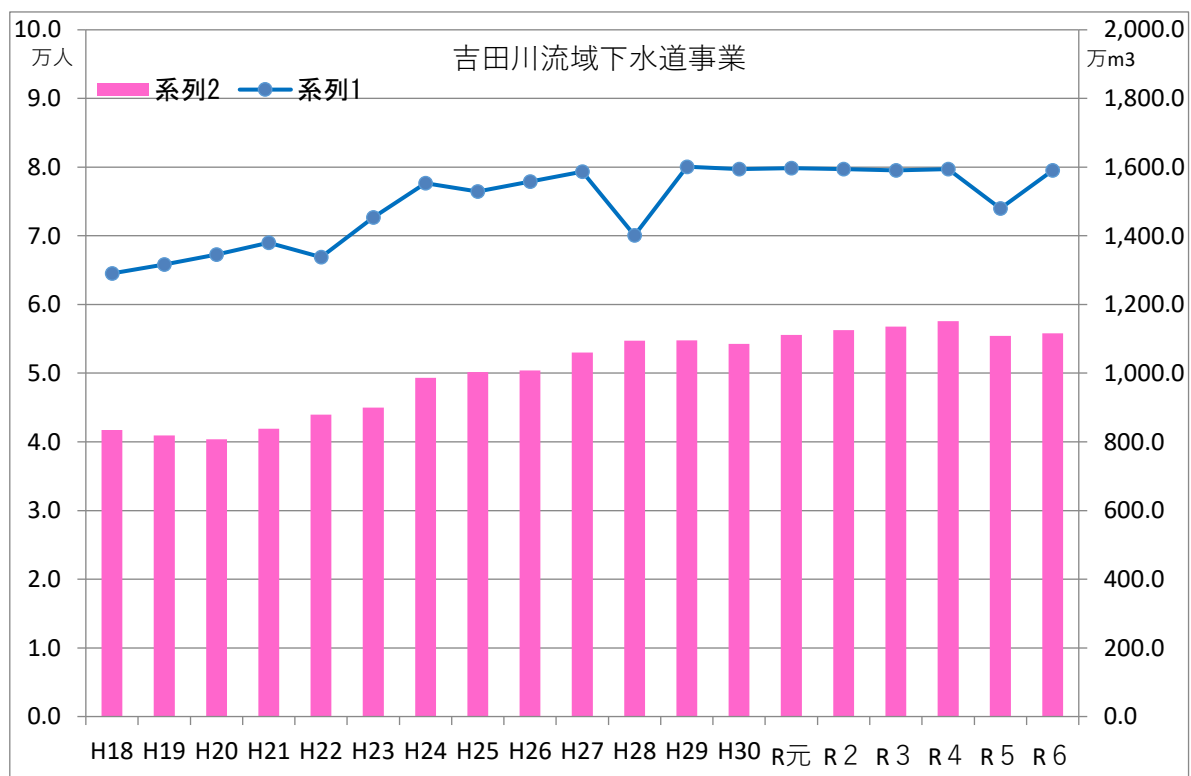
④ 経営の状況

● 処理量等

年 度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
A 施 設 能 力 $\text{m}^3/\text{日}$	41,825	41,825	41,825	41,825	41,825
B 処 理 人 口 人	79,728	73,972	79,553	集計中	—
C 処 理 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	11,514,926	11,084,948	11,159,724	11,305,000	11,359,000
D 有 収 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	11,514,926	11,084,948	11,159,724	11,305,000	11,359,000
E 1 日平均処理量 m^3	31,548	30,370	30,491	30,973	31,120
F 1 日最大処理量 m^3	41,825	41,825	41,825	41,825	41,825
G 管 渠 費 千 円	23,049	20,876	18,935	32,324	32,825
H ポ ン プ 場 費 千 円	0	0	0	0	0
I 処 理 場 費 千 円	457	187	154	1,957	1,965

※ 消費税を含む R4～R6 は決算ベース、R7 は最終現計予算ベース、R8 は当初予算ベースで作成。

■ 処理人口(各年度3月末日現在)及び処理水量(有効水量)(1月から12月までの1年間)の推移



● 料金等

年 度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
負 担 金 千円	150,990	2,269	127,668	88,726	78,251
負 担 金 単 価 $\text{円}/\text{m}^3$	47.8	47.8	58.6	50.2	50.2

※ 消費税を含む。R4～R6は決算ベース、R7は最終現計予算ベース、R8は当初予算ベースで作成。

※ R4からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、負担金には利用料金を含まず、単価には利用料金分を含んでいる。

※ R7からは、負担金単価は税抜表示になる。

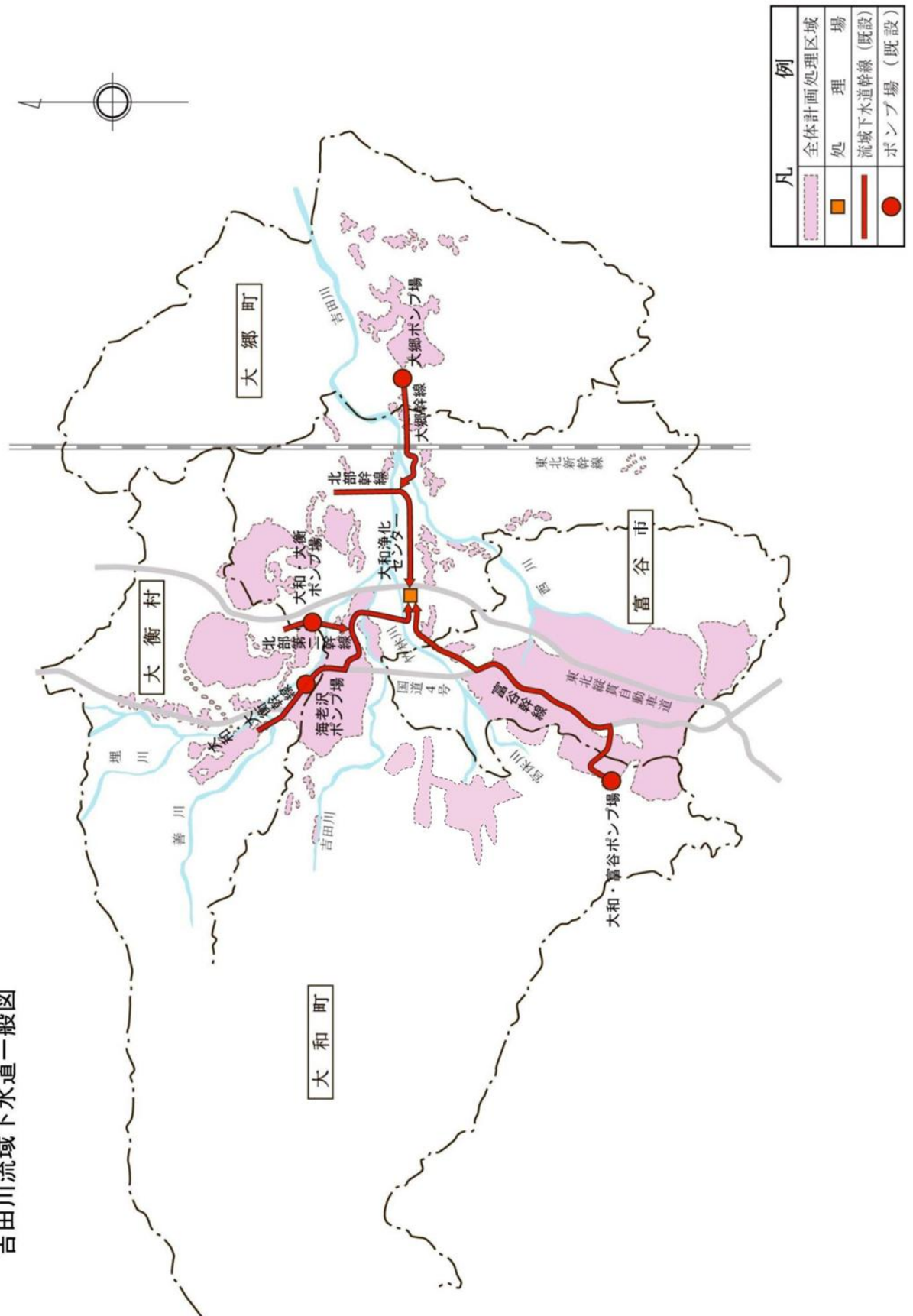
● 収支状況

年 度		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
収 入	営 業 収 益 千円	155,990	7,269	132,451	85,681	83,521
	うち料 金 収 入 千円	150,990	2,269	127,451	80,681	78,521
	営 業 外 収 益 千円	642,748	664,844	571,701	532,273	633,584
	特 別 収 益 千円	109,314	3,992	2,555	40,111	87,883
	計 千円	908,052	676,105	706,707	658,165	804,988
支 出	営 業 費 用 千円	597,463	557,957	564,365	590,162	782,138
	営 業 外 費 用 千円	25,313	22,937	24,917	38,654	41,679
	特 別 損 失 千円	167,430	21,162	3,096	52,267	116,984
	計 千円	790,206	602,056	564,365	687,083	946,801
当 年 度 純 利 益 千円		117,846	74,049	114,329	▲28,918	▲141,813

※ 消費税を含む。R4～R6は決算ベース、R7は最終現計予算ベース、R8 は当初予算額(消費税込み)で、「支出」の「計」と「当年度純利益」に予備費を算入して作成。

※ R4 からは、みやぎ型管理運営方式導入のため、営業収益及び料金収入には利用料金は含んでいない。

吉田川流域下水道一般図



(5) 北上川下流流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加や工場立地に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、旧北上川西側に位置する2市(石巻市・東松島市)から流入する汚水を処理するものです。

平成3年度に事業に着手し、平成10年度に一部供用を開始しました。現在の管渠は27.5kmが整備され、令和6年度末の処理区域人口は92.6千人、下水道処理人口普及率は76.6%となっています。

● 北上川下流流域下水道事業の令和8年の業務予定量

関連市町村数	2市
年間処理汚水量	7,741,000 m ³
日平均処理汚水量	21,208 m ³

● 北上川下流流域計画一覧表(令和7年3月31日現在)

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	19,876ha		
処理面積	3,746.8ha	2,921.9ha	2,437.0ha
処理人口	99,000人	98,070人	92,603人
処理能力	48,500 m ³ /日	38,800 m ³ /日	38,800 m ³ /日
系列数	3	2	2
管渠延長	27,560m	27,560m	27,560m
ポンプ場	3箇所	3箇所	3箇所
計画目標年度	令和17年度	令和8年度	-

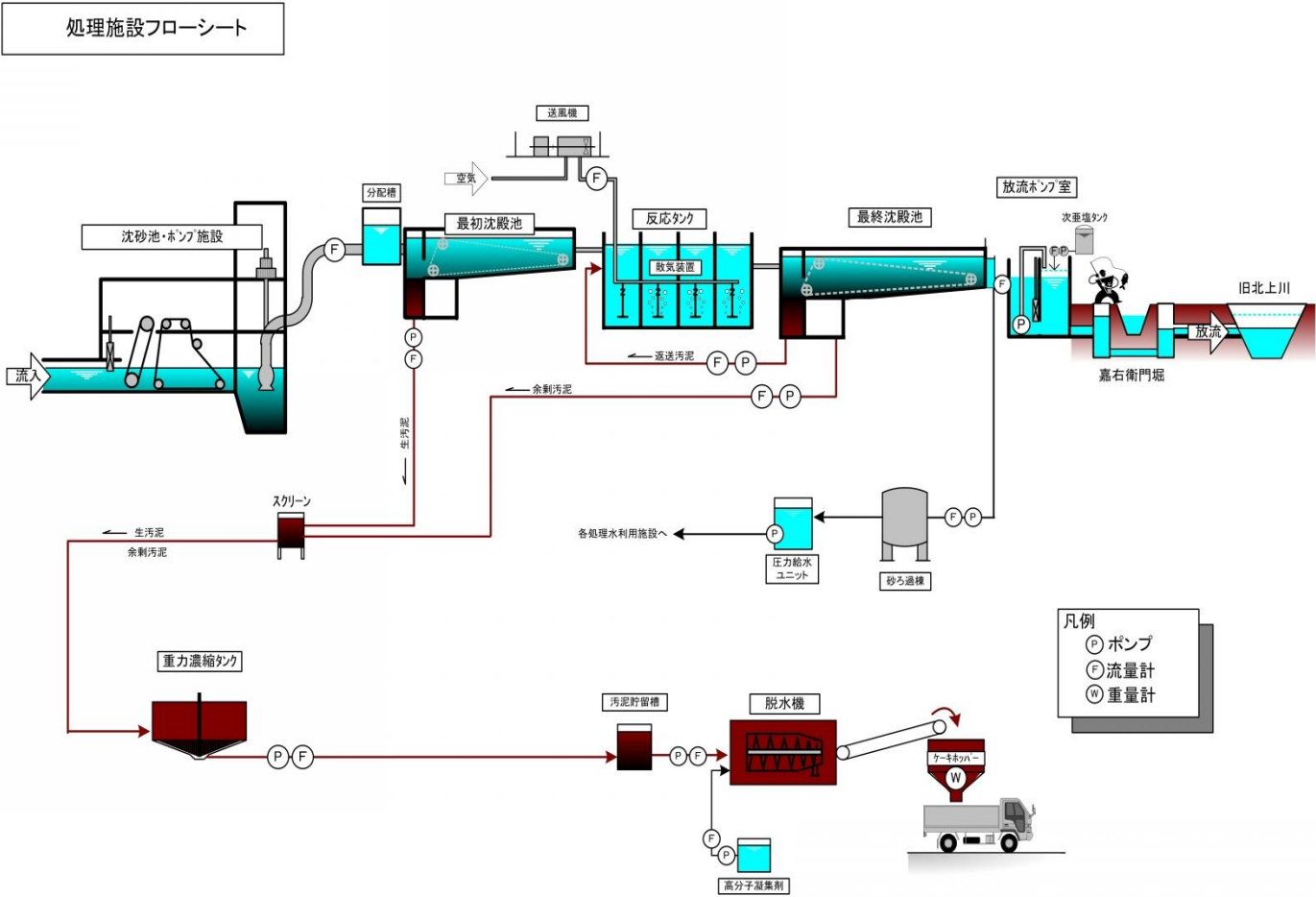
● 関連市町日平均汚水流入量(令和6年実績) (単位:m³/日)

市町村名	汚水量
石巻市	14,345
東松島市	7,605
合計	21,950

● 沿革及び認可関係(令和7年3月31日現在)

事業着手年度	平成3年度
供用開始年月日	平成10年4月1日
当初認可取得年月日	平成4年4月13日
最終変更認可年月日	令和2年12月21日
認可完了予定年月日	令和9年3月31日

■ 石巻浄化センター処理フロー



② 事業費

(単位: 千円)

区 分		令和6年度まで
建設改良費	国庫補助金	20,633,761
	起 債	7,120,619
	他会計繰入金	1,102,530
	市町分担金	8,179,236
	その他	2,836
	合 計	37,056,982

③ 施設の概要

施設名	北上川下流流域下水道事業	
	石巻浄化センター	
水処理施設	管理本館	1 棟
	沈砂池ポンプ棟(送風機, 自家発電装置)	1 棟
	沈砂池	巾 1.4m×長 11.5m×4 池
	最初沈殿池	2,332 m ³
	反応タンク	13,231 m ³
	最終沈殿池	6,318 m ³
	放流ポンプ棟	1 棟
汚泥処理施設	重力濃縮槽	2 槽
	重力濃縮機棟	1 棟
	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	河南ポンプ場	
	鳴瀬ポンプ場	
	矢本ポンプ場	

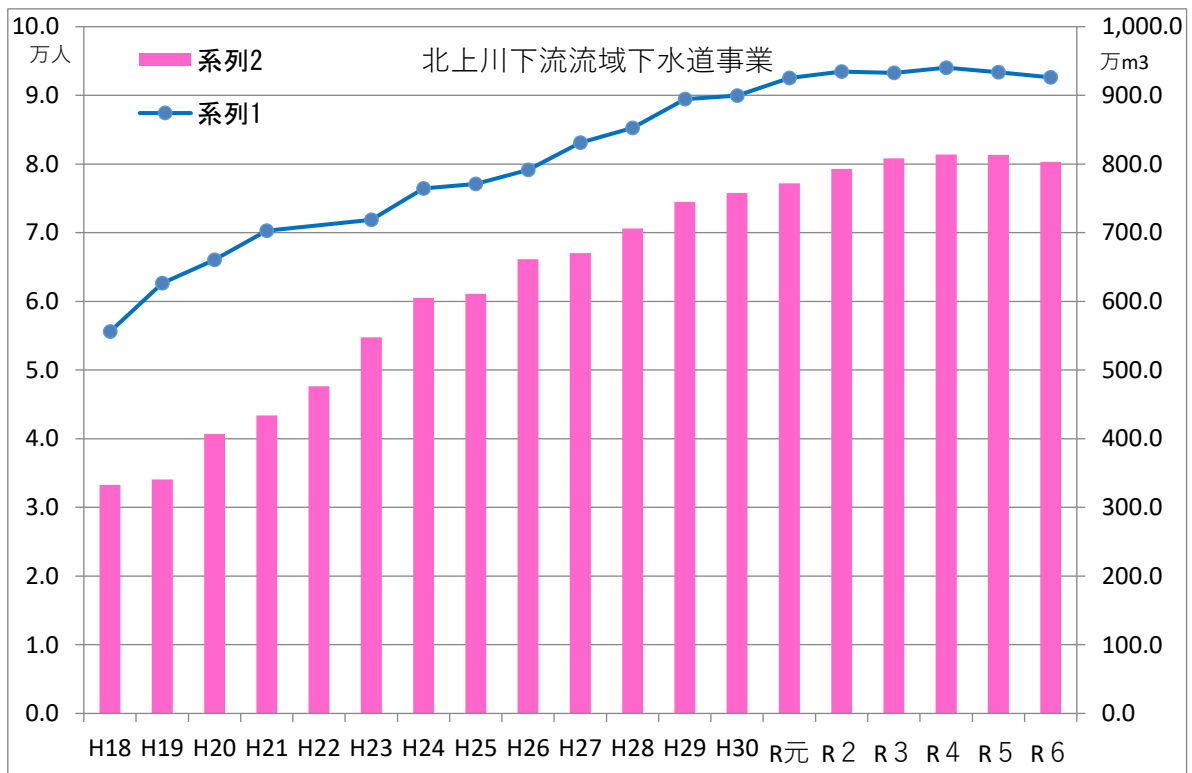
④ 経営の状況

● 処理量等

年 度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
A 施 設 能 力 $\text{m}^3/\text{日}$	38,800	38,800	38,800	38,800	38,800
B 処 理 人 口 人	94,032	93,379	92,603	集計中	—
C 処 理 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	8,136,459	8,134,079	8,033,632	7,794,000	7,741,000
D 有 収 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	8,136,459	8,134,079	8,033,632	7,794,000	7,741,000
E 1 日 平 均 処 理 量 m^3	22,292	22,285	21,950	21,353	21,208
F 1 日 最 大 処 理 量 m^3	38,800	38,800	38,800	38,800	38,800
G 管 渠 費 千 円	8,198	10,648	16,506	16,096	13,000
H ポ ン プ 場 費 千 円	20,093	14,334	22,995	16,137	16,238
I 処 理 場 費 千 円	564,219	580,602	608,865	698,688	663,940

※ 消費税を含む。R4～R6 は決算ベース、R7 は最終現計予算ベース、R8 は当初予算ベースで作成。

■ 処理人口(各年度3月末日現在)及び処理水量(有効水量)(1月から12月までの1年間)の推移



※ H22 は東日本大震災による数値のため欠測。

● 料金等

年 度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
負 担 金 千 円	653,358	653,167	732,667	700,382	689,723
負 担 金 単 価 $\text{円}/\text{m}^3$	80.3	80.3	91.2	80.1	80.1

※ 消費税を含む。R4～R6 は決算ベース、R7 は最終現計予算ベース、R8 は当初予算ベースで作成。

※ R7 からは、負担金単価は税抜表示になる。

● 収支状況

年 度		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
収 入	営 業 収 益 千円	653,358	653,167	732,667	700,382	689,723
	うち料金収入 千円	653,358	653,167	732,667	700,382	689,723
	営 業 外 収 益 千円	1,014,793	969,562	774,266	726,777	676,284
	特 別 収 益 千円	48,144	20,756	21,994	33,090	162,390
	計 千円	1,716,295	1,643,485	1,528,928	1,460,249	1,528,397
支 出	営 業 費 用 千円	1,312,317	1,329,400	1,349,707	1,415,011	1,413,128
	営 業 外 費 用 千円	40,515	38,592	29,692	61,616	68,003
	特 別 損 失 千円	79,281	24,896	26,339	42,450	216,488
	計 千円	1,432,113	1,392,888	1,405,739	1,525,077	1,703,619
当 年 度 純 利 益 千円		284,182	250,597	123,189	▲64,828	▲175,222

※ 消費税を含む。R4～R6は決算ベース、R7は最終現計予算ベース、R8は当初予算額(消費税込み)で、「支出」の「計」と「当年度純利益」に予備費を算入して作成。



⑤ 再生可能エネルギーの導入

● 北上川下流流域下水道事業 石巻浄化センター太陽光発電事業

・事業概要

流域下水道事業においては、高度成長期に策定された計画水量と現在の処理量には乖離があり、処理場施設には将来計画用としての未利用地等があることから、これら未利用資産の有効活用が課題となっています。

そのため、引き続き利活用について検討するとともに、処理施設上部の空きスペースを活用し、太陽光発電を行います。

・事業主体 企業局

・全体事業費 約1.3億円(県のカーボンニュートラル施策により一般会計から繰入)

・事業期間 設計・工事 令和5年度から令和7年度

・発電開始 令和8年度から

・年間発電量 3.9万kwh/年(発電出力 38kw)

・イメージ図



画像 ©2024 Google、画像 ©2024 Airbus

⑥ 下水汚泥の資源化

● みやぎ県北広域汚泥肥料化事業(下水汚泥肥料化施設)

86ページ参照。

(6) 北上川下流東部流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加や工場立地に伴う公共用水域の水質悪化防止等を目的として、旧北上川東側に位置する1市1町(石巻市・女川町)から流入する汚水を処理するものです。

平成8年度に事業着手し、平成12年度に一部供用(旧石巻市公共下水道分)を開始しました。現在の管渠は43.5kmが整備され、令和6年度末の処理区域人口は36千人、下水道処理人口普及率は78.8%に達しています。

● 令和8年の業務予定量

関連市町村数	1市1町
年間処理汚水量	4,592,000 m ³
日平均処理汚水量	12,581 m ³

● 北上川下流東部流域計画一覧表(令和7年3月31日現在)

	全体計画	事業計画	現況
行政面積	30,969ha		
処理面積	1,920.7ha	1,757.8ha	1,442.0ha
処理人口	31,100人	35,510人	36,016人
処理能力	16,600 m ³ /日	16,600 m ³ /日	25,300 m ³ /日
系列数	3	3	3
管渠延長	43,450m	43,450m	43,450m
ポンプ場	17箇所	17箇所	16箇所
計画目標年度	令和17年度	令和8年度	-

● 関連市町日平均汚水流入量(令和6年実績)(単位: m³/日)

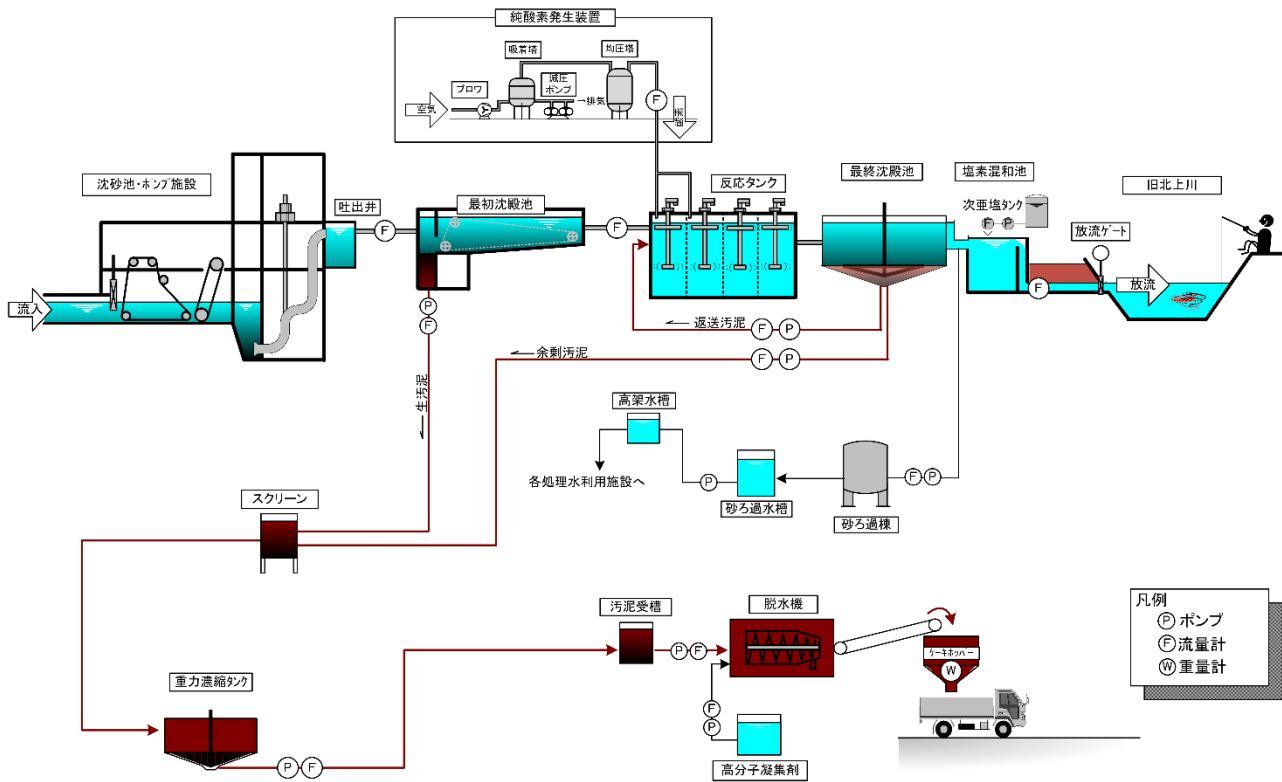
市町村名	汚水量
石巻市	9,908
女川町	1,676
合計	11,584

● 沿革及び認可関係(令和7年3月31日現在)

事業着手年度	平成8年度
供用開始年月日	平成12年4月1日
当初認可取得年月日	平成9年1月29日
最終変更認可年月日	令和2年12月21日
認可完了予定年月日	令和9年3月31日

■ 石巻東部浄化センター処理フロー

6. 処理施設フローシート



② 事業費 (単位: 千円)

区 分		令和6年度まで
建設改良費	国庫補助金	12,466,324
	起 債	5,151,887
	他会計繰入金	347,782
	市町分担金	5,579,752
	そ の 他	2,567
	合 計	23,548,312

③ 施設の概要

施設名	北上川下流東部流域下水道事業	
	石巻東部浄化センター	
水処理施設	中央管理棟・沈砂池ポンプ棟	1 棟
	(自家発電装置)	
	ポンプ棟	1 棟
	水処理棟	1 棟
	最初沈殿池	2,113 m ³
	反応タンク	7,382 m ³
	最終沈殿池	6,477 m ³
	砂ろ過棟	1 棟
	塩素滅菌棟	1 棟
汚泥処理施設	汚泥濃縮タンク	1 槽
	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	桃生第 1 ポンプ場	
	桃生第 2 ポンプ場	
	桃生第 3 ポンプ場	
	河北第 1 ポンプ場	
	河北第 2 ポンプ場	
	河北第 3 ポンプ場	
	河北第 4 ポンプ場	
	河北第 5 ポンプ場	
	石巻第 1 ポンプ場	
	石巻第 2 ポンプ場	
	石巻第 2-1 ポンプ場	
	女川第 1 ポンプ場	
	女川第 2 ポンプ場	
	石巻第 4 ポンプ場	
	石巻第 5 ポンプ場	
	石巻第 6 ポンプ場	

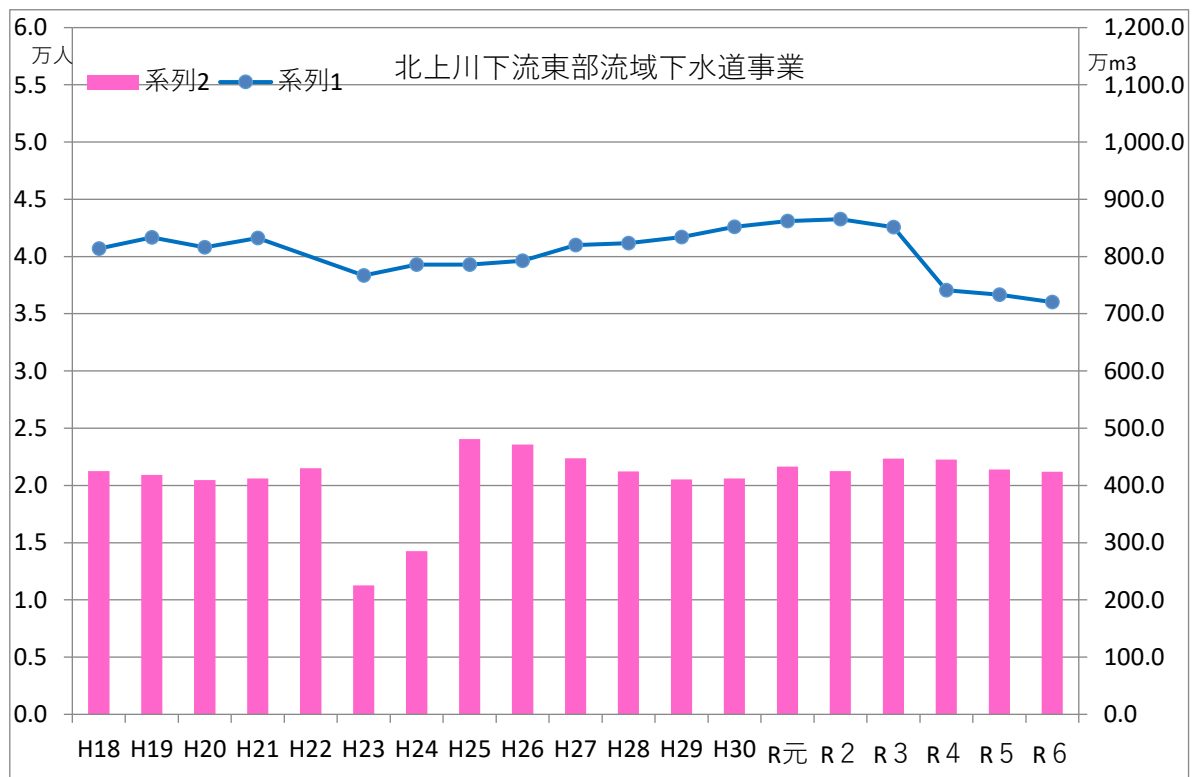
④ 経営の状況

● 処理量等

年 度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
A 施 設 能 力 $\text{m}^3/\text{日}$	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300
B 処 理 人 口 人	37,055	36,650	36,016	集計中	—
C 処 理 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	4,453,862	4,277,941	4,239,941	4,588,000	4,592,000
D 有 収 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	4,453,862	4,277,941	4,239,941	4,588,000	4,592,000
E 1 日 平 均 処 理 量 m^3	12,202	11,720	11,584	12,570	12,581
F 1 日 最 大 処 理 量 m^3	25,300	25,300	25,300	25,300	25,300
G 管 渠 費 千 円	20,569	19,752	8,669	16,186	18,045
H ポ ン プ 場 費 千 円	59,500	69,428	78,169	100,664	65,422
I 処 理 場 費 千 円	517,585	482,089	486,836	583,596	558,564

※ 消費税を含む。R4～R6は決算ベース、R7は最終現計予算ベース、R8は当初予算ベースで作成。

■ 処理人口(各年度3月末日現在)及び処理水量(有効水量)(1月から12月までの1年間)の推移



※ H22は東日本大震災による数値のため欠測。

● 料金等

年 度	R4	R5	R6	R7	R8
負 担 金 千円	560,296	538,165	626,239	597,934	675,850
負 担 金 単 価 $\text{円}/\text{m}^3$	125.8	125.8	147.7	133.8	133.8

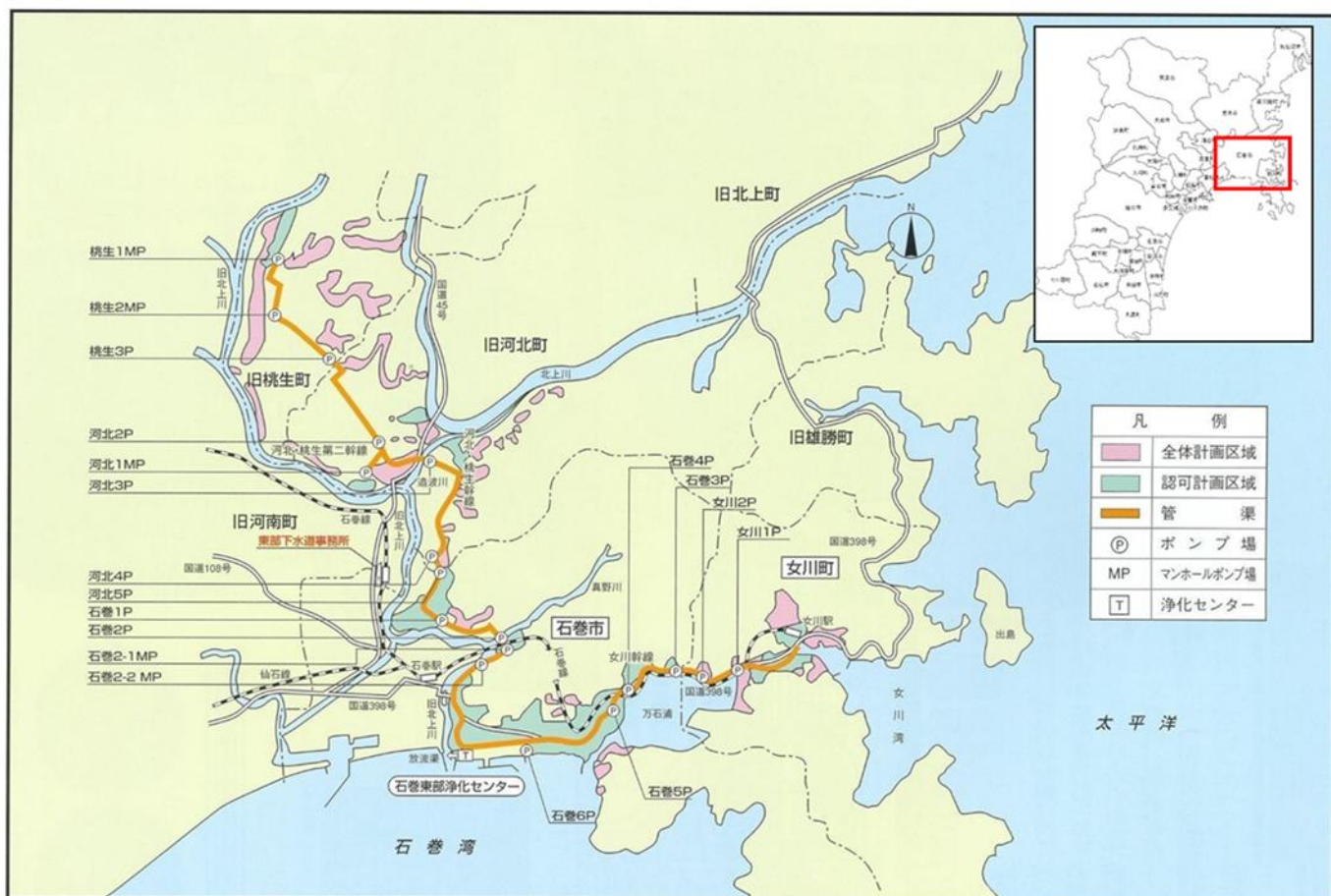
※ 消費税を含む。R4～R6は決算ベース、R7は最終現計予算ベース、R8は当初予算ベースで作成。

※ R7からは、負担金単価は税抜表示になる。

● 収支状況

年 度		R4	R5	R6	R7	R8
収 入	営 業 収 益 千円	560,296	538,165	626,239	597,934	675,850
	うち料 金 収 入 千円	560,296	538,165	626,239	597,934	675,850
	営 業 外 収 益 千円	1,136,399	1,178,300	1,092,432	985,756	969,328
	特 別 収 益 千円	49,157	19,915	7,339	33,982	76,375
	計 千円	1,745,852	1,736,380	1,726,011	1,617,672	1,721,553
支 出	営 業 費 用 千円	1,598,611	1,560,809	1,583,796	1,572,246	1,579,616
	営 業 外 費 用 千円	43,885	41,844	32,618	75,446	118,091
	特 別 損 失 千円	73,678	24,605	8,769	42,623	90,735
	計 千円	1,716,174	1,627,258	1,625,183	1,696,315	1,794,442
当 年 度 純 利 益 千円		29,678	109,122	100,828	▲78,643	▲72,889

※ 消費税を含む。R4～R6は決算ベース、R7は最終現計予算ベース、R8は当初予算額(消費税込み)で、「支出」の「計」と「当年度純利益」に予備費を算入して作成。



⑤ 再生可能エネルギーの導入

● 北上川下流東部流域下水道事業 石巻東部浄化センター太陽光発電事業

・事業概要

石巻東部浄化センターは、高度成長期に策定された計画水量と現在の処理量には乖離があり、処理場施設には将来計画用としての未利用地等があることから、これら未利用資産の有効活用が課題となっています。

そのため、引き続き利活用について検討するとともに、管理棟屋上を有効に活用し、太陽光発電を行います。

・事業主体 企業局

・全体事業費 約1.3億円(県のカーボンニュートラル施策により一般会計から繰入)

・事業期間 設計・工事 令和5年度から令和7年度

・発電開始 令和8年度から

・年間発電量 3.8万kWh／年(発電出力 37kW)

・イメージ図



画像 ©2024 Google、画像 ©2024 Airbus

⑥ 下水汚泥の資源化

● みやぎ県北広域汚泥肥料化事業(下水汚泥肥料化施設)

86ページ参照。

(7) 迫川流域下水道事業

① 事業の概要

本事業は、都市化による人口の増加に伴う、ラムサール条約の指定登録地である伊豆沼をはじめとする公共用水域の水質悪化防止等を目的として、2市(栗原市・登米市)から流入する汚水を処理するものです。

平成5年度に事業着手し、平成12年7月に一部供用を開始しました。現在の管渠は55.4kmが整備され、令和6年度末の処理区域人口は25.5千人、下水道処理人口普及率は44.8%となっています。

● 令和8年の業務予定量

関連市町村数	2市
年間処理汚水量	2,615,000 m ³
日平均処理汚水量	7,164 m ³

● 迫川流域計画一覧表(令和7年3月31日現在)

	全 体 計 画	事 業 計 画	現 況
行 政 面 積	58,239ha		
処 理 面 積	2,186.7ha	1,795.5ha	1,480.3ha
処 理 人 口	24,400 人	26,163 人	25,484 人
処 理 能 力	14,475 m ³ /日	14,475 m ³ /日	9,650 m ³ /日
系 列 数	3	3	2
管 渠 延 長	55,470m	55,470m	55,470m
ポ ン プ 場	10 箇所	10 箇所	10 箇所
計 画 目 標 年 度	令和 17 年度	令和 7 年度	-

● 関連市日平均汚水流入量(令和6年実績)(単位:m³/日)

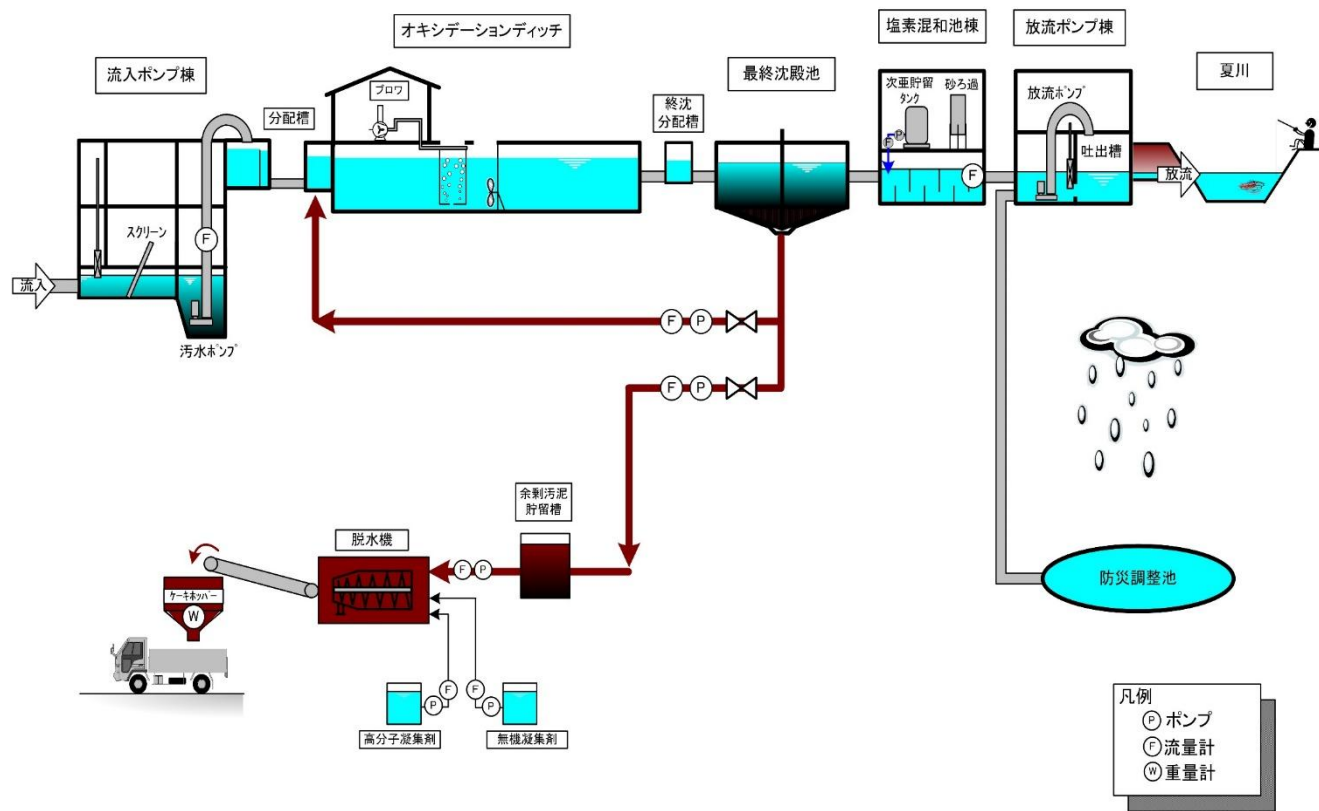
市 町 村 名	汚 水 量
登 米 市	419
栗 原 市	6,497
合 計	6,916

● 沿革及び認可関係(令和7年3月31日現在)

事 業 着 手 年 度	平成 5 年度
供 用 開 始 年 月 日	平成 12 年 7 月 1 日
当初認可取得年月日	平成 5 年 12 月 9 日
最終変更認可年月日	令和 2 年 12 月 21 日
認可完了予定年月日	令和 8 年 3 月 31 日

■ 石越浄化センター処理フロー

処理施設フローシート



② 事業費

(単位: 千円)

区 分		令和6年度まで
建設改良費	国庫補助金	18,800,082
	起 債	7,683,847
	他会計繰入金	948,535
	市町分担金	8,287,709
	そ の 他	126,550
	合 計	35,846,723

③ 施設の概要

施設名	迫川流域下水道事業	
	石越浄化センター	
水処理施設	管理棟	1 棟
	自家発電装置	1 基
	流入ポンプ棟	1 棟
	オキシデーションディッチ	9,716 m ³
	最終沈殿池	4 池
	塩素混和池棟	1 棟
	放流ポンプ棟	1 棟
汚泥処理施設	汚泥脱水機	2 台
ポンプ場	若柳第 1 ポンプ場	
	若柳第 2 ポンプ場	
	若柳第 3 ポンプ場	
	志波姫ポンプ場	
	一迫ポンプ場	
	金成第 1 ポンプ場	
	金成第 2 ポンプ場	
	栗駒第 1 ポンプ場	
	栗駒第 2 ポンプ場	
	栗駒第 3 ポンプ場	

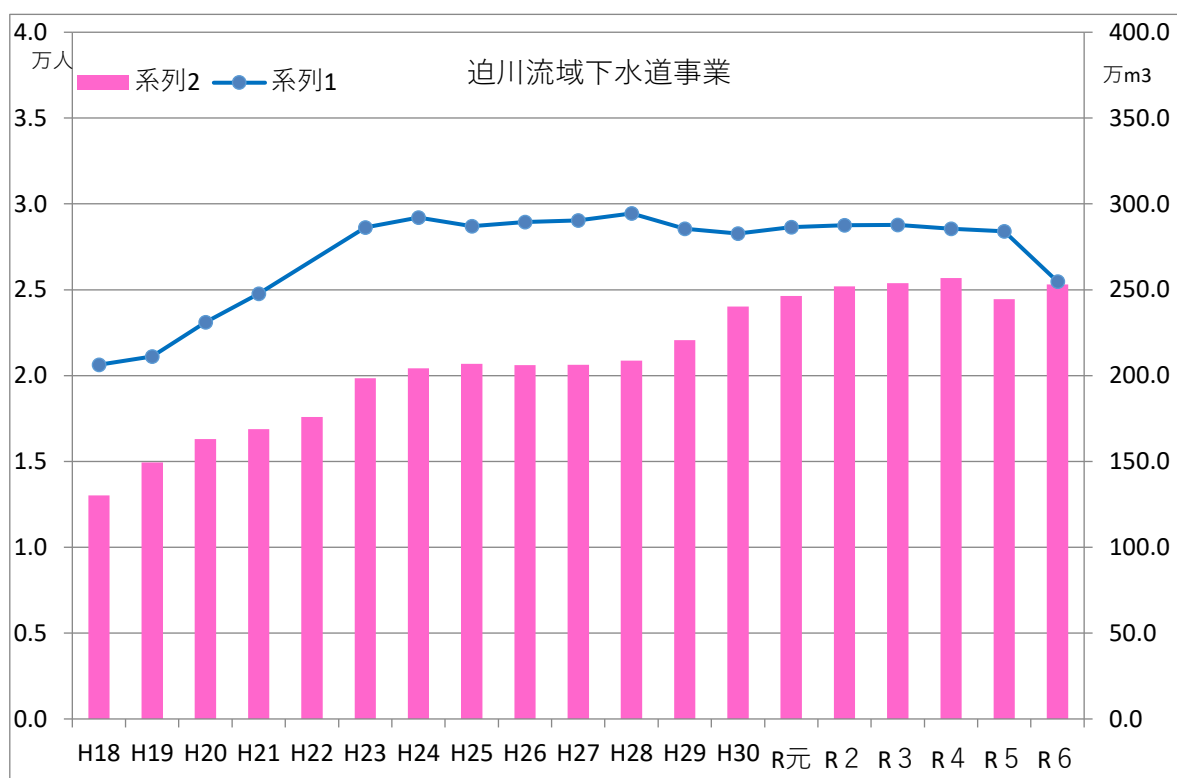
④ 経営の状況

● 処理量等

年 度	R4	R5	R6	R7	R8
A 施 設 能 力 $\text{m}^3/\text{日}$	9,650	9,650	9,650	9,650	9,650
B 処 理 人 口 人	28,545	28,399	25,484	集計中	—
C 処 理 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	2,568,054	2,446,007	2,531,331	2,654,000	2,615,000
D 有 収 水 量 $\text{m}^3/\text{年}$	2,568,054	2,446,007	2,531,331	2,654,000	2,615,000
E 1 日 平 均 処 理 量 m^3	7,036	6,701	6,916	7,271	7,144
F 1 日 最 大 処 理 量 m^3	9,650	9,650	9,650	9,650	9,650
G 管 渠 費 千 円	5,883	6,718	7,705	15,913	14,371
H ポ ン プ 場 費 千 円	56,319	68,629	68,031	82,406	47,781
I 処 理 場 費 千 円	252,256	274,464	250,274	314,857	268,165

※ 消費税を含む。R4～R6 は決算ベース、R7 は最終現計予算ベース、R8 は当初予算ベースで作成。

■ 処理人口(各年度3月末日現在)及び処理水量(有効水量)(1月から12月までの1年間)の推移



※ H22 は東日本大震災による数値のため欠測。

● 料金等

年 度	R4	R5	R6	R7	R8
負 担 金 千 円	340,781	324,585	376,405	365,800	360,425
負 担 金 単 価 $\text{円}/\text{m}^3$	132.7	132.7	147.3	125.3	125.3

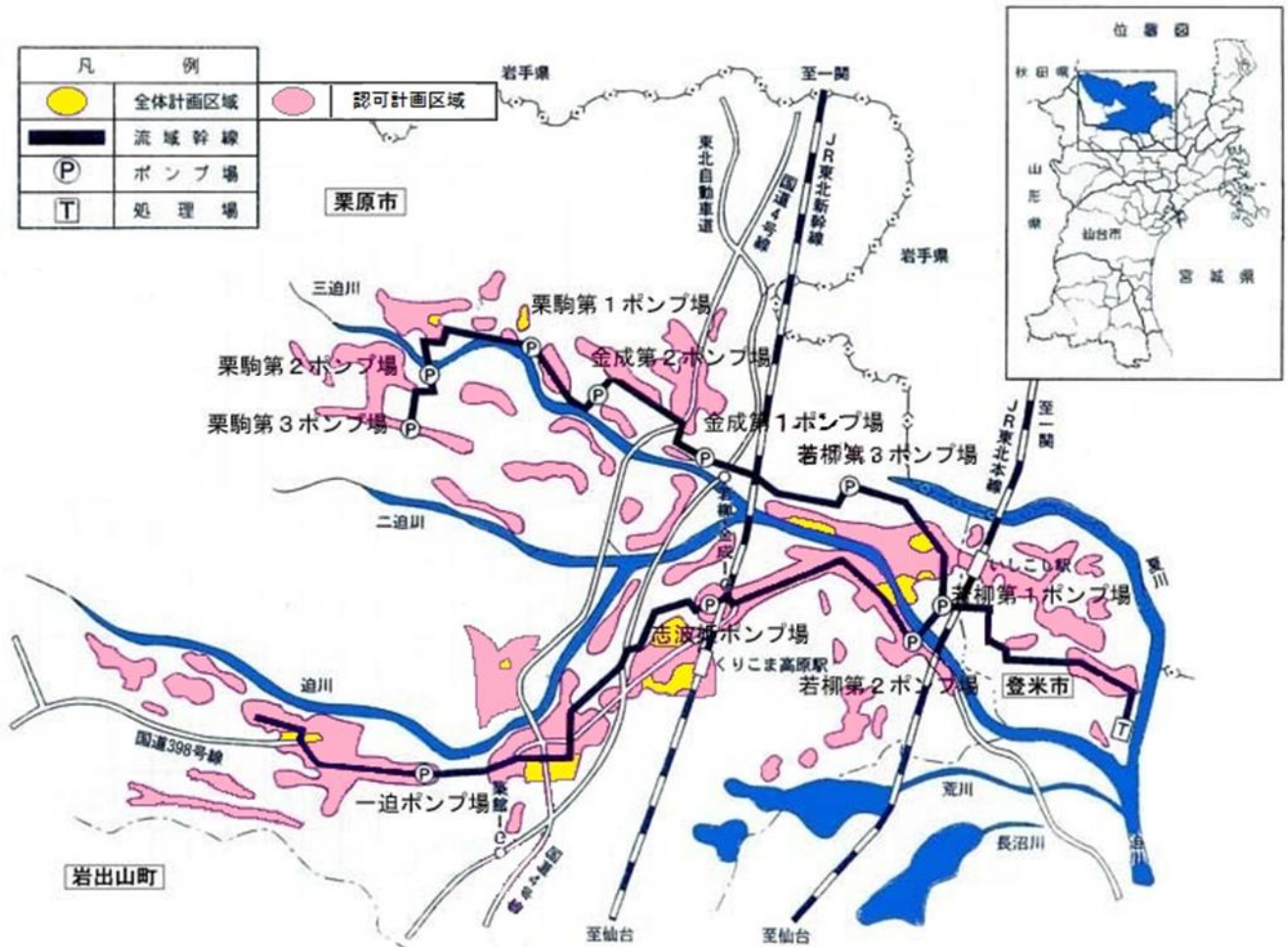
※ 消費税を含む。R4～R6 は決算ベース、R7 は最終現計予算ベース、R8 は当初予算ベースで作成。

※ R7 からは、負担金単価は税抜表示になる。

● 収支状況

年 度		R4	R5	R6	R7	R8
収 入	営 業 収 益 千円	340,781	324,585	372,865	345,255	360,425
	うち料 金 収 入 千円	340,781	324,585	372,865	345,255	360,425
	営 業 外 収 益 千円	942,085	879,482	735,962	748,076	716,184
	特 別 収 益 千円	26,891	17,742	45,184	25,467	77,506
	計 千円	1,309,756	1,221,809	1,154,011	1,116,798	1,154,115
支 出	営 業 費 用 千円	1,008,691	976,446	921,363	1,019,198	934,582
	営 業 外 費 用 千円	45,559	40,704	34,739	51,875	49,122
	特 別 損 失 千円	31,803	21,574	54,650	33,373	103,271
	計 千円	1,086,053	1,038,724	1,010,752	1,110,446	1,092,975
当 年 度 純 利 益 千円		223,703	183,085	143,259	6,352	61,140

※ 消費税を含む。R4～R6は決算ベース、R7は最終現計予算ベース、R8は当初予算額(消費税込み)で、「支出」の「計」と「当年度純利益」に予備費を算入して作成。



⑤ 再生可能エネルギーの導入

● 迫川流域下水道事業 石越浄化センター太陽光発電事業

・事業概要

流域下水道事業において、高度経済成長期に策定された計画水量と現在の処理量には乖離があり、処理場施設には将来計画用としての未利用地があることから、これら未利用資産の有効活用が課題となっています。

そのため、敷地内の未利用地を活用し、太陽光発電を行います。

- ・事業主体 企業局
- ・全体事業費 約1.3億円（県のカーボンニュートラル施策により一般会計から繰入）
- ・事業期間 設計・工事 令和5年度から令和7年度
- ・発電開始 令和8年度から
- ・年間発電量 3.6万kwh／年（発電出力 35kw）

・イメージ図



画像 ©2024 Google、画像 ©2024 Airbus

⑥ 下水汚泥の資源化

● みやぎ県北広域汚泥肥料化事業(下水汚泥肥料化施設)

・事業概要

北上川下流、北上川下流東部、迫川の3流域で発生する下水汚泥の有効活用やコスト縮減による経営改善等を図るため、県北の6市町の公共下水道とともに下水汚泥の肥料化施設を導入します。

・事業効果 約3割の維持負担管理費削減、約2割のCO2 削減等

・施設規模 1日当たりの最大汚泥処理量55トン(流域41t/日、公共14t/日)

・事業期間 令和 8年度～令和11年度(施設の設計・施工)

令和 12 年度～令和31年度(20 年間の維持管理、運転を実施)

・事業費 約150億円(建設費約80億円、維持管理費約70億円)

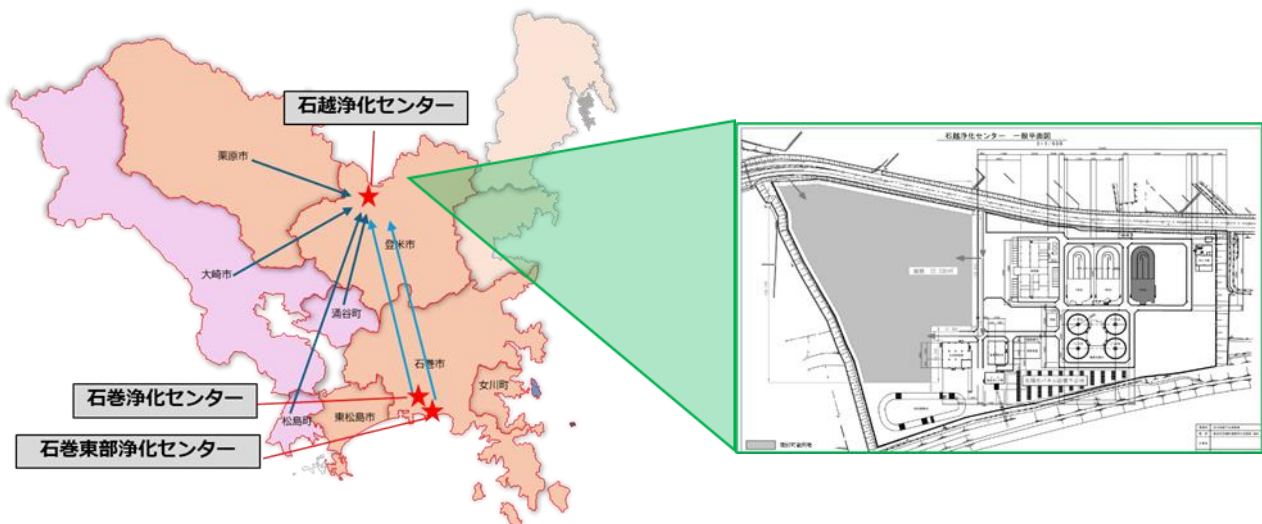
※国の下水汚泥肥料化推進事業を活用予定(設計を除く建設費について 2/3 を補助)

・建設場所 迫川流域下水道 石越浄化センター (登米市石越町東郷字六反新田地内)

・事業手法 設計、施工、維持管理を一括発注するDBO方式

・対象流域 3流域(北上川下流、北上川下流東部、迫川)

・共同処理 6市町(石巻市、登米市、栗原市、大崎市、松島町、涌谷町)





宮城県企業局